

建設産業人材確保・育成推進協議会
第3回若年者入職促進タスクフォース 議事次第

日時：令和7年1月16日（木）13:30～15:00

場所：（一財）建設業振興基金 501 会議室+Web

1 開会

- ・出席者紹介
- ・挨拶：国土交通省 不動産・建設経済局 建設振興課 課長 城 麻実

2 議題 若年者入職促進に向けた現状と課題

【若年層の動向について】

- （1）「高校3年生を対象とした進路に関するアンケート」について（人材協）
- （2）専門高校における産業界との連携事例について（文部科学省）

【若年層の入職促進に向けた現状の取組・優良事例と課題について】

- （3）「利根沼田テクノアカデミー2拠点教育」について（利根沼田テクノアカデミー）
- （4）令和7年度厚生労働省予算案の概要について（厚生労働省）

【若年層に向けた広報戦略の現状と課題について】

- （5）ポータルサイト「建設現場へGO！」の現状と課題、今後の方針について（人材協）
- （6）教育委員会への通知について（文部科学省との連携）（国土交通省）

3 意見交換（20分）

4 閉会

【会議資料】

- ・第3回若年者入職促進タスクフォース議事次第
- ・若年者入職促進タスクフォースメンバー
- ・若年者入職促進タスクフォース概要
- ・資料1 「高校3年生を対象とした進路に関するアンケート」調査結果報告書
- ・資料2 専門高校における産業界との連携事例等について
- ・資料3 「利根沼田テクノアカデミー2拠点教育」について
- ・資料4 令和7年度厚生労働省予算案の概要について
- ・資料5 ポータルサイト「建設現場へGO！」の現状と課題、今後の方針について
- ・資料6 建設業における若年者入職促進に関する取組の周知について（依頼）
（令和6年12月20日付文部科学省事務連絡）

若年者入職促進タスクフォース メンバー

○全国建設関係訓練校等連絡会議		
一般社団法人 利根沼田テクノアカデミー	校長	桑原 敏彦
職業訓練法人 広島建設アカデミー	理事長	福井 正人
職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会	専務理事	* 加賀美 武
一般社団法人 北陸建設アカデミー	代表理事	小野 貴史
一般社団法人 職人育成塾	専務理事	落合 祐輔
○教育関係		
公益社団法人 全国工業高等学校長協会	理事長	* 守屋 文俊
全国高等学校土木教育研究会	幹事	東 君康
○建設業団体等		
一般社団法人 日本建設業連合会	常務執行役	* 岸 毅明
一般社団法人 全国建設業協会	業務執行理事	上田 国土
一般社団法人 全国中小建設業協会	会長	土志田 領司
一般社団法人 建設産業専門団体連合会	会長	岩田 正吾
一般社団法人 全国測量設計業協会連合会	副会長	* 佐藤 芳明
一般社団法人 建設コンサルタント協会	広報専門委員会委員長	西村 寛信
一般社団法人 全国地質調査業協会連合会	専務理事	須見 徹太郎
○行政		
国土交通省 不動産・建設経済局	建設振興課長	* 城 麻実
国土交通省 不動産・建設経済局	専門工事業・建設関連業振興室長	* 松田 慧吾
厚生労働省 職業安定局	建設・港湾対策室長	島田 博和
厚生労働省 人材開発統括官付	若年者・キャリア形成支援担当参事官付企業内人材開発支援室長	* 永島 宏泰
文部科学省 初等中等教育局	参事官(高等学校担当)付産業教育振興室長	* 大久保 享之 (敬称略)

* 人事異動等にともないメンバー変更

- 建設産業における若年入職等の促進に向けて、産・学・官が共同して一体的に活動するため、新たにタスクフォースを設置し、関係省庁や教育機関等が連携を強化 (令和5年4月に人材協*のもとに設置) ※建設業人材確保・育成推進協議会

若手入職促進に向けた産学官の新たな連携体制

【新設】『若年者入職促進タスクフォース』

【当面の活動内容】

- ◎ 業界団体等と教育委員会や地元高校との連携の円滑化
- ◎ 教育委員会等に対して通知等を発出し、円滑な連携を呼びかけ
- ◎ 業界団体等の取組から優良事例を発掘・抽出し、水平展開



タスクフォースメンバー

事務局(建設業振興基金)

- 全国建設関係訓練校等連絡会議
 - ・利根沼田テクノアカデミー
 - ・全国建設産業教育訓練協会
 - ・職人育成塾 等
 - ・広島建設アカデミー
 - ・北陸建設アカデミー
- 教育関係
 - ・全国工業高等学校長協会
 - ・全国高等学校土木教育研究会
- 建設業団体
 - ・日本建設業連合会
 - ・全国建設業協会
 - ・全国中小建設業協会
 - ・建設産業専門団体連合会
- 建設関連業団体
 - ・全国測量設計業協会連合会
 - ・建設コンサルタンツ協会
 - ・全国地質調査業協会連合会
- 関係省庁
 - ・国土交通省 不動産・建設経済局
 - ・厚生労働省 職業安定局／人材開発統括官
 - ・文部科学省 初等・中等教育局

- R5.05.30 第1回タスクフォース(対面開催)
 - ・顔合わせ
 - ・訓練校等連絡会議の取組の紹介
 - ・工業高校の現状と課題 ほか
- R5.11.02 第2回タスクフォース(WEB開催)
 - ・建設業団体等による担い手確保・育成の取組一覧の紹介
 - ・訓練校(利根)における高校教員向け建設ICT技術教育研修(ドローン)について(結果報告) ほか
- R7.01.16 第3回タスクフォース(対面・WEB併用開催)
 - ・若年者の動向について
 - ・訓練校における取組について ほか



第1回タスクフォース

令和 5 年度（2023年度）

「高校 3 年生を対象とした進路に関するアンケート」
調査結果報告書

建設産業人材確保・育成推進協議会

事務局：一般財団法人建設業振興基金

経営基盤整備支援センター 人材育成支援課

令和 6 年（2024年） 3 月

目次

はじめに

1. アンケートの概要	・・・・・・ P.1
2. 全体集計の結果	・・・・・・ P.3
3. クロス集計1の結果 (入学時の進路意識別に卒業後の進路先を集計)	・・・・・・ P.9
4. クロス集計2の結果 (卒業後の就職先を「建設系」と「その他」に分け回答内容の差異を分析)	・・・・・・ P.11
5. クロス集計3の結果 (入学時の進路意識を建設系と決めていた回答者を対象に 卒業後の進路を「建設系」と「その他」に分け回答内容の差異を分析)	・・・・・・ P.13
6. クロス集計4の結果 (入学時に進路意識を決めていなかった回答者を対象に 卒業後の進路を「建設系」と「その他」に分け回答内容の差異を分析)	・・・・・・ P.15
参考. アンケートの回答者数・回答校数の集計	・・・・・・ P.17
各種コンテンツのご紹介	・・・・・・ P.18

はじめに

昨今、全国各地で台風や豪雨、地震による自然災害が頻発しております。被災地での早急な道路啓開や復旧・復興工事、また、国土強靱化を実現するためのインフラ整備等、建設産業は人々が豊かな暮らしを持続的に実現するための「社会資本整備の担い手」や防災・減災を担う「地域の守り手」を担っており、建設産業の役割の重要性は増しているところです。

こうした状況の中、建設業の技能者のうち60歳以上の割合が約4分の1を占める一方で、29歳以下は全体の約12%となっております。

各産業界における人手獲得競争が激化する中、建設産業が将来に亘り、前述の重要な役割を持続的に果たしていくためには、“若年者の担い手確保・育成・定着”が急務であり、建設産業の役割や重要性、仕事のやりがいなどの魅力発信に係る取り組みを継続的に実施する必要があります。

本報告書は、高等学校建設系学科に在籍する3年生（令和5年度卒業生）の生徒を対象に、高校入学時の進路意識、進路に影響を及ぼしたものと及び就職先を決めた理由、すなわち“入学から卒業”までの進路意識を把握し取りまとめました。

本報告書にて今後の建設産業の人材確保に関する取組内容を検討するにあたっての一助として、ご参考にしていただければ幸いです。

最後となりますが、本報告書の発行にあたり、ご協力いただきました高等学校建設系学科の先生方・生徒の皆さまへ、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

令和6年3月

1 アンケートの概要

1. アンケートの目的

建設系高等学校に在籍する3年生（令和5年度卒業生）の生徒を対象に、建設産業に関する進路意識についてのアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめ、今後の建設産業の人材確保・育成・定着に関する取組内容を検討するにあたっての参考資料として活用する。

2. アンケートの実施方法及び対象者

(1) 依頼方法

令和5年12月19日、全国の建設系学科を有する高等学校322校へアンケート用紙を送付（工業・工科高校263校、農業高校59校）。

(2) 回答期間

令和5年12月20日（水）～令和6年1月26日（金）

(3) 回答方法（次の①又は②）

①Googleフォームからの回答

②アンケート用紙への自記式による回答

(4) 対象者

全国の建設系高等学校に在籍する3年生（学科は土木及び建築等、建設系学科に限る）の生徒

3. アンケートの回答者数

6,779名（213校）※有効回答者数は**6,423名**（①Googleフォーム:3,152名 ②自記式:3,271名）

4. アンケートの集計方法

(1) 全体集計（P.3～P.8）

アンケートの設問内容（問1・問2・問3・問4）の結果を集計。

(2) クロス集計（P.9～P.16）

全国の有効回答者数が6,423名と相応数の回収が図れたことから、全体集計のような一律的な回答結果では把握することのできない集計・分析を実施するため、4通りのパターンに分けてクロス集計を行った。

1 アンケートの概要

5. アンケートの設問内容（進路先が「就職」：問1から問4

進路先が「進学又は就職・進学以外」：問1から問3）

アンケート票

【高校3年生を対象とした進路に関するアンケート（目安：約2分）】

高等学校名

学 科 名

以下の設問に対して該当する項目（□）にチェックをいれてご回答ください。

※Googleフォームから回答される方は、裏面のQRコードよりご回答願います。

問1. 高校入学時点で進路を決めておりましたでしょうか。

決めていた（建設系） 決めていた（その他） 決めていなかった

問2. 高校卒業後の進路を教えてください。

就職（建設系） 就職（その他） 進学（建設系） 進学（その他）

就職・進学以外

問3. 問2での進路を決めるにあたり、主に影響を受けたことを「最大2つまで」回答してください。

親（保護者） きょうだい 親（保護者）やきょうだい以外の親族

学校の先生 先輩 友達 インターネットやSNS 冊子（マンガ・雑誌等）

著名人 学校の授業 現場見学会・出前講座等の体験

特に他人などの影響を受けていない

その他（ ）

問4. 問2で【就職】（建設系）、【就職（その他）】と回答された方にお聞きします。

その就職先に決めた主な理由を「2つ」回答してください。

自らの成長が期待できる 資格を活かせる

給与 勤務時間や休暇 福利厚生や手当が充実

勤務場所（地元で働く） 勤務場所（地元以外で働く）

地元での知名度が高い 会社の雰囲気・設備

就職先の見学会、インターンシップに参加して良かった 先輩や友達がいる

その他（ ）

以 上

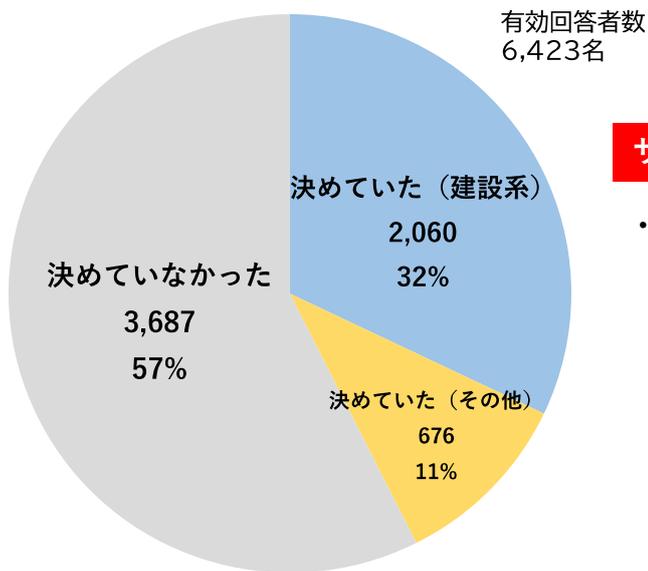
ご協力ありがとうございました。

6. 集計結果の留意点

問3・問4は複数回答形式のため、後項の各グラフの回答数と回答者数は一致しておりません。

2 全体集計の結果

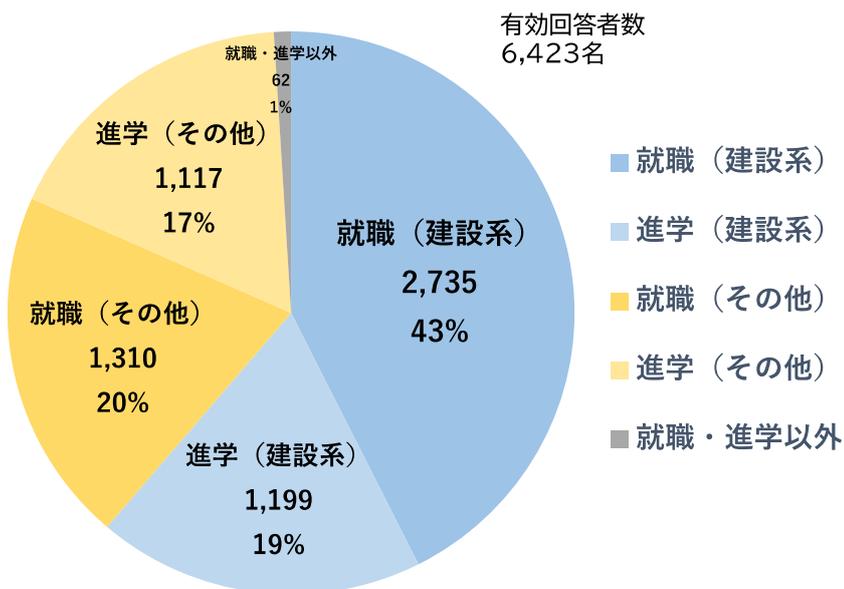
問1.高校入学時点で進路を決めておりましたでしょうか



サマリー

- ・建設系学科の高校入学時の進路意識について、建設系と決めていた割合は32%に留まっており、進路を決めていない割合が57%に及んだ。

問2.高校卒業後の進路を教えてください



●卒業後の【就職・進学】の内訳

就職：63% **進学：36%**
(建設系・その他含む)

●卒業後の【進路業種

(建設系・その他)の内訳
建設系：62% **その他：37%**
(就職・進学含む)

サマリー

- ・高校卒業生全体では8割超が進学する時代にあって、本調査では、**進学の割合は36%**、**就職の割合が63%**となっており、高等学校建設系学科においては今もなお、卒業後、すぐに社会へ出る生徒の割合が高い。
- ・卒業後の進路を「建設系」か「その他（建設系以外）」で見た場合、**建設系への就職が43%**、**建設系への進学が19%**と**建設系への進路割合は合計で62%**に留まっており、大まかに見ると、建設系学科を卒業しても約4割は、異なる業種（建設系以外）へ進んでしまっているといえる。

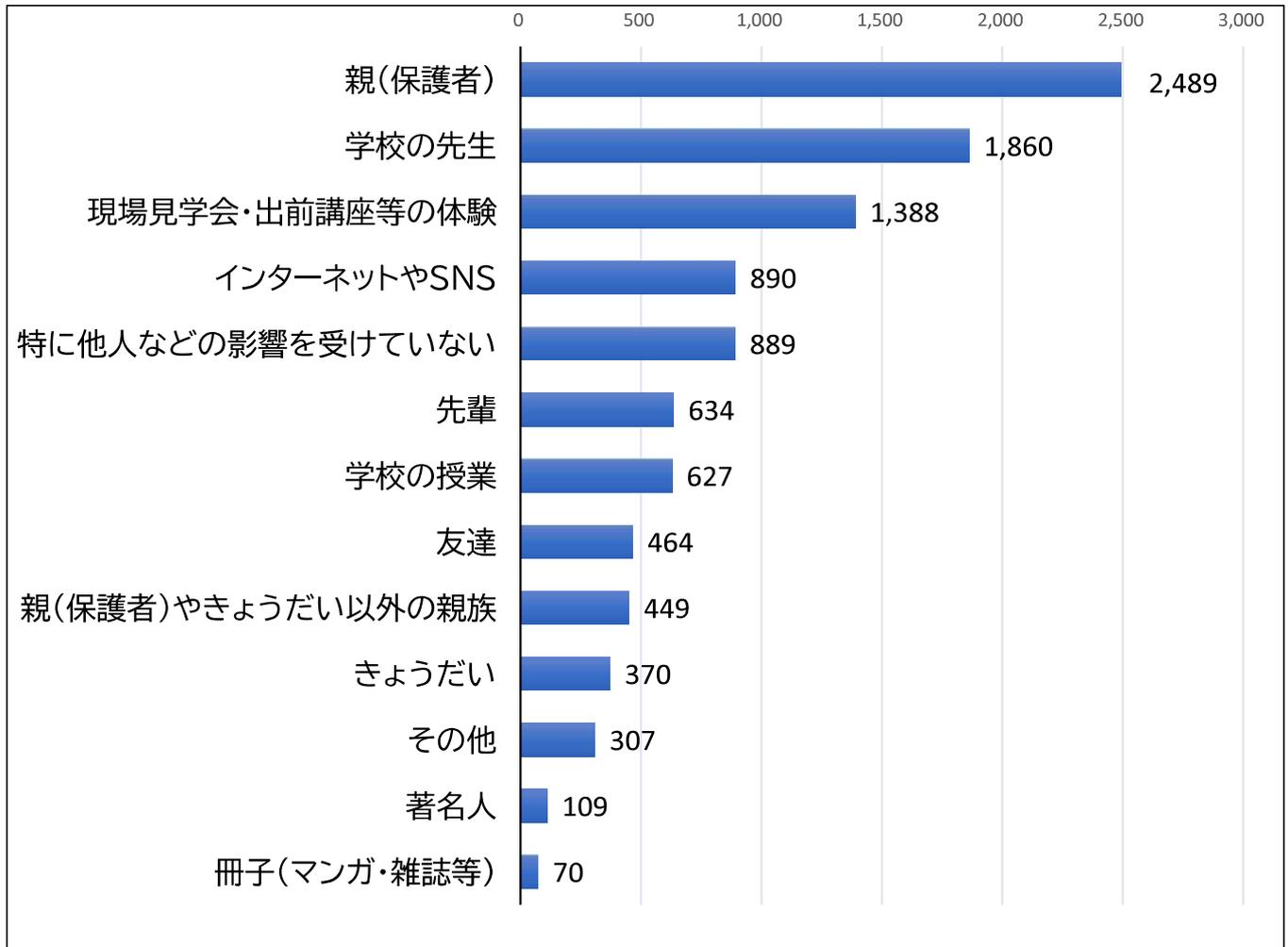
2 全体集計の結果（都道府県版 問1・問2）

都道府県	総回答者数 (a)	問1						問2									
		決めていた (建設系)		決めていなかった		決めていた (その他)		就職 (建設系)		進学 (建設系)		就職 (その他)		進学 (その他)		就職・進学 以外	
		人数 (b)	b/a	人数 (c)	c/a	人数 (d)	d/a	人数 (e)	e/a	人数 (f)	f/a	人数 (g)	g/a	人数 (h)	h/a	人数 (i)	i/a
北海道	338	99	30%	204	60%	35	10%	151	45%	40	12%	69	20%	73	22%	5	1%
青森県	89	19	21%	57	64%	13	15%	27	30%	15	17%	23	26%	23	26%	1	1%
岩手県	93	25	27%	60	65%	8	9%	44	47%	11	12%	24	26%	14	15%	0	0%
宮城県	186	50	27%	112	60%	24	13%	68	37%	26	14%	63	34%	26	14%	3	2%
秋田県	193	53	27%	109	56%	31	16%	73	38%	24	12%	61	32%	33	17%	2	1%
山形県	84	37	44%	41	49%	6	7%	29	35%	28	33%	17	20%	9	11%	1	1%
福島県	281	82	29%	171	61%	28	10%	116	41%	51	18%	60	21%	52	19%	2	1%
茨城県	194	58	30%	114	59%	22	11%	52	27%	56	29%	31	16%	45	23%	10	5%
栃木県	179	80	45%	91	51%	8	4%	83	46%	49	27%	35	20%	9	5%	3	2%
群馬県	175	61	35%	95	54%	19	11%	63	36%	45	26%	20	11%	46	26%	1	1%
埼玉県	175	67	38%	89	51%	19	11%	58	33%	44	25%	30	17%	40	23%	3	2%
千葉県	94	40	43%	42	45%	12	13%	35	37%	30	32%	14	15%	15	16%	0	0%
東京都	58	32	55%	23	40%	3	5%	38	66%	6	10%	7	12%	6	10%	1	2%
神奈川県	152	64	42%	72	47%	16	11%	91	60%	17	11%	19	13%	23	15%	2	1%
山梨県	151	41	27%	86	57%	24	16%	55	36%	33	22%	25	17%	38	25%	0	0%
新潟県	147	34	23%	93	63%	20	14%	62	42%	22	15%	30	20%	33	22%	0	0%
長野県	199	51	26%	120	60%	28	14%	60	30%	50	25%	42	21%	46	23%	1	1%
富山県	148	35	24%	94	64%	19	13%	56	38%	22	15%	26	18%	43	29%	1	1%
石川県	114	38	33%	66	58%	10	9%	54	47%	25	22%	14	12%	21	18%	0	0%
福井県	49	18	37%	26	53%	5	10%	27	55%	3	6%	16	33%	3	6%	0	0%
岐阜県	98	39	40%	46	47%	13	13%	48	49%	18	18%	16	16%	16	16%	0	0%
静岡県	252	85	34%	138	55%	29	12%	102	40%	62	25%	54	21%	30	12%	4	2%
愛知県	240	85	35%	130	54%	25	10%	120	50%	47	20%	44	18%	27	11%	2	1%
三重県	152	46	30%	98	64%	8	5%	57	38%	24	16%	48	32%	23	15%	0	0%
滋賀県	29	13	45%	14	48%	2	7%	12	41%	8	28%	5	17%	4	14%	0	0%
京都府	87	20	23%	53	61%	14	16%	23	26%	25	29%	15	17%	24	28%	0	0%
大阪府	209	80	38%	110	53%	19	9%	80	38%	67	32%	25	12%	36	17%	1	0%
兵庫県	116	47	41%	61	53%	8	7%	37	32%	37	32%	23	20%	17	15%	2	2%
奈良県	45	13	29%	25	56%	7	16%	11	24%	17	38%	6	13%	9	20%	2	4%
和歌山県	57	17	30%	32	56%	8	14%	16	28%	15	26%	10	18%	16	28%	0	0%
鳥取県	38	12	32%	23	61%	3	8%	18	47%	10	26%	6	16%	4	11%	0	0%
島根県	111	40	36%	69	62%	2	2%	57	51%	16	14%	15	14%	23	21%	0	0%
岡山県	181	56	31%	104	57%	21	12%	78	43%	32	18%	44	24%	26	14%	1	1%
広島県	50	10	20%	36	72%	4	8%	10	20%	8	16%	18	36%	14	28%	0	0%
山口県	74	9	12%	57	77%	8	11%	28	38%	4	5%	27	36%	13	18%	2	3%
香川県	79	32	41%	39	49%	8	10%	36	46%	29	37%	7	9%	7	9%	0	0%
徳島県	75	18	24%	51	68%	6	8%	41	55%	8	11%	12	16%	14	19%	0	0%
愛媛県	167	58	35%	98	59%	11	7%	90	54%	18	11%	29	17%	29	17%	1	1%
高知県	102	27	26%	66	65%	9	9%	42	41%	21	21%	13	13%	24	24%	2	2%
福岡県	72	24	33%	38	53%	10	14%	43	60%	4	6%	12	17%	13	18%	0	0%
佐賀県	73	16	22%	47	64%	10	14%	38	52%	7	10%	20	27%	8	11%	0	0%
長崎県	172	60	35%	96	56%	16	9%	92	53%	23	13%	32	19%	24	14%	1	1%
熊本県	266	68	26%	163	61%	35	13%	114	43%	17	6%	87	33%	45	17%	3	1%
大分県	101	41	41%	52	51%	8	8%	68	67%	11	11%	14	14%	7	7%	1	1%
宮崎県	146	49	34%	78	53%	19	13%	70	48%	19	13%	40	27%	16	11%	1	1%
鹿児島県	204	64	31%	124	61%	16	8%	102	50%	26	13%	49	24%	27	13%	0	0%
沖縄県	128	47	37%	74	58%	7	5%	60	47%	29	23%	13	10%	23	18%	3	2%
合計	6,423	2,060	32%	3,687	57%	676	11%	2,735	43%	1,199	19%	1,310	20%	1,117	17%	62	1%

2 全体集計の結果

問3.問2での進路を決めるにあたり、主に影響を受けたことを「最大2つまで」回答してください。

有効回答数:6,423名(複数回答)



サマリー

- ・卒業後の進路を決定するうえで、“親（保護者）”の影響を最も強く受けており、次の“学校の先生”と合わせて、身近にいる大人の影響を受けていることがわかる。続いて“現場見学会・出前講座等の体験”となっており、建設産業界が実施する体験学習の効果が顕れている。
- ・若年者が慣れ親しんでいる“インターネットやSNS”が上位であることから、“インターネットやSNS”のコンテンツによる継続的な訴求も重要であることが窺える。

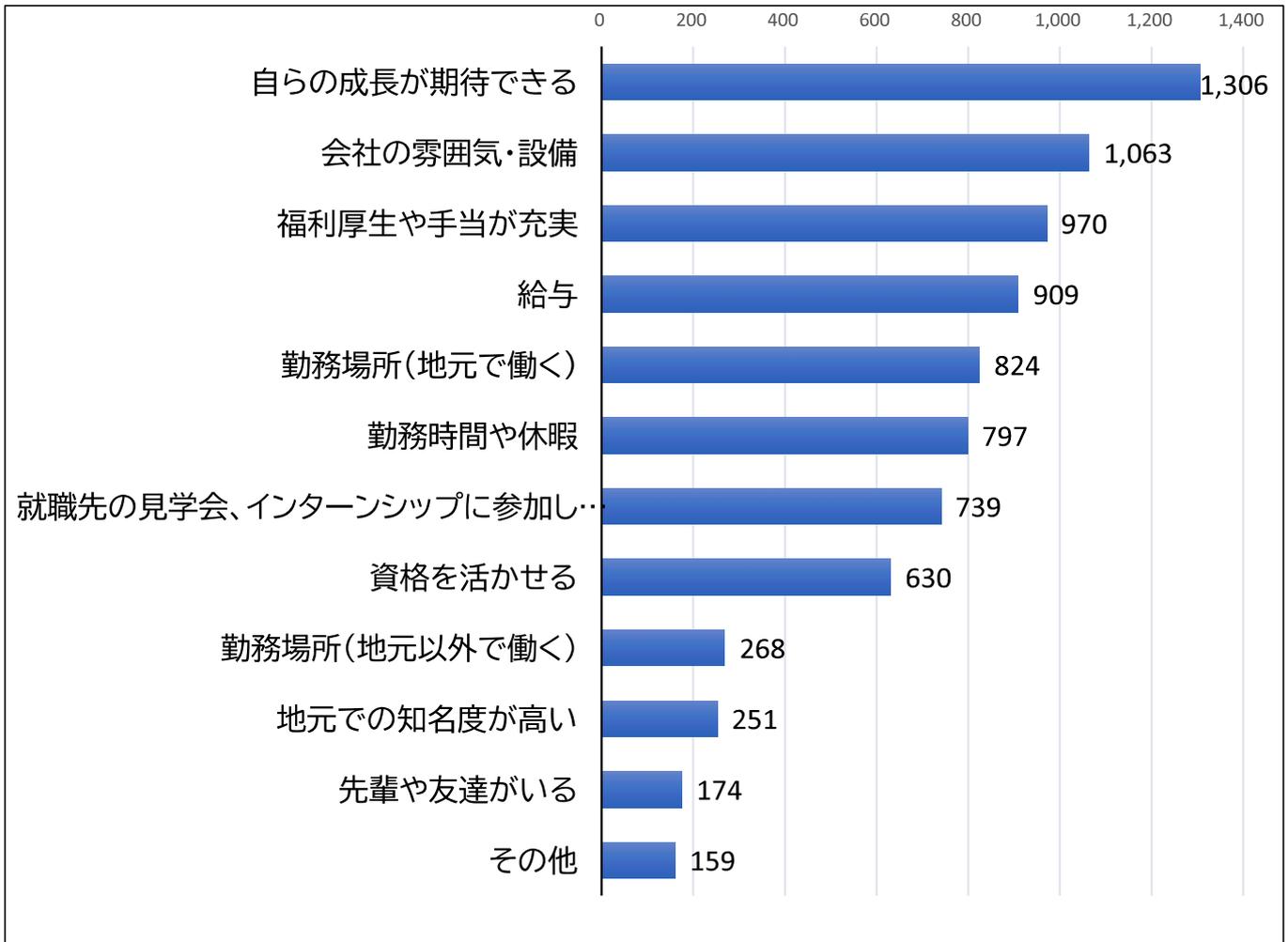
回答数一覧表	
①親(保護者)	2,489
②学校の先生	1,860
③現場見学会・出前講座等の体験	1,388
④インターネットやSNS	890
⑤特に他人などの影響を受けていない	889
⑥先輩	634

⑦学校の授業	627
⑧友達	464
⑨親(保護者)やきょうだい以外の親族	449
⑩きょうだい	370
⑪その他	307
⑫著名人	109
⑬冊子(マンガ・雑誌等)	70

2 全体集計の結果

問4.問2で【就職(建設系)】【就職(その他)】と回答された方にお聞きします。その就職先に決めた主な理由を「2つ」回答してください。

卒業後に就職する方限定 有効回答数:4,045名(複数回答)



サマリー

- ・就職先の選択理由において、“**自らの成長が期待できる**”との回答が最も多かった。企業PRにおいて、高校生に対し入社後の将来像、キャリアパスや研修プログラムなどをしっかり示すことが非常に重要であることが窺える。

回答数一覧表	
①自らの成長が期待できる	1,306
②会社の雰囲気・設備	1,063
③福利厚生や手当が充実	970
④給与	909
⑤勤務場所(地元で働く)	824
⑥勤務時間や休暇	797

⑦就職先の見学会、インターンシップに参加して良かった	739
⑧資格を活かせる	630
⑨勤務場所(地元以外で働く)	268
⑩地元での知名度が高い	251
⑪先輩や友達がいる	174
⑫その他	159

2 全体集計の結果（都道府県版 問3）

注：下表の①～⑬は以下の項目を指します（問3は複数回答形式のため、回答数と回答者数は一致していません）

①親（保護者） ②学校の先生 ③現場見学会・出前講座等の体験 ④インターネットやSNS ⑤特に他人などの影響を受けていない
⑥先輩 ⑦学校の授業 ⑧友達 ⑨親（保護者）やきょうだい以外の親族 ⑩きょうだい ⑪その他 ⑫著名人 ⑬冊子（マンガ・雑誌等）

都道府県	総回答者数	問3												
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
		回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
北海道	338	157	111	53	40	37	28	23	23	23	33	18	8	2
青森県	89	27	23	14	21	14	10	11	7	10	6	5	2	0
岩手県	93	24	39	26	10	7	15	9	12	5	2	4	1	3
宮城県	186	83	62	31	17	33	13	14	18	11	12	8	2	1
秋田県	193	78	50	53	29	24	26	13	8	15	15	5	6	2
山形県	84	34	23	17	12	12	8	8	6	5	5	7	0	1
福島県	281	115	65	73	40	31	31	25	26	19	20	8	7	3
茨城県	194	72	60	30	36	29	18	15	21	14	12	13	2	1
栃木県	179	86	45	39	23	28	17	17	12	12	7	13	3	2
群馬県	175	72	42	35	30	25	19	15	18	12	7	9	4	2
埼玉県	175	63	43	31	27	35	14	11	12	13	10	7	6	5
千葉県	94	47	30	15	12	13	3	12	6	6	6	7	2	1
東京都	58	15	19	18	7	10	2	11	1	3	3	7	0	0
神奈川県	152	64	49	39	11	22	12	25	7	8	12	7	3	1
山梨県	151	54	28	37	34	19	14	19	11	15	11	6	4	1
新潟県	147	40	33	47	23	26	10	15	8	4	9	3	3	5
長野県	199	86	60	43	27	26	12	29	13	13	11	8	2	2
富山県	148	46	49	33	28	22	10	20	8	12	10	4	3	1
石川県	114	49	25	14	16	15	7	13	11	9	11	6	2	0
福井県	49	27	7	13	4	6	3	4	2	5	4	1	1	0
岐阜県	98	35	31	24	10	14	11	9	3	6	7	8	1	3
静岡県	252	108	77	53	34	29	25	26	15	14	12	17	4	2
愛知県	240	92	66	48	24	44	18	29	20	16	11	11	5	3
三重県	152	55	45	33	15	23	7	15	12	13	8	6	0	1
滋賀県	29	12	6	5	4	4	2	4	1	3	1	3	0	0
京都府	87	26	30	10	10	16	5	10	8	4	3	4	3	0
大阪府	209	85	50	29	33	33	16	22	20	13	14	13	4	3
兵庫県	116	55	31	26	18	15	10	13	6	8	5	4	2	3
奈良県	45	15	13	13	6	6	1	5	5	2	1	2	2	0
和歌山県	57	23	19	4	4	9	7	6	2	2	2	7	2	0
鳥取県	38	13	12	9	4	7	2	2	2	4	0	2	1	0
島根県	111	29	35	31	25	13	13	18	9	2	3	7	1	4
岡山県	181	58	58	39	32	23	16	21	10	14	9	10	0	2
広島県	50	15	14	13	6	7	7	6	4	3	2	1	0	0
山口県	74	33	14	18	9	14	5	11	3	4	3	4	1	0
香川県	79	33	42	13	7	9	8	10	4	4	3	0	0	2
徳島県	75	27	26	16	12	8	11	12	10	3	1	1	0	1
愛媛県	167	70	47	44	24	25	21	11	9	13	7	2	2	1
高知県	102	42	19	22	12	14	13	8	10	10	5	5	1	4
福岡県	72	32	15	17	4	6	16	7	1	6	6	7	0	1
佐賀県	73	28	26	22	6	12	9	3	4	6	9	3	1	0
長崎県	172	52	51	52	24	15	40	10	13	12	14	6	4	0
熊本県	266	85	83	59	34	35	32	15	19	23	16	13	2	5
大分県	101	55	44	18	16	7	8	9	2	10	5	2	2	1
宮崎県	146	62	34	28	19	27	21	11	9	12	6	8	2	0
鹿児島県	204	72	68	50	33	17	27	15	17	16	10	9	6	0
沖縄県	128	38	41	31	18	23	11	10	16	12	1	6	2	1
合計	6,423	2,489	1,860	1,388	890	889	634	627	464	449	370	307	109	70

2 全体集計の結果（都道府県版 問4）

注）：下表の①～⑫は以下の項目を指します（問4は複数回答形式のため、回答数と回答者数は一致していません）

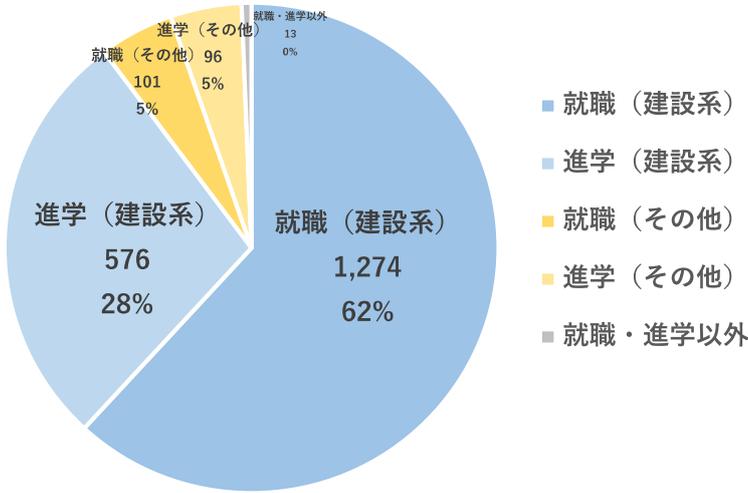
- ①自らの成長が期待できる ②会社の雰囲気・設備 ③福利厚生や手当が充実 ④給与 ⑤勤務場所（地元で働く） ⑥勤務時間や休暇
⑦就職先の見学会、インターンに参加して良かった ⑧資格を活かせる ⑨勤務場所（地元以外で働く） ⑩地元での知名度が高い ⑪先輩や友達がいる ⑫その他

都道府県	総回答者数 (就職者のみ)	問4											
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
		回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
北海道	220	70	60	49	56	44	40	48	26	24	11	10	2
青森県	50	18	10	12	11	13	6	14	5	7	3	1	0
岩手県	68	15	16	15	17	20	9	16	16	4	2	4	2
宮城県	131	47	22	38	35	26	33	26	10	8	7	8	2
秋田県	134	35	25	36	29	39	12	40	18	17	12	1	4
山形県	46	16	11	12	10	10	9	10	5	6	1	1	1
福島県	176	55	40	43	35	40	22	31	42	13	11	15	5
茨城県	83	13	21	14	26	23	18	17	18	3	9	2	2
栃木県	118	34	28	27	30	25	35	18	21	4	7	4	3
群馬県	83	26	20	20	20	14	22	17	11	2	4	4	6
埼玉県	88	50	29	18	16	8	12	8	12	4	7	5	7
千葉県	49	15	11	15	13	7	10	8	1	2	5	3	8
東京都	45	15	13	11	17	5	11	6	6	0	3	0	3
神奈川県	110	31	35	26	31	11	20	30	14	2	7	3	10
山梨県	80	25	26	17	14	19	13	16	9	4	4	7	6
新潟県	92	26	25	19	20	24	18	16	19	6	9	0	2
長野県	102	40	22	20	24	21	12	16	23	9	10	4	3
富山県	82	36	25	16	8	19	15	19	15	1	7	1	2
石川県	68	21	32	10	11	13	11	17	8	1	5	5	2
福井県	43	22	13	6	14	5	2	10	5	2	7	0	0
岐阜県	64	19	15	11	19	11	20	13	7	3	4	3	3
静岡県	156	42	47	37	34	38	29	35	26	6	8	4	6
愛知県	164	51	47	37	48	29	50	18	11	10	12	9	6
三重県	105	27	32	24	20	24	25	21	14	2	9	5	7
滋賀県	17	4	8	3	1	2	3	3	3	0	3	0	4
京都府	38	10	7	11	3	5	9	12	9	4	2	2	2
大阪府	105	29	29	34	22	20	32	12	11	2	4	8	7
兵庫県	60	13	28	13	10	14	9	10	12	2	5	2	2
奈良県	17	9	4	3	4	1	2	6	3	1	1	0	0
和歌山県	26	12	8	3	9	5	6	1	1	1	3	0	3
鳥取県	24	8	6	5	3	5	9	5	5	0	1	1	0
島根県	72	22	24	16	12	13	12	16	12	3	7	5	2
岡山県	122	42	21	31	35	19	26	21	15	7	13	7	7
広島県	28	7	6	7	7	11	8	4	1	0	3	0	2
山口県	55	12	16	15	14	8	9	12	12	7	1	2	2
香川県	43	18	7	15	8	11	7	8	5	4	2	1	0
徳島県	53	21	17	8	11	9	8	10	14	2	2	3	1
愛媛県	119	43	36	33	18	28	18	14	26	9	5	4	4
高知県	55	14	16	16	18	9	12	8	10	1	2	2	2
福岡県	55	15	14	20	8	7	14	3	7	12	5	3	2
佐賀県	58	16	10	8	16	22	18	7	5	5	6	1	2
長崎県	124	47	36	31	13	29	20	22	23	18	3	4	2
熊本県	201	70	44	47	46	46	34	34	39	9	8	14	11
大分県	82	26	17	24	16	14	18	15	15	9	4	3	3
宮崎県	110	34	28	29	20	21	31	13	24	12	0	6	2
鹿児島県	151	48	44	46	31	29	25	24	22	17	5	5	6
沖縄県	73	37	12	19	26	8	13	9	14	3	2	2	1
合計	4,045	1,306	1,063	970	909	824	797	739	630	268	251	174	159

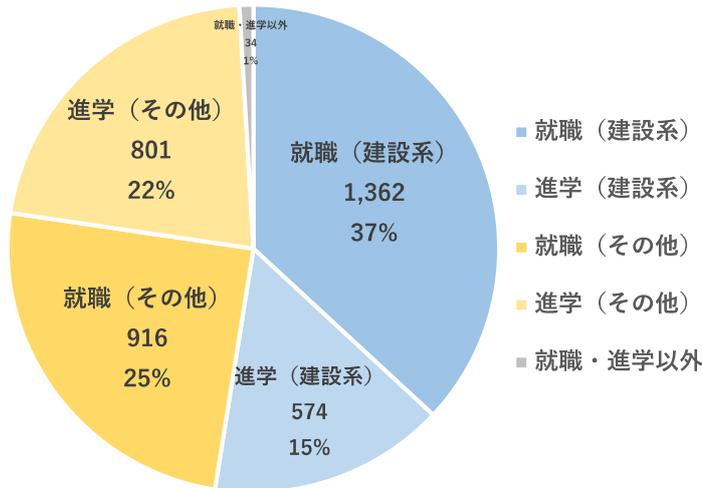
3 クロス集計1の結果

入学時の進路意識別に卒業後の進路先を集計。

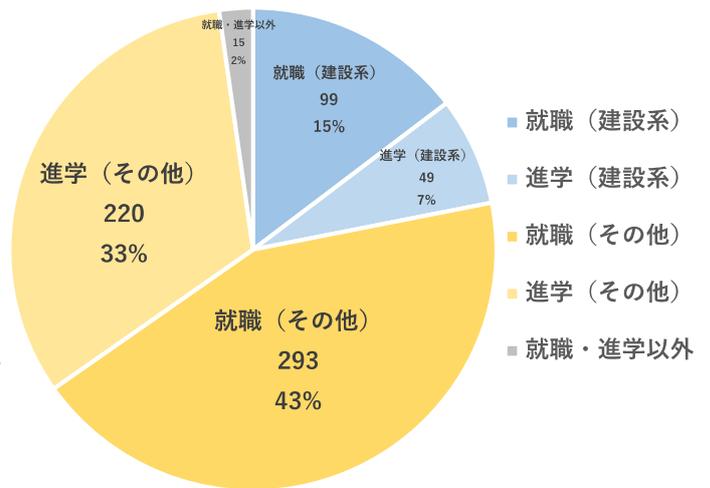
●入学時の進路を「決めていた（建設系）」回答者の進路先（2,060名）



●入学時の進路を「決めていなかった」回答者の進路先（3,687名）



●入学時の進路を「決めていた（その他）」回答者の進路先（676名）



入学時の進路を「決めていた（建設系）」 回答者の進路先	
就職（建設系）	1274
就職（その他）	101
進学（建設系）	576
進学（その他）	96
就職・進学以外	13

建設系で90%
(1,850名)

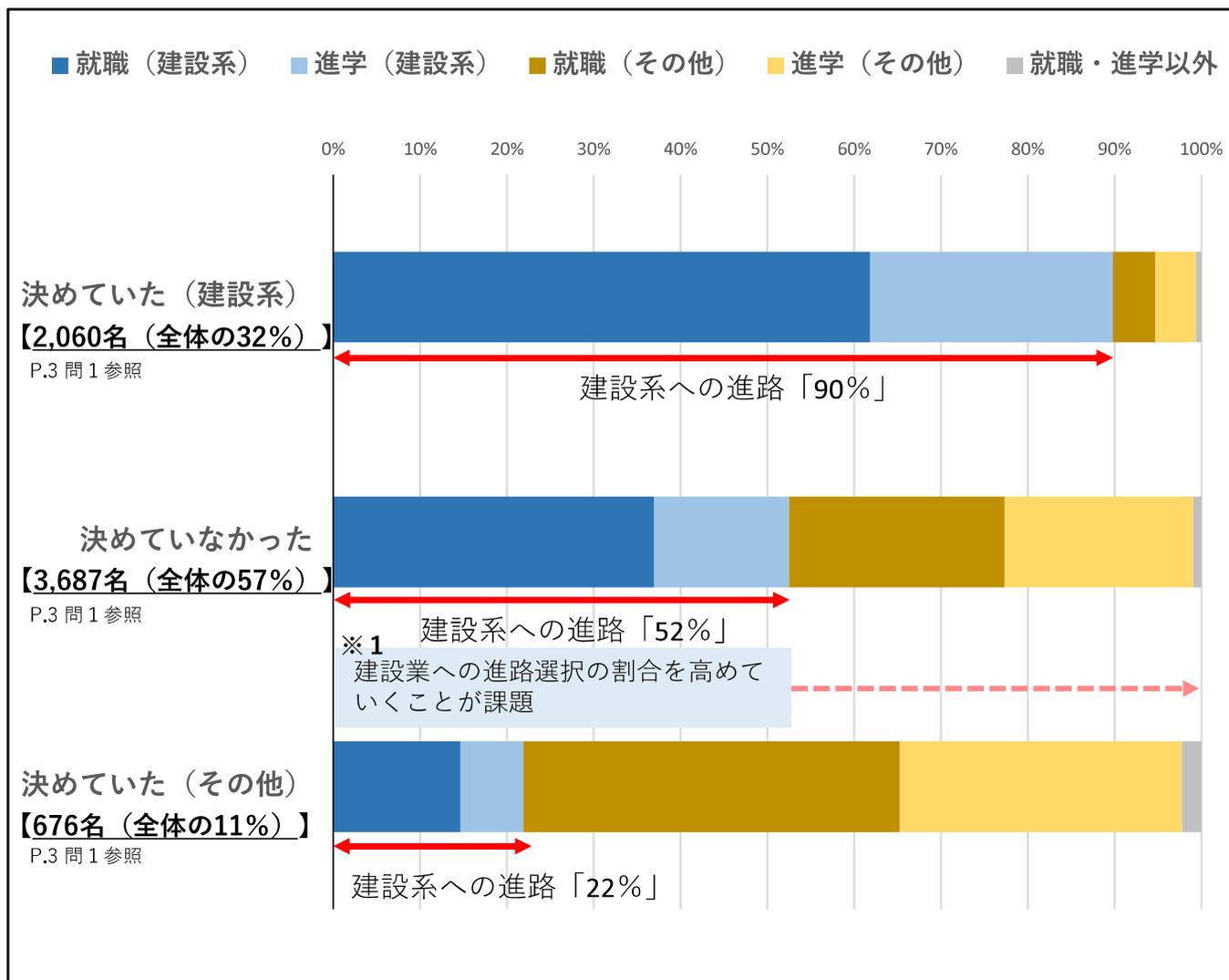
入学時の進路を「決めていなかった」 回答者の進路先	
就職（建設系）	1362
就職（その他）	916
進学（建設系）	574
進学（その他）	801
就職・進学以外	34

建設系で52%
(1,936名)

入学時の進路を「決めていた（その他）」 回答者の進路先	
就職（建設系）	99
就職（その他）	293
進学（建設系）	49
進学（その他）	220
就職・進学以外	15

建設系で22%
(148名)

3 クロス集計1の結果



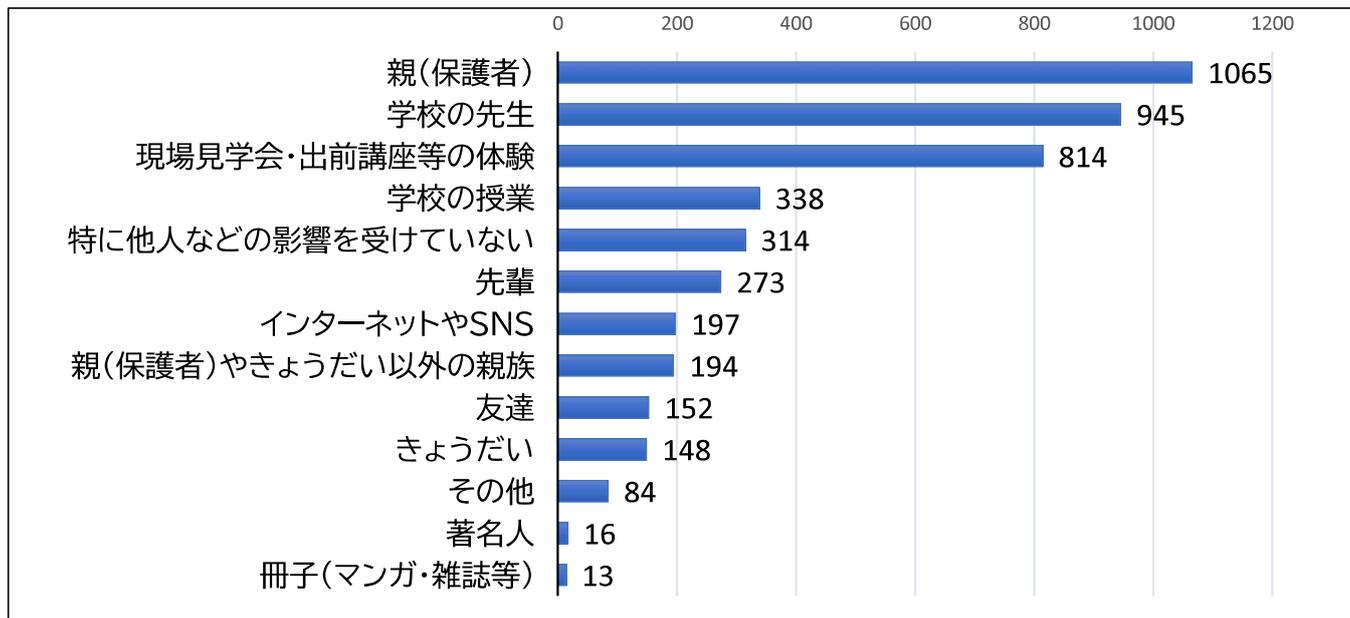
サマリー (クロス集計1)

- ・「高校入学時、建設系に進路を決めていた生徒」の割合は全体の32% (P.3 問1 参照) に留まるものの、**この内90%が卒業後の進路を建設系**としていることから、**入学時に目的意識を定めて入学した生徒ほど一貫して卒業後の進路に反映される結果**となった。このことから、**高校卒業後の建設産業界への進路決定については、高校入学前 (主に小学生・中学生) に建設産業界への進路意識 (興味・関心等) を持ってもらうことが重要**であると窺える。
- ・その一方で、全体の57%を占める「入学時に進路を決めていなかった生徒」 (P.3 問1 参照) については **卒業後の建設系への進路選択が52%**であり、「入学時に建設系に進路を決めていた生徒」の90%と比較すると大きな開きが生じていることから、担い手確保に向けては、**この割合を高めていくことが課題**であると窺える (この課題における分析内容については、クロス集計4-1 (P.15)、4-2 (P.16) を参照)。

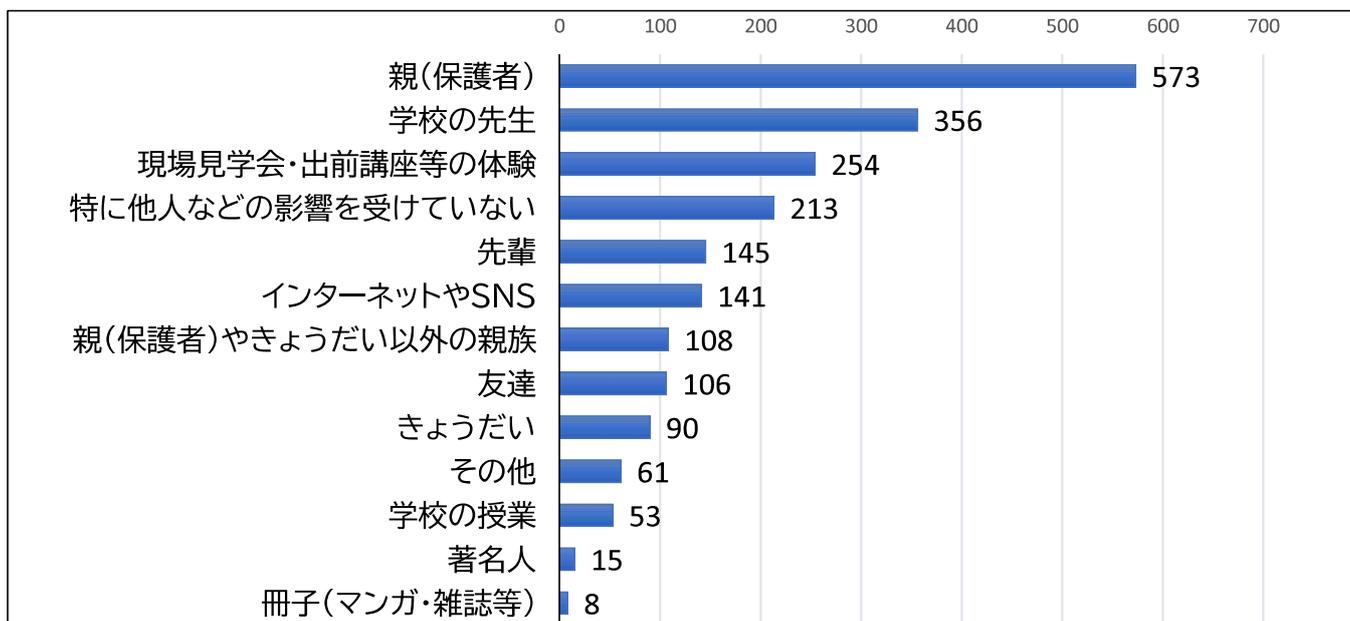
4 クロス集計2-1の結果

卒業後の就職先を「建設系」と「その他」に分け、主に影響を受けたことの差異を分析。

卒業後「就職（建設系）」を進路先とした回答者（2,735名）



卒業後「就職（その他）」を進路先とした回答者（1,310名）



サマリー（クロス集計2-1）

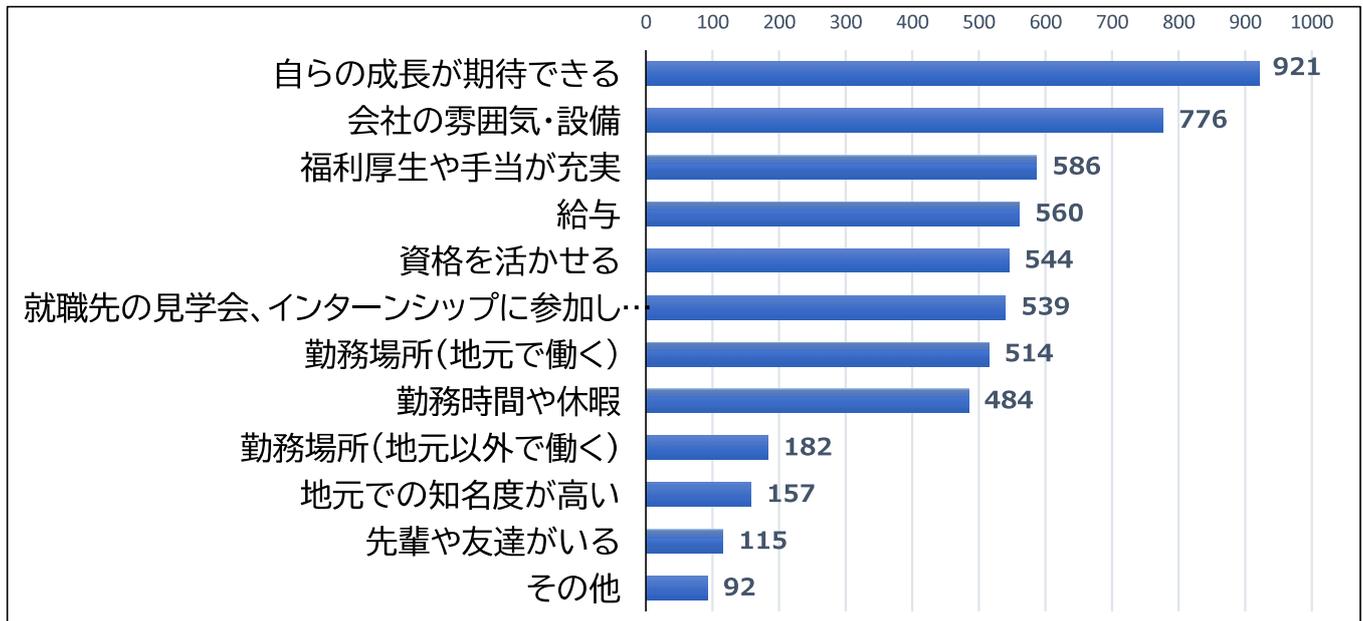
※就（建）…「就職（建設系）」 ※就（他）…「就職（その他）」

- ・共通して“親（保護者）”“学校の先生”“現場見学会・出前講座等の体験”の回答が上位となっており、全体的な差異が見受けられない中、[※]就（建）では“学校の授業”が4位に対し[※]就（他）は11位であり、建設系に就職する生徒ほど“学校の授業”に影響を受けていることが窺える。

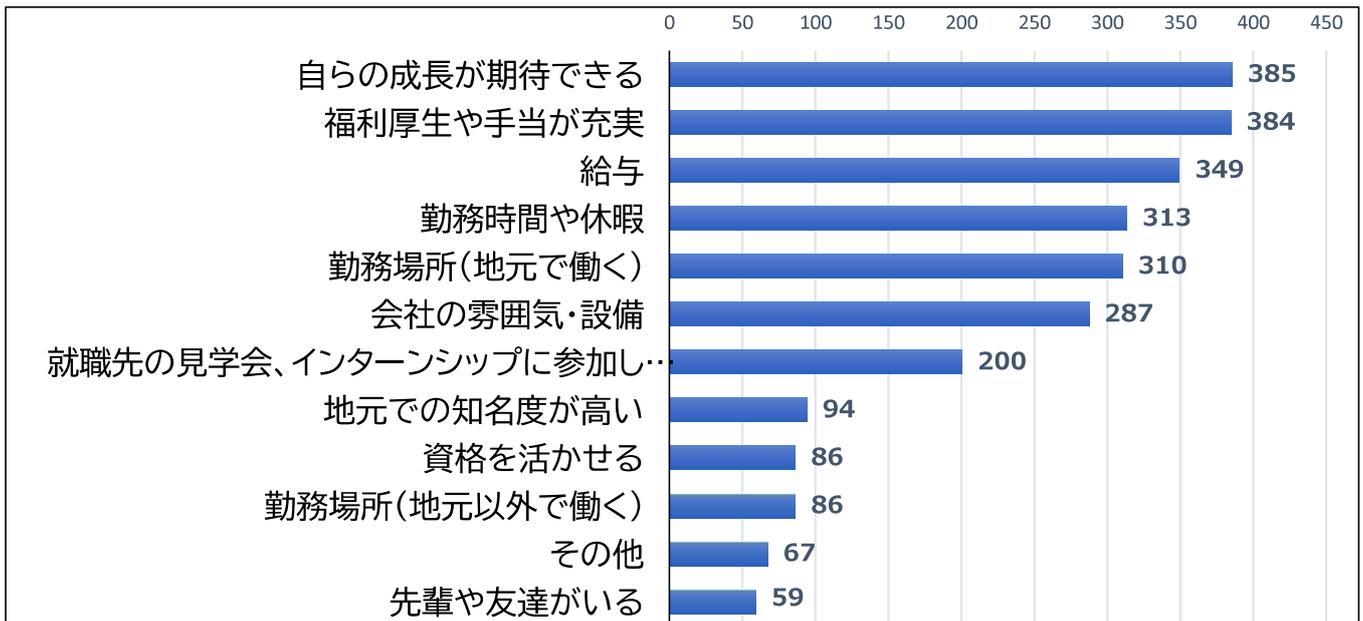
4 クロス集計2-2の結果

卒業後の就職先を「建設系」と「その他」に分け、その就職先に決めた理由の差異を分析。

卒業後「就職（建設系）」を進路先とした回答者（2,735名）



卒業後「就職（その他）」を進路先とした回答者（1,310名）



サマリー（クロス集計2-2）

※就（建）…「就職（建設系）」 ※就（他）…「就職（その他）」

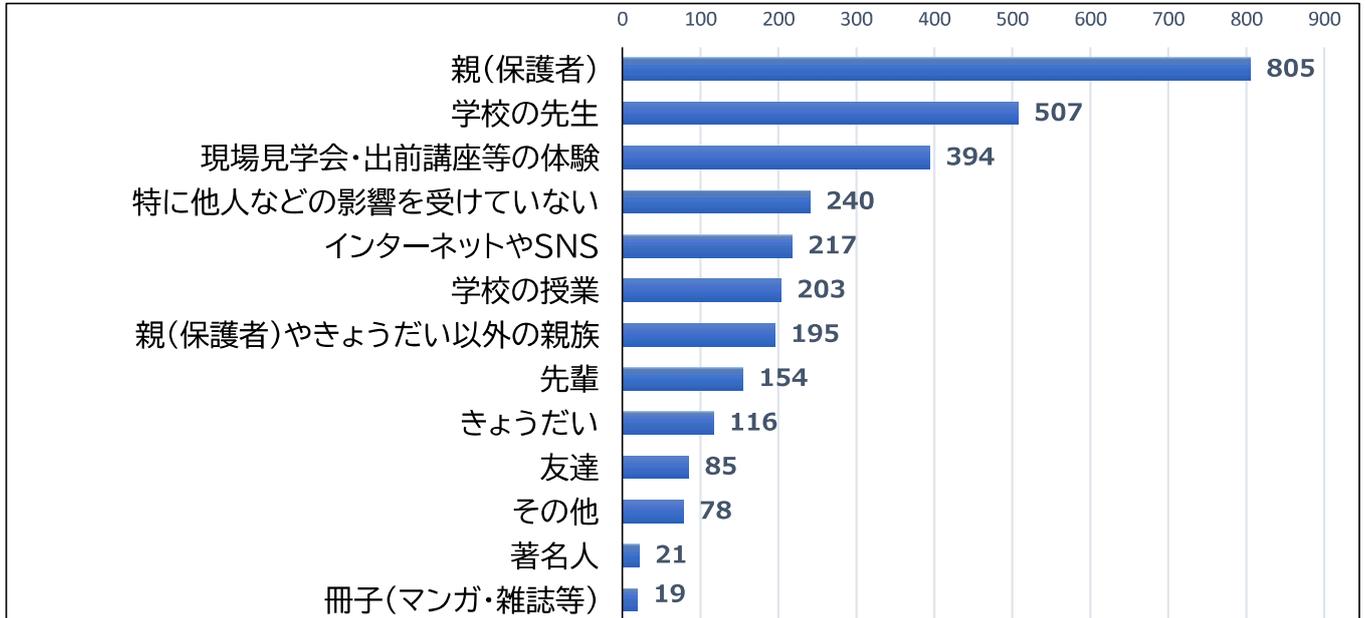
- ・共通して“**自らの成長が期待できる**”の回答が最上位となった。
- ・**就（建）**では“**会社の雰囲気・設備**”“**資格を活かせる**”が**上位5位以内**となっている一方で、**就（他）**は**それぞれ5位以下**となっている。どんな人とどのような環境で働くのか、また、在学中に得た資格を活かせるかを重視していることが窺える。

5 クロス集計3-1の結果

入学時の進路意識を建設系と決めていた回答者を対象に、卒業後の進路を「建設系」と「その他」に分け、主に影響を受けたことの差異を分析（就職・進学を含む）。

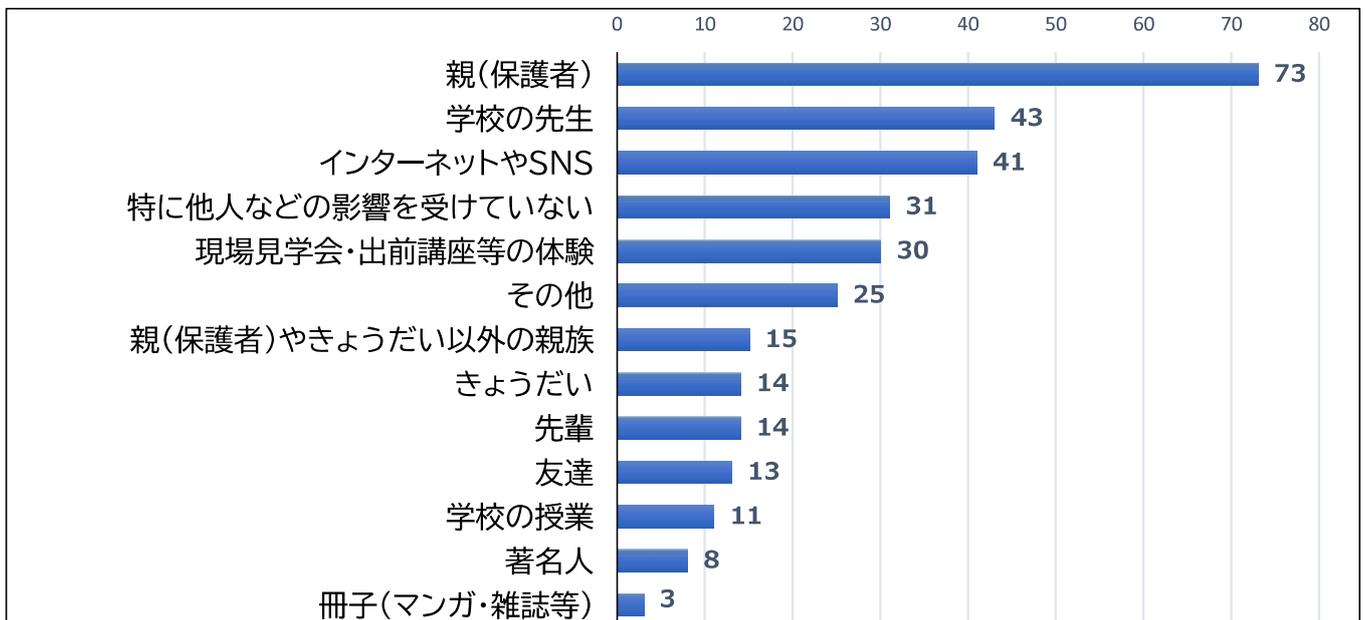
※就職・進学含む

入学時の進路を建設系に決めていた⇒卒業後「建設系」を進路とした回答者（1,850名）



※就職・進学含む

入学時の進路を建設系に決めていた⇒卒業後「その他」を進路とした回答者（197名）



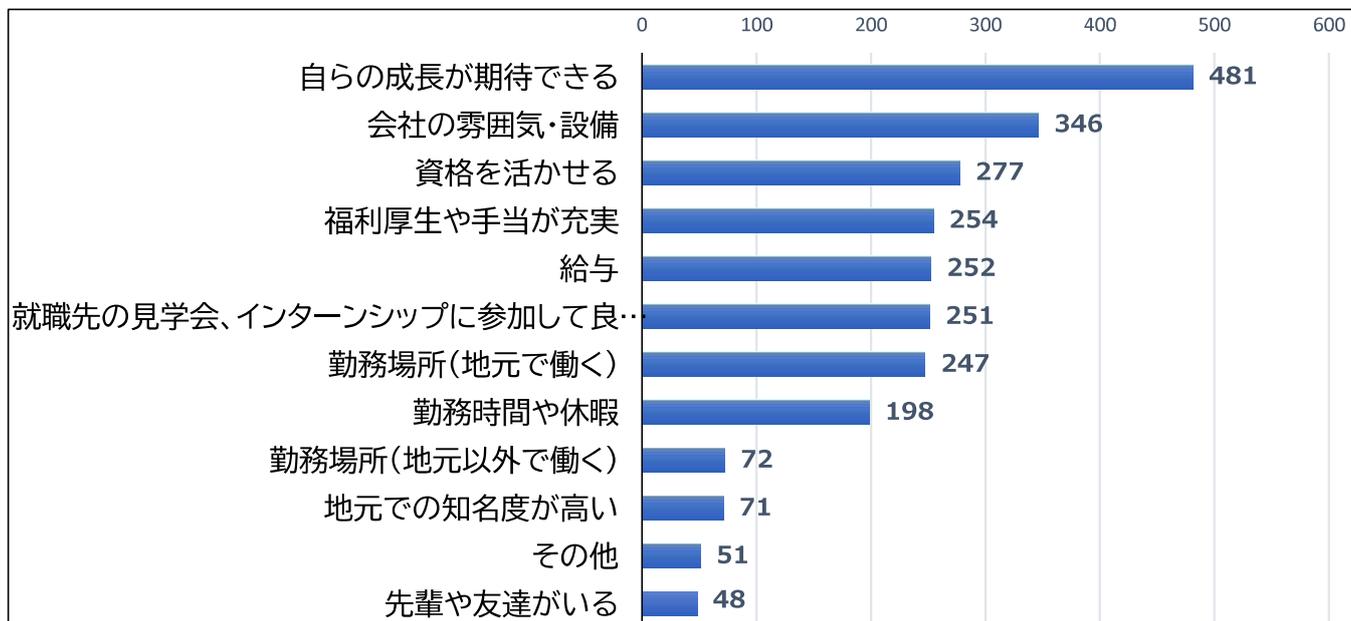
サマリー（クロス集計3-1）

- ・共通して上位5位以内は変わらない等、進路を決めるにあたり影響を受けたことについて特段の差異がない中、クロス集計3-2の就職先を決めた理由では差異が見受けられた。
- ・進路意識を建設系としていたにも関わらず「その他（建設系以外）」へ進んだ生徒は“親（保護者）”の影響を最も受けていることから、“親（保護者）”に対する建設産業の魅力等のPRを実施することが重要と窺える。

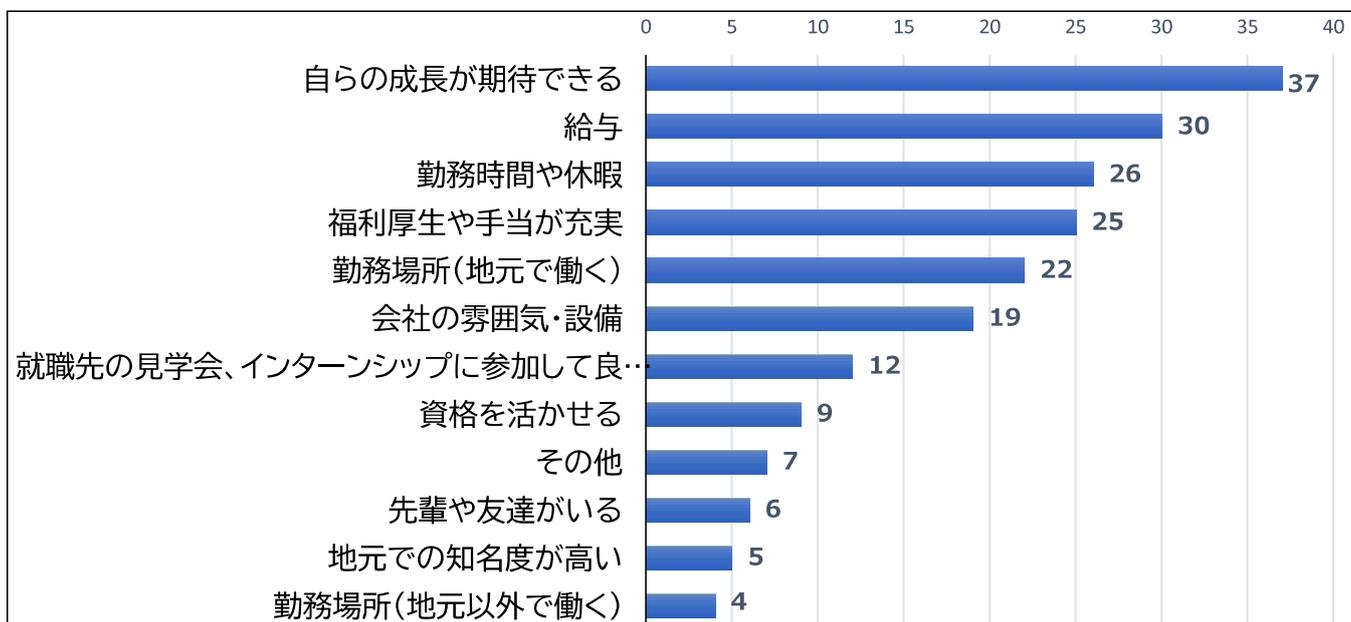
5 クロス集計3-2の結果

入学時の進路意識を建設系と決めていた回答者を対象に、卒業後の就職先を「建設系」と「その他」に分け、その就職先に決めた理由の差異を分析。

入学時の進路を建設系に決めていた⇒卒業後「就職（建設系）」とした回答者（1,274名）



入学時の進路を建設系に決めていた⇒卒業後「就職（その他）」とした回答者（101名）



サマリー（クロス集計3-2）

※就（建）・・・「就職（建設系）」 ※就（他）・・・「就職（その他）」

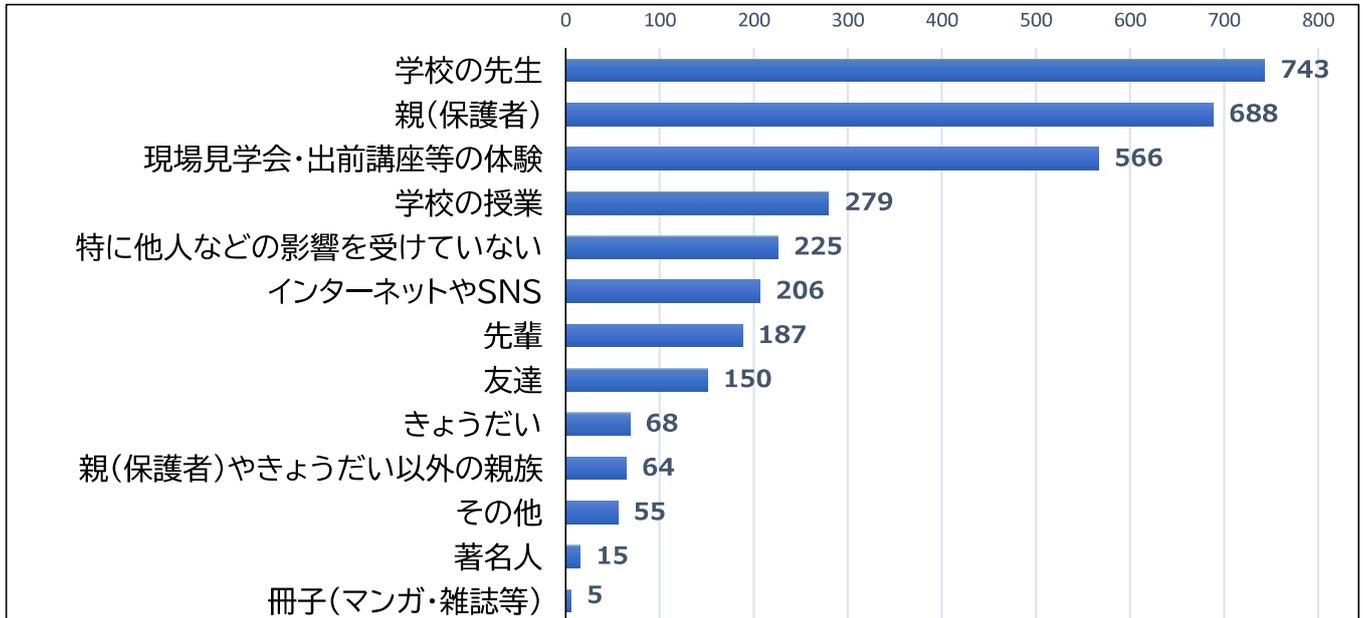
- ・共通して“自らの成長が期待できる”が最上位となった。
- ・※就（建）は“会社の雰囲気・設備”“資格を活かせる”が上位となっている一方で、入学時に建設系への進路意識をもっていたにも関わらず※就（他）の進路を選択した生徒においては、“給与”“勤務時間や休暇”を重視していることが窺える。

6 クロス集計4-1の結果

入学時に進路意識を決めていなかった回答者を対象に、卒業後の進路を「建設系」と「その他」に分け、主に影響を受けたことの理由の差異を分析（就職・進学を含む）。

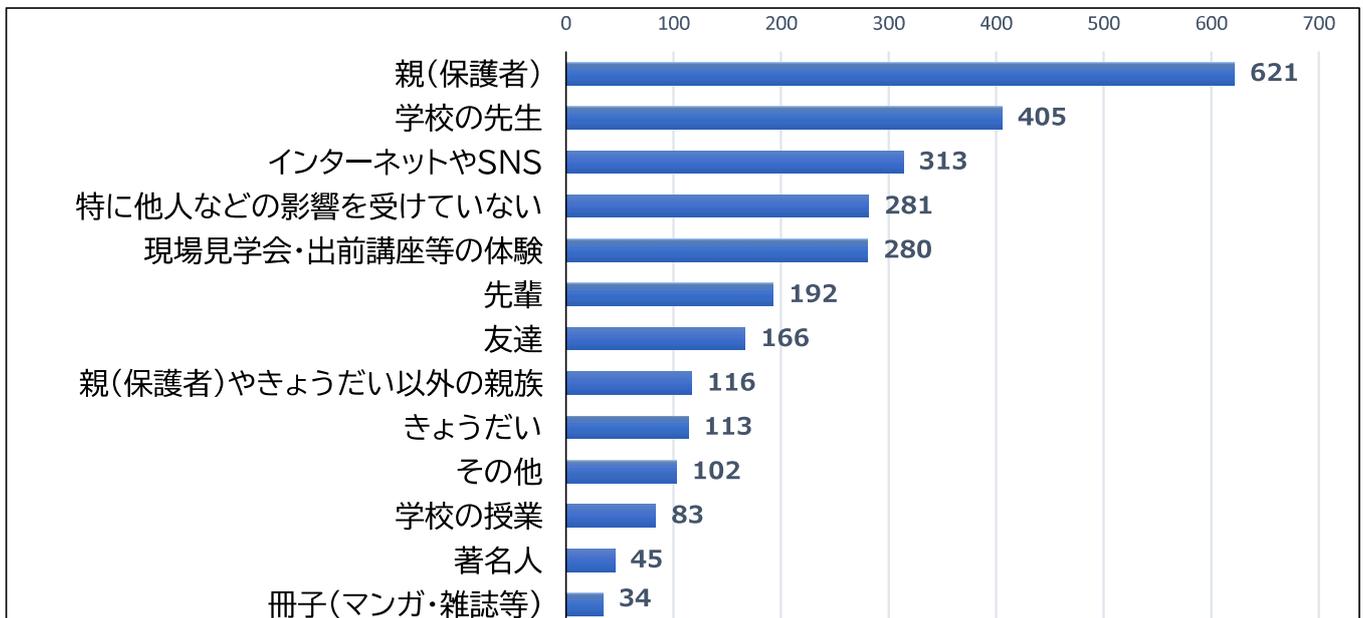
※就職・進学含む

入学時の進路を決めていなかった⇒卒業後「建設系」を進路とした回答者（1,936名）



※就職・進学含む

入学時の進路を決めていなかった⇒卒業後「その他」を進路とした回答者（1,717名）



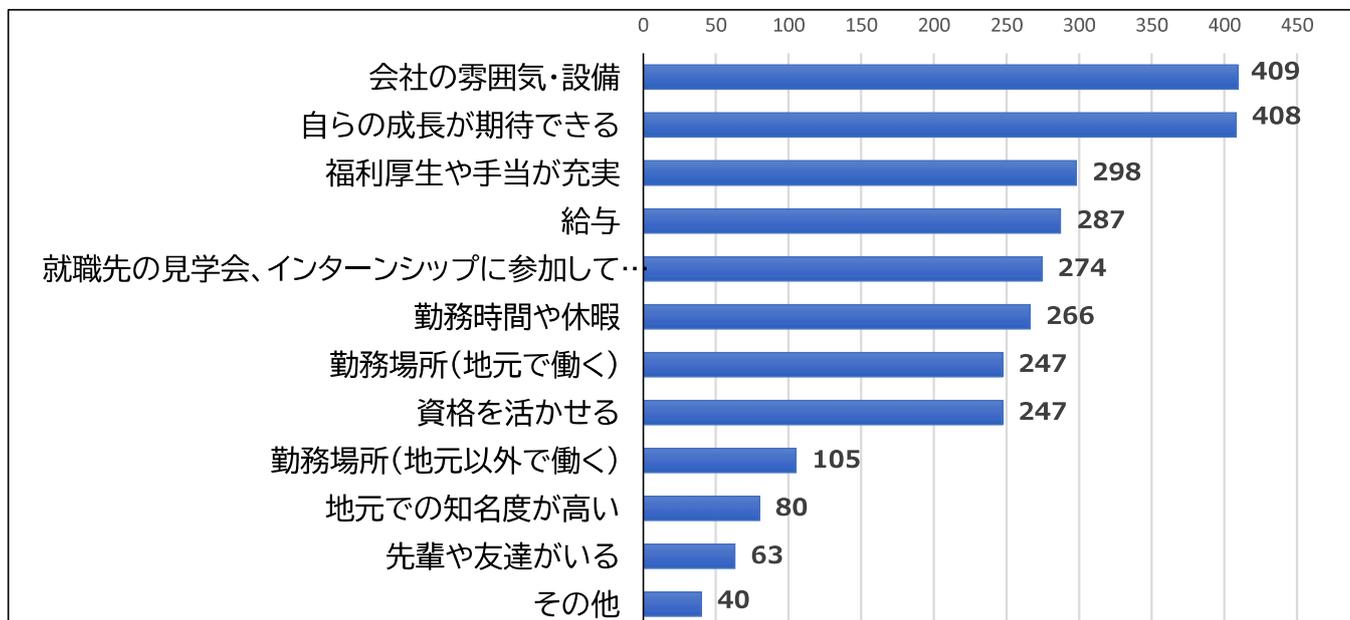
サマリー（クロス集計4-1）

- ・入学時に進路を決めていなかった生徒が建設系への進路を決めるにあたり“**学校の先生**”から最も影響を受けているため、“**学校の先生**”による進路指導等が大きく寄与していると窺える。さらに「建設系」は「その他（建設系以外）」と比較し“**学校の授業**”が上位となっている。なお、クロス集計3-1と同様「その他（同上）」は“**親（保護者）**”からの影響が突出している。
- ・入学時に進路を決めていなかった生徒が建設系への進路を決めるにあたり“**学校の先生**”や“**学校の授業**”、“**現場見学会・出前講座等の体験**”が大きな影響を及ぼしていることが窺える。

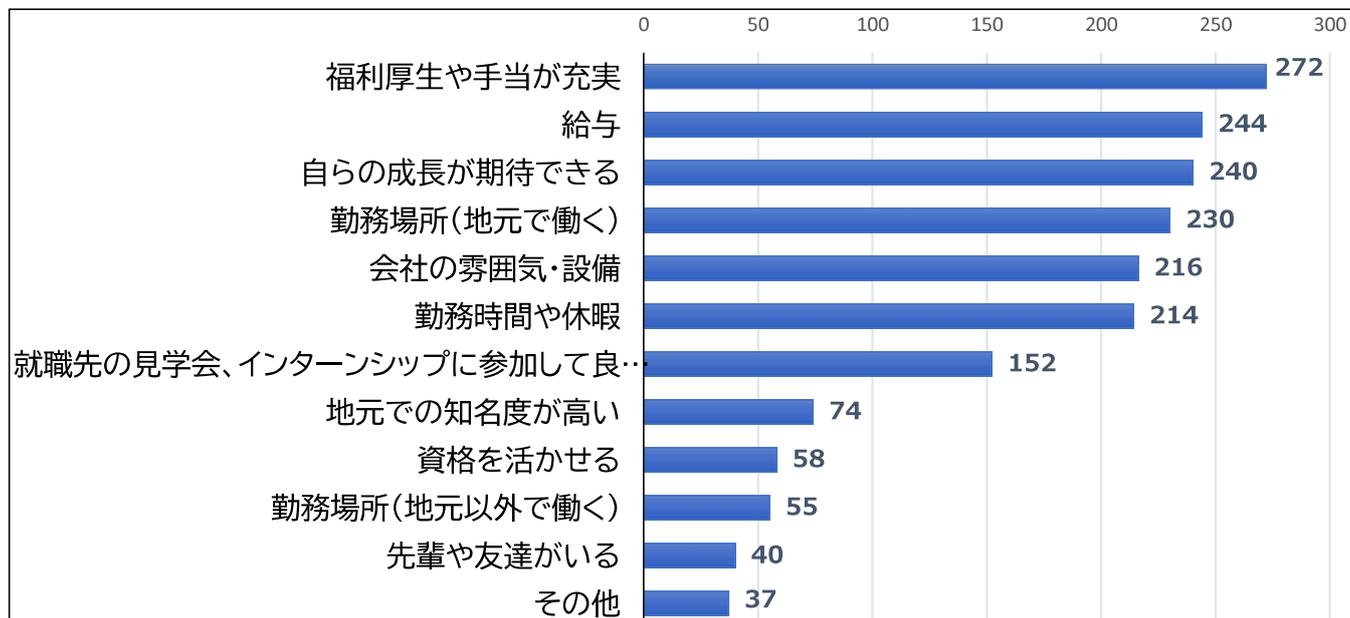
6 クロス集計4-2の結果

入学時に進路意識を決めていなかった回答者を対象に、卒業後の就職先を「建設系」と「その他」に分け、その就職先に決めた理由の差異を分析。

入学時の進路を決めていなかった⇒卒業後「就職（建設系）」とした回答者（1,362名）



入学時の進路を決めていなかった⇒卒業後「就職（その他）」とした回答者（916名）



サマリー（クロス集計4-2）

※就（建）…「就職（建設系）」 ※就（他）…「就職（その他）」

- ・就（建）は働く環境面を重視している一方で、就（他）は待遇面を重視していることが窺える。就（他）は“給与”はもとより、“福利厚生や手当が充実”も重視している。
- ・就（他）において、待遇面以外に、“勤務場所（地元で働く）”の「地元就職」も上位にあるにも関わらず、一定数が建設業ではなく他産業を選択していることが課題であると窺える。

●高校所在地別（都道府県） 回答者数・回答学校数【有効回答のみ】

都道府県名	回答者数	回答校数	(送付校数)
北海道	338	8	13
青森県	89	3	7
岩手県	93	3	6
宮城県	186	8	8
秋田県	193	9	10
山形県	84	3	5
福島県	281	9	11
茨城県	194	5	6
栃木県	179	5	8
群馬県	175	6	8
埼玉県	175	5	7
千葉県	94	4	7
東京都	58	2	5
神奈川県	152	4	8
山梨県	151	6	7
新潟県	147	5	8
長野県	199	3	5
富山県	148	4	4
石川県	114	3	4
福井県	49	2	3
岐阜県	98	4	10
静岡県	252	9	10
愛知県	240	7	13
三重県	152	5	6
滋賀県	29	2	2
京都府	87	3	5
大阪府	209	6	8
兵庫県	116	5	8
奈良県	45	2	3
和歌山県	57	1	2
鳥取県	38	2	2
島根県	111	5	6
岡山県	181	5	7
広島県	50	3	8
山口県	74	4	7
香川県	79	2	4
徳島県	75	3	3
愛媛県	167	6	7
高知県	102	4	5
福岡県	72	3	14
佐賀県	73	3	8
長崎県	172	5	6
熊本県	266	8	12
大分県	101	2	5
宮崎県	146	5	6
鹿児島県	204	7	10
沖縄県	128	5	5
合計	6,423	213	322

各種コンテンツのご紹介

(1) 人材協のコンテンツのご紹介

建設産業人材確保・育成推進協議会（人材協）では将来の建設産業を担う若年者に対し建設産業を“より身近に” “より分かりやすく” 情報提供すること並びに職業選択の一助となるようコンテンツを設けております。

ご参考までにこちらをご紹介させていただきます。

①HP「建設現場へGO!」

建設産業に関するコンテンツやイベントを検索&閲覧できます！

<https://genba-go.jp/>



②「建設産業ガイドブック」

建設産業の役割や各工事業の仕事について、写真やイラストを用いて紹介しています！

<https://genba-go.jp/download/>



③「18歳のハローワーク」

工事の流れを工程ごとに解説し、建設産業で働く職人へのインタビューも掲載しています！

<https://genba-go.jp/18hellow/>



(2) 建設業振興基金の機関紙のご紹介

●「建設業しんこう」Web

“建設産業の今を伝え未来を考える”をコンセプトに、国民と建設産業をつなぐ広報ツールとして、建設産業の魅力やインフラの重要性等をわかりやすく伝えることを心がけ発行しております。

<https://www.shinko-web.jp/>



建設産業人材確保・育成推進協議会

事務局：一般財団法人建設業振興基金

専門高校における産業界との連携事例等について

令和7年1月 文部科学省

現状・課題

- 第4次産業革命の進展、デジタルトランスフォーメーション (DX)、六次産業化等、産業構造・仕事の内容が急速かつ絶えず革新する中、専門高校では、**産業構造の絶え間ない変化に即応した職業人材育成が急務**。
- そのため、令和3年度より、産業界等と専門高校が一体となって職業人材育成を行うマイスター・ハイスクールを実施。
- 我が国の産業の発展のためには、**マイスター・ハイスクールの全国的な横展開が必須**。しかし、産業界等との連携に課題のある地域では導入が困難であることから、実践的な取組を通じた研究や全国実態調査等を通じて、連携体制の強化の方策について明らかにする必要。

事業内容

- ① 産業界等と一体となった先進的取組を行う都道府県等・専門高校が中核となり、産業界等と連携した人材育成の**広域ネットワークを牽引**
- ② 産業界等との**連携に課題のある地域が**、先進的取組を直接学びつつ、**連携体制の強化プロセスを実践研究**
- ③ 民間事業者による**取組に応じた支援、広域ネットワーク内をつなぐネットワークハブ**
- ④ 産業界等と専門高校の**連携段階ごとの課題及びその解決策**について調査し、実効性のある連携体制構築のポイントを整理

➔ **地域産業の持続的な成長を牽引する最先端の職業人材育成エコシステムを確立**

●マイスター・ハイスクール (R5年度指定)



(主な取組)

- 産業界等と一体となったカリキュラム刷新・実践
- マイスター・ハイスクールCEOを企業等から採用し学校の管理職としてマネジメント
- 企業等の技術者等を教員として採用
- 企業等での授業・実習を多数実施、企業等の施設・設備の共同利用 等

①先進的取組型 (R6年度～)



(主な取組)

- 域内全体での産業界等と専門高校の連携体制の確立
- 産業界等と連携した教育課程・体系的教育活動の域内普及
- 産学連携コーディネーターの持続可能な活用方策の検討
- 広域ネットワークの牽引 (他都道府県等への助言等)

等助言

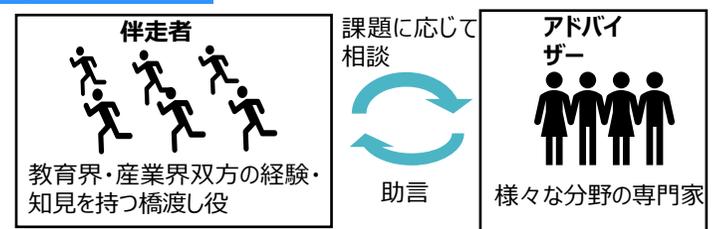
②連携体制強化型 (R6年度～)



(主な取組)

- 産業界等との連携体制の構築
- 企業等と連携した授業・実習
- 産学連携コーディネーターの配置・活用
- 広域ネットワークの知見の活用
- 取組を地域に発信 等

③取組の支援



伴走支援

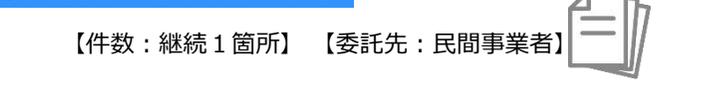
広域ネットワークの構築

連携ノウハウの提供・助言

連携ポイントの提供

- 広域ネットワークのハブ的作用
 - 産学連携コーディネーターの育成支援 等
- 【件数：継続1箇所】 【委託先：民間事業者】

④実態調査 (全国・指定地域)



情報提供

●専門学科デジタルコンテンツの充実

彦根工業高等学校×滋賀県教育委員会×彦根市×彦根商工会議所

本格的に、企業の組織の一員として現場で働く

1年次 学校設定科目「近江マイスター」 → 地域企業の先端技術やその専門家の働きを見学。

2年次 学校設定科目「ブラッシュアップ実習」 → 地域企業や専門家から技術を学ぶ。

3年次 学校設定科目「プログレス実習」 → 週1日、実際に企業で社内プロジェクトチームのメンバーとして働く。

<企業版デュアルシステム>

・「お客さん」ではなく「社員」として扱われ、他のメンバーと協働して、実際の業務の中で提案を行ったり、フィードバックを受ける体験をしている。学校で学んだ知識・技術がどのように社会で使われているのかを理解し、さらにその技術を使うための姿勢や考え方を学習。

内容

- 【機械科】企業課題解決の取組、3Dプリンタの製作 など
- 【電気科】彦根市広報のプロジェクションマッピングの取組 など
- 【建築学科】コンクリート等の強度試験・3Dスキャナ・ICT建機 など

「デュアルシステム」とは

- インターンシップよりも長期間の就業体験で、学校と企業が一緒になって生徒を育成する職業教育。
- 卒業後には当該企業に就職することもあり得る。



取組による成果等

長期インターンシップやデュアルシステムの受入れは企業にとって負担があったが、現場からも「人工知能の活用など手探りの中、自分の大きな学びにつながった」「外部からの視点で業務改善に直接的に貢献」といった声があり、相互にとって学びのある取組となっている。



デュアルシステム受入れ企業

教員が最先端技術や情報に触れる機会が増え、生徒は実社会で学ぶことで、自ら考えて行動する力や挑戦する意欲が高まっている。

デュアルシステムで企業での働く体験が、学校での学びの意味や目的に繋がり、彼らの進路実現に寄与していると感じている。



産業実務家教員
(地元企業のエンジニア)

静岡県立浜松城北工業高等学校

やらまいか精神を取り入れた浜松型デジタル人材の育成プロジェクト ～社会で活躍できるスペシャリストの育成～

浜松城北工業高等学校×静岡県教育委員会×浜松市×ヤマハ発動機株式会社

学校設定科目「ロボティクス概論」「ロボティクス実習」

- 「ロボティクス概論」では、地元ロボット関係企業に講師を依頼。それぞれの企業が取り組んでいる事業の実例を踏まえた講義を受講。ロボット工学についての知識および技術を育成するとともに、工業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成、課題を発見し解決する力、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
- 「ロボティクス実習」では、ヤマハ発動機ロボティクス事業部において工場見学や産業用ロボット安全教育、製造部や開発部等での実習を実施。



インターンシップ・現場見学会への参加

- 海外に進出している県内企業でインターンシップを実施し、海外マーケットにおける県内企業の魅力・競争力・貢献度などを感じとり、将来的に世界で活動する県内企業や関連産業で活躍したいという意識を養う。
- 工業用ロボットを扱う企業を見学することで、ロボティクスに対する興味と関心を高める。（県内企業7社）

起業家を迎えた出前授業（浜松みらい塾）

- 「やらまいか精神」を地域で引き継ぎ、持続的に発展させていくため、市内企業の創業者や卓越した技術をもつ技術者を講師として授業を実施。
- 企業の取組やチャレンジすることの大切さ等、企業経営における経験談を聞く。

高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）

令和7年度予算額（案）

2億円
（新規）



令和6年度補正予算額

74億円

現状・課題

大学教育段階で、デジタル・理数分野への学部転換の取組が進む中、その政策効果を最大限発揮するためにも、高校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化が必要

事業内容

情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、専門的な外部人材の活用や大学等との連携などを通じてICTを活用した探究的・文理横断的・実践的な学びを強化する学校などに対して、そのために必要な環境整備の経費を支援する

支援対象等

公立・私立の高等学校等
（1,200校程度）

箇所数・補助上限額 ※定額補助

- ・継続校 : 1,000校 × 500万円（重点類型の場合700万円）
 - ・新規採択校 : 200校 × 1,000万円（重点類型の場合1,200万円）
 - ・都道府県による域内横断的な取組 : 47都道府県 × 1,000万円
- ※必須要件に加えて、各類型ごとの取組を重点的に実施する学校を重点類型として補助上限額を加算（80校（半導体重点枠を含む））

採択校に求める具体の取組例（基本類型・重点類型共通）

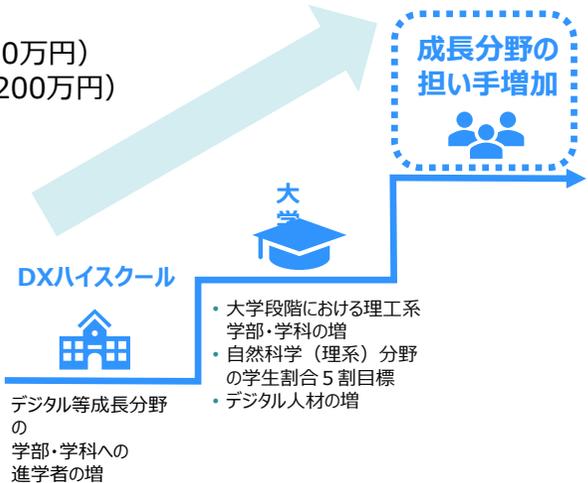
- ・情報Ⅱや数学Ⅱ・B、数学Ⅲ・C等の履修推進（遠隔授業の活用を含む）
- ・情報・数学等を重視した学科への転換、コースの設置
- ・デジタルを活用した文理横断的・探究的な学びの実施
- ・デジタルものづくりなど、生徒の興味関心を高めるデジタル課外活動の促進
- ・高大接続の強化や多面的な高校入試の実施
- ・地方の小規模校において従来開設されていない理数系科目（数学Ⅲ等）の遠隔授業による実施
- ・専門高校において、デジタルを活用したスマート農業やインフラDX、医療・介護DX等に対応した高度な専門教科指導の実施、高大接続の強化

採択校に求める具体の取組例（重点類型（グローバル型、特色化・魅力化型、プロフェッショナル型（半導体重点枠を含む）））

- ・海外の連携校等への留学、外国人生徒の受入、外国語等による授業の実施、国内外の大学等と連携した取組の実施等
- ・文理横断的な学びに重点的に取り組む新しい普通科への学科転換
- ・産業界等と連携した最先端の職業人材育成の取組の実施

支援対象例

ICT機器整備（ハイスペックPC、3Dプリンタ、動画・画像生成ソフト等）、遠隔授業用を含む通信機器整備、理数教育設備整備、専門高校の高度な実習設備整備、専門人材派遣等業務委託費 等



事業スキーム



（担当：初等中等教育局参事官（高等学校担当） 付

他省庁との連携（国土交通省・厚生労働省）

国土交通省との連携

「建設業における若年者入職促進に関する取組の周知について」

事務連絡
令和6年12月20日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校主管課 御中
各国立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局
参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室

建設業における若年者入職促進に関する取組の周知について（依頼）

平素より産業教育の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

この度、国土交通省より、高校生等の若年者の建設業に対する理解や入職促進を図ることを目的として現場見学会やインターンシップ等の取組をとりまとめたことと、別添のとおり周知依頼がありました。特に、本年度は別添1③として、高校生が活用できる資格取得支援の取組が一覧にまとめられているとともに、一般社団法人日本建設業連合会が行う資格取得費用のサポート制度の案内が添付されております。

ついでには、都道府県教育委員会においては、所管の高等学校及び城内の高等学校を設置する市町村教育委員会に対し、指定都市教育委員会においては、所管の高等学校に対し、都道府県私立学校主管課においては、所轄の高等学校及び学校法人に対し、附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課においては、その管下の高等学校に対し、周知いただきますようお願いいたします。

また、本取組の御不明点等については、別添資料に記載の「連絡先」へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

初等中等教育局参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室産業教育係（沖濱、澤、鴨谷）
TEL：03-5253-4111（内線2384）

厚生労働省との連携

「建設業若年者理解・定着促進事業（つなぐ化事業）の周知について」

事務連絡
令和6年6月11日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校主管課 御中
各国立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局
参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室

建設業若年者理解・定着促進事業（つなぐ化事業）の周知について（依頼）

平素より産業教育の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

この度、厚生労働省職業安定局建設・港湾対策室より、別添のとおり、若年者の建設業に対する理解や入職促進を図ることを目的として、昨年度に引き続き、意見交換会や出前授業などを通して高等学校の生徒・教師等と建設業界がつながる機会を設ける事業（建設業若年者理解・定着促進事業（「つなぐ化」事業））を実施することから、本事業の周知及び参画の協力依頼がありました。

つきましては、本事業について御了知いただくとともに、都道府県教育委員会においては、所管の学校及び城内の高等学校を設置する市町村教育委員会に対し、指定都市教育委員会においては、所管の学校に対し、都道府県私立学校主管課においては、所轄の学校及び学校法人に対し、附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課においては、その管下の学校に対し、このことについて周知いただきますようお願いいたします。

なお、周知に際しては、昨年度取組の事例集もあわせてご活用いただきますようお願いいたします。

事業への参加を希望する場合は下記ホームページへアクセスいただき、御不明な点などございましたら、厚生労働省職業安定局雇用開発企画課建設・港湾対策室建設労働係へ直接お問い合わせくださいようお願いいたします。

※「つなぐ化」事業 ホームページ（<https://tsunaguka.mhlw.go.jp/>）

【本件担当】

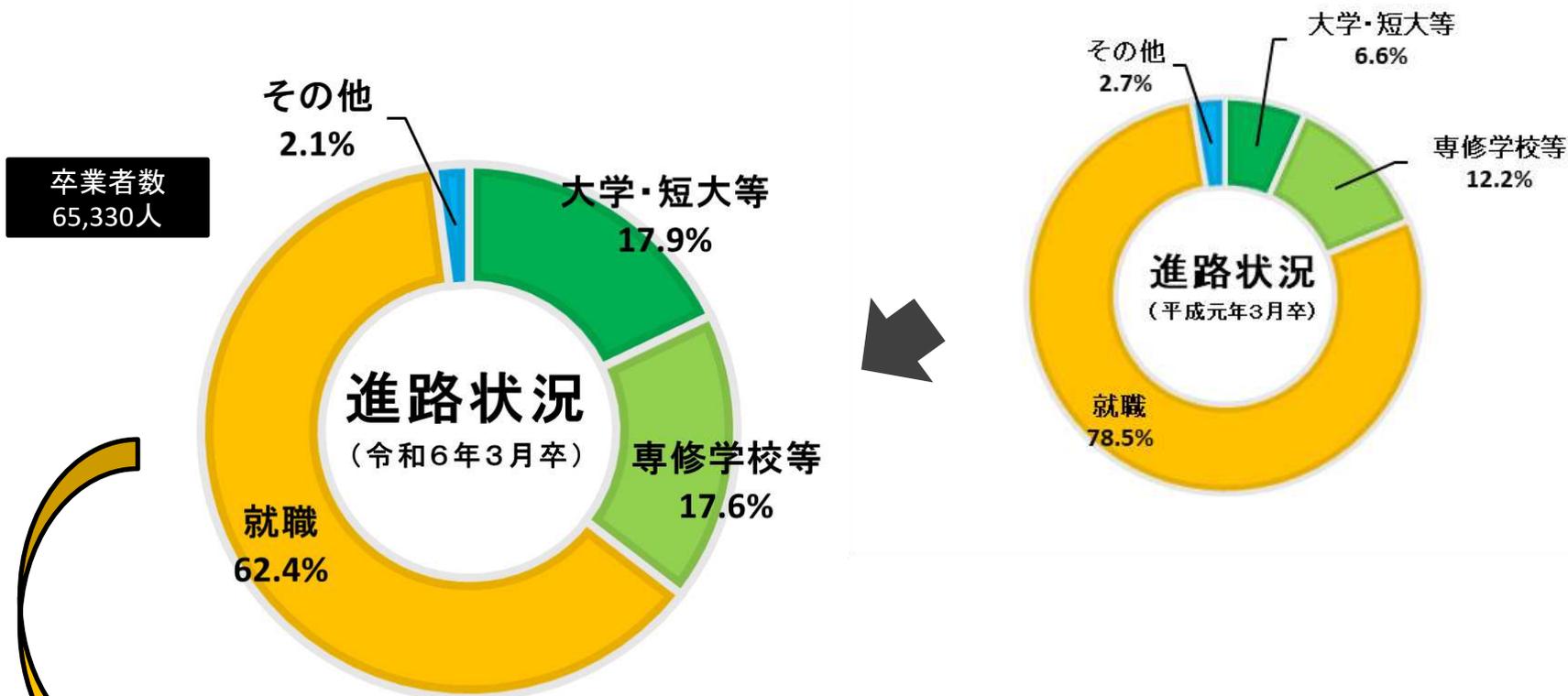
初等中等教育局参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室産業教育係 03-5253-4111（内線2384）

參考資料

高等学校学科別生徒数・学校数

区 分		生徒数 (人)	比率 (%)	当該学科を 置く学校数 (延べ数)	単独学科 学校数
合 計		2,898,357		6,523	3,430
普 通 科		2,146,969	74.1	3,678	2,548
職 業 学 科 (専 門 高 校)	小 計	490,356	16.9	1,906	555
	農 業	67,063	2.3	296	120
	工 業	199,712	6.9	516	250
	商 業	161,337	5.6	574	153
	水 産	7,087	0.2	42	21
	家 庭	34,002	1.2	259	4
	看 護	11,653	0.4	97	5
	情 報	3,225	0.1	28	1
	福 祉	6,277	0.2	94	1
その他専門学科		104,592	3.6	562	49
総 合 学 科		156,440	5.4	377	278

工業高校等の進路状況



<就職者内訳>

(%)

	農業 林業	漁業	鉱業 採石業 砂利採取業	建設業	製造業	電気 ガス 熱供給 水道業	情報通信業 運輸業 郵便業	卸売業 小売業 宿泊業 飲食 サービス業	金融業 保険業	不動産業 物品賃貸業	教育 学習支援業	医療 福祉	各種 サービス業	公務	その他
割合	0.2	0.1	0.2	17.9	53.1	3.5	6.0	5.4	0.1	0.4	0.0	0.4	8.2	3.9	0.6

(出典)文部科学省「学校基本統計(学校基本調査報告書)」

利根沼田テクノアカデミー

二地域居住における2拠点教育について

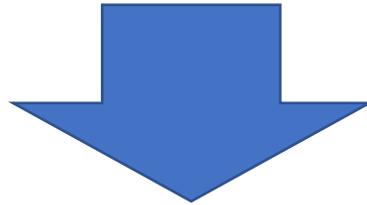
建設業の魅力を体験・経験の深化
による入職促進

二地域居住とは

我が国においては、近年、都市住民の地方への関心が高まっているとともに、国民の価値観、**ライフスタイルが多様化**してきている。

その中で、二地域居住は、地方での**豊かな自然・生活環境、自己実現、地域コミュニティへの参加や社会参画・協働、ふるさと回帰等への志向**に応えるとともに、地域活性化が図られるという意義を有し、いわば人生を2倍楽しむ豊かな暮らし方として提唱され、普及促進、実践されてきている。

加えて、新型コロナウイルス等感染症を契機として、働き方、生き方、住まい方が大きく変わろうとしている。例えば、国民の地方への関心が一層高まってきているとともに、**ICT技術の進展**とも相まって、テレワークの導入等の働き方改革がより進展しつつある。このため、今後のウィズ/ポストコロナ社会にあっては、DX等を前提として地方に就労を含む生活の主な拠点を移し、都市との関わりも副次的に残すという、いわゆる**新しい生活様式**に沿った新たな二地域居住が可能となり、より二地域居住が進展、拡大することが期待される。



このような政策のもと、二地域居住を促進することは、人の流れを生むとともに、都市集中の是正はもちろん、地方創生、関係人口の拡大にも資する極めて重要な課題であり、この機を逃さず、**関係省庁、関係地方公共団体、関係団体・事業者等が連携して、国民的な運動**として取り組んでいく必要がある。

(国土交通省国土政策課HPより)

二地域居住における二拠点教育

主旨・目的

・建設業の魅力を経験・体験で深化することによる入職促進

- ①「建設業への入職促進を創出・拡大」に向け学生・生徒さんの関心を的確に捉えた二地域教育促進が不可欠。（サイコグラフィック）
- ②二地域教育促進は学生さん、生徒さんの学びを実践してみたいニーズを実現することに加え、地域力を高める関係人口の創出・拡大等、魅力的な地域を経験・体験していただく有効な手段。
（二地域居住促進法）

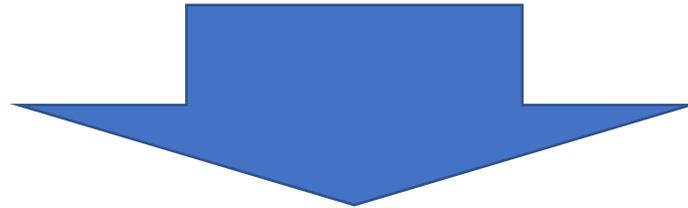
経緯

東京・愛知の先生方が利根沼田テクノアカデミーをご視察いただきアカデミーはもとより沼田地域の魅力にも魅了されたことにより都会の皆様が田園の地域での学びを実装できることに着目いただき、令和6年2月27日28日に東京の先生と生徒さんにお越しいただきプレFS実施

- ①引率された先生から「i-constructionはじめ技能実習や最新デジタル技術も体験できまた沼田の地域食材はじめ温泉、地域の方々との交流が東京では体験できないことができた。」とのお言葉
- ②生徒さんからの発言では「非常に現場に近い環境で体系的に実習できたことにより教室で学んできたことが体得できた。」と高評価。このことにより本事業を計画

実施

令和6年11月16日17日葛西工科高校・豊田高等専門学校の皆様方が沼田市にお越しいただきアカデミーはもとより沼田の魅力を体験・経験するカリキュラムを実施。都会の学生が田園地域での学びを実施。感動に近い学びができたと高評価。



別紙二拠点教育実施報告書参照

在籍学校や学年にとらわれない学び・研究交流スペースとしての職業訓練校（アカデミー）

建設技能学び交流



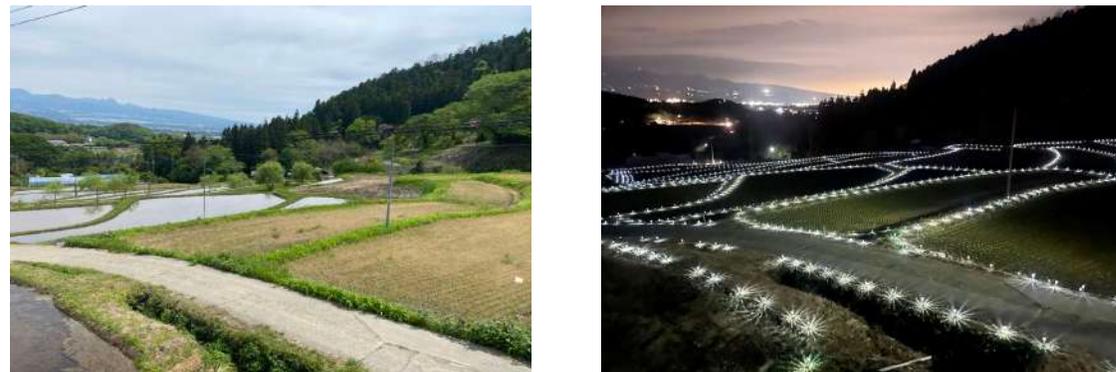
先端建設技術・研究・実践交流



土木技術実践の場



建設DX農業展開の場



継続実施に向けた課題

- 学生さんの学びの観点から一過性でない**継続性担保**
- 体験・経験から実践したいと実感してもらえる**仕掛け**

継続実施対策

- **基礎技能、デジタル技術**を学んでみたい建設教育をリデザイン。
- **性別・年齢・地域**にとらわれることなく、学びを**深め、交流し、実践し経験値**をあげていく場所とする。
- アップデートされた経験値を余すところなく後輩へ**パーパス**を**基軸**に**共同で作り上げる**。
- 学生さん生徒さん個々の**やりたい**（**ユーダイモニア**>**ヘドニア**）を反映していく。

= 日本版Well-being建設教育構想

二拠点教育 実施報告書

【参加学校】

東京都立葛西工科高等学校
豊田工業高等専門学校

実施日：2024年11月16日(土)～17日(日)

一般社団法人利根沼田テクノアカデミー

【開講式】

・利根沼田テクノアカデミーにて開校式を実施。
国土交通省、建設業振興基金、市長、国会議員、県議会議員、
市議会議員等多くの方々にご参加頂きました。



【開校式 参加者名簿】

氏名	所属	備考欄
一戸 勇	東京都立葛西工科高等学校	1年生
松田 怜來	東京都立葛西工科高等学校	1年生
小関 魁翔	東京都立葛西工科高等学校	1年生
鈴木 颯	東京都立葛西工科高等学校	1年生
ノルコス ユキ	東京都立葛西工科高等学校	1年生
東 君康	東京都立葛西工科高等学校	教諭
森 剣登	豊田工業高等専門学校 建設工学専攻	1年生
高橋 柊人	豊田工業高等専門学校 建設工学専攻	1年生
桂木 隆成	豊田工業高等専門学校 環境都市工学科	5年生
杉本 翼	豊田工業高等専門学校 環境都市工学科	5年生
小林 睦	豊田工業高等専門学校 環境都市工学科	教授
齋藤 英之	株式会社斉藤林業 代表取締役	
吉澤 義和	株式会社斉藤林業 執行役員 生産課 工場長	
小野 和満	角石林業株式会社 事務長	
城 麻実	国土交通省不動産・建設経済局 建設振興課長	
水本 真史	国土交通省不動産・建設経済局 建設振興課 専門工事業・建設関連業振興室	
深堀 貴良	国土交通省 国土政策局 総務課(併)地方政策課	
奥地 正敏	一般財団法人建設業振興基金 理事	
星野 稔	沼田市 市長	
中曽根 康隆	衆議院議員	
福重 隆浩	衆議院議員	
清水 真人	参議院議員	
金井 康夫	群馬県議会議員 副議長	
竹ノ内 篤	沼田市 教育委員会 教育長	
中村 浩二	沼田市議会議員 議長	
井上 弘	沼田市議会議員 副議長	
戸部 博	沼田市議会議員	
星野 妙子	沼田市議会議員	
山宮 敏夫	沼田市議会議員	
桑原 敏彦	利根沼田テクノアカデミー 校長	
松澤 考宏	利根沼田テクノアカデミー 理事	
花坂 弘之	利根沼田テクノアカデミー 講師	
諸田 陽子	利根沼田テクノアカデミー 総務	
神窪 のぞみ	日刊建設通信新聞社	
坂口 恭大	日刊建設工業新聞社	
石黒 淳	上毛新聞	

【子持山国有林】

・角石林業株式会社様のご協力で、子持山国有林での木の伐採を見学させて頂きました。林業機械で伐採している様子や、群馬県の木の特徴、伐採された木材のどの部分がどの様に使用されるか等様々なお話を教えて頂きました。



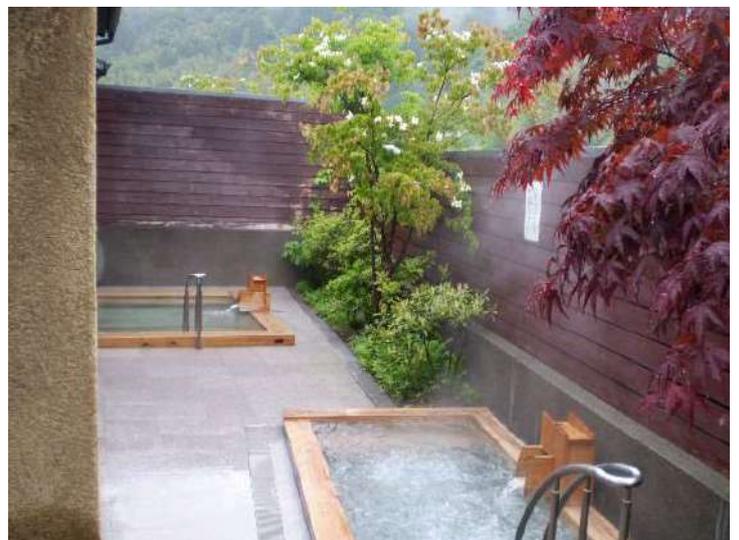
【石墨棚田イルミネーション見学】

・たくさんのライトで装飾されたつなぐ棚田遺産「石墨棚田」の見学を行いました。太陽光を利用したライトを使用し、地元小中学生協力のもと、素敵な棚田イルミネーションを見ることができました。



【入浴：しゃくなげの湯】

・地元でも人気の温泉で入浴しました。建物も杉やヒノキを使用した造りで落ちついた雰囲気となっており、源泉100%の天然温泉を楽しみました。



【夕食・1日目の振り返り講義】

・夕食ではイワナ、ジビエ肉（熊、鹿）、地元で出来た野菜など普段味わえない食材を楽しみました。その後、焚火を囲んで1日目に見学して実感したことや、学生の思いなどを語ってもらいました。



【豊田高専：ディスカッション・レーザースキャナー測量】

・国土交通省国土政策局深堀様と「二地域居住」に関するディスカッションを行ないました。ディスカッションでは違和感を自分課題にすることができました。その後危険斜面をレーザースキャナーでデジタル測量を体験しました。



【葛西高校：製材工場見学】

・木内木材様では丸太割付図を用いて製材の解説をして頂きました。大きな機械を使用して丸太を製材し、どの部分がどの様に使用されるのか等を学びました。



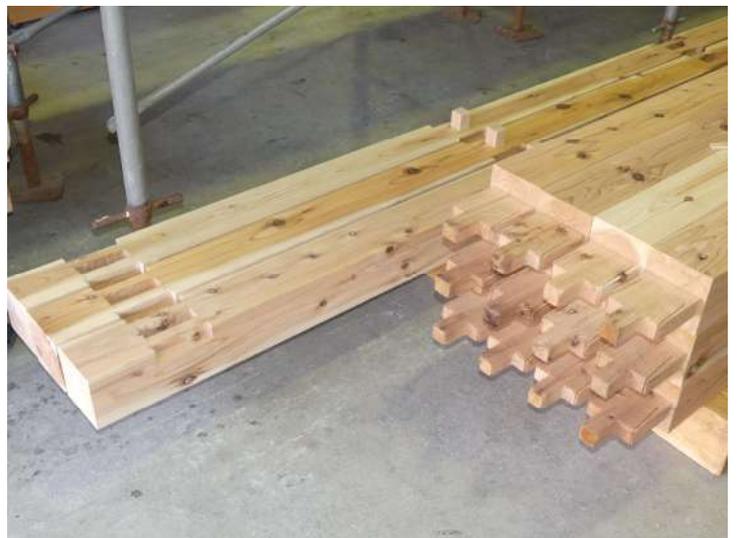
【豊田高専：齊藤林業様工場見学】

・工場の見学では、木によって使用用途が変わる事や、木の性質、木目の理由、木の加工はどのようにされるのか等の説明を丁寧に説明して頂きました。



【葛西高校：工場・加工見学】

・ 齊藤林業様で藤棚製作をさせていただきました。工具や製作方法等初めての体験がたくさんありました。昼食もごちそうになり、工場の見学や加工体験を通して、社長始め社員すべての方から木、製品、人すべてを大事にする大切さを感じました。



【閉講式】

・この2日間の研修でお世話になった方々より挨拶の言葉を頂きました。参加した学生も今回の体験・経験を今後の勉強に活かしていい街づくり、魅力ある建設業を創り上げてほしいと思います。



高専生・高校生招き2拠点教育

利根沼田テクノアカデミー（群馬県沼田市、桑原敏彦校長）は16、17日の2日間、葛西工科高校（東京都江戸川区）と豊田工業高等専門学校（豊田高専、愛知県豊田市）の生徒らを招き、学校とアカデミーでの初の2拠点教育を行った。作業の見学や体験、国土交通省の若手職員との議論などを通じ、現場で活用できる知識や新技術を身につけた担い手を育てるのが狙い。葛西工科林業（群馬県沼田市、角田博社長）の所有する杉林に向かい、フェラーバンチャ（伐倒機械）で幹を切り倒す作業と、プロセッサ仕様のハーベスタで長さを測り切りそろえる作業を見学した。同社のオペレーターは「木の曲がりやねじれを見ながら切ることが大切」とポイントを説明した。

同日夜、たき火を囲みながら振り返った学生からは「チェーンソーで切っているイメージだったので（実際の作業を見て）驚いた」との声があった。「林業の価値を高めるため、学んだことを発信して

木材の長さを計測して切る作業



藤棚作りの掛矢打ちに挑戦する生徒



製材作業見学や藤棚組み立て体験

いきたい」とも話していた。17日は豊田高専の学生が、国交省国土政策局地方政策課の深堀貴良氏を講師にディスプレイカッションをを行った。同省が注力する二地域居住の拡大を念頭に、豊田市と沼田市での二地域居住が可能かを話し合った。学生らは交通費などの点で難色を示しつつも、シェアハウスや乗り合いバスの活用などを積極的に提案した。続いて、アカデミー敷地の斜面のレーザー測量も行った。

両校の生徒らは斉藤林業（沼田市、斉藤英之社長）の本社工場を訪れ、製材作業を見学した。同社の担当者は「木材は乾燥し縮むことで強度が出る」と説明。木材を煙でいぶす燻煙（くんえん）乾燥炉の内部を見学したり、乾燥前後の木材の幅や含水率を測ったりした。続いて職人の指導を受け、製材した木材による藤棚の組み立てを体験。掛矢を使い継ぎ目部分に木材をはめ込む作業を行った。藤棚は葛西工科高校に持ち帰って校内に設置。来年には木材を使った小屋も建てる。

国交省不動産・建設経済局の城麻実建設振興課長、建設業振興基金の奥地正敏理事も2拠点教育を視察した。



斉藤林業訪問後の記念撮影

利根沼田テクノアカデミー（群馬県沼田市、桑原敏彦校長）は、国土交通省が進める二地域居住の取り組みと連携して将来の建設業を担う人材を育てる「2拠点教育」に乗りだした。葛西工科高校（東京都江戸川区）と豊田工業高等専門学校（愛知県豊田市）の2校から選抜された生徒ら9人を16、17日に招き、木材の伐倒や製材など林業の現場体験などを実施＝写真。国交省入省3年目の職員を交えたディスカッションなどを通じて、二地域居住などへの理解を深めた。＝4面に関連記事

国交省から講師を招いた人材育成企画はアカデミーで初めて。二地域居住の実現可能性についての議論では、参加した学生から乗り合いバスの活用が提案されるなど、



講師ら関係者と活発な意見交換が行われた。

「工科高校と高専という環境が異なる学校の生徒らに関わることで、新しい発見があるだろう」と桑原校長。2025年度は都内の建築・土木科がある高校、26年度は関東圏などへと参加対象を広げたい考えだ。

利根沼田テクノアカデミー

初の「2拠点教育」

国交省職員と意見交換

沼田で2拠点教育始動

本物の技術学び魅力伝える

職人育成塾利根沼田テクノアカデミー（群馬県沼田市、桑原敏彦校長）は、群馬県沼田市を拠点とした二拠点教育を開始した。11月16、17日の2日間、沼田市に東京都葛西工科高校と豊田工業高等専門学校（以下、専門）の生徒9人を招き、林業や建設業の仕事を通じて、林学・体験した。都会では体験できない本物の技術の学びを通じて、建築・土木の仕事の魅力伝える狙い。2025



最新の林業の現場を見学

利根沼田テクノアカデミー

年度以降も対象校や地域を拡大して継続実施することで、担い手の確保につなげたいと考えて。

16日に沼田市のアカデミー内（旧南郷小学校）で開いた開講式で桑原校長は、「国土交通省の打ち出した二地域居住の政策をヒントに二拠点教育を考えた。沼田市の企業が持つ高い技術力を他県の生徒に体験してもらい、林業そして土木・建設業の魅力と楽し



2日間の実習を終えた生徒たち

さを知ってもらいたい。将来を語り合った。

的には、これまでの業界の技術にDX（デジタルトランスフォーメーション）技術を取り入れ、稼働力を身につけた若いリーダーになってもいいと思う」と語り、最も重要な課題になっている。今回の体験で少しでも多くの田市長をはじめとする出席者に対し、「業界の深刻な担い手不足の状況を理解していただき、今回の二拠点教育を応援してほしい」と呼び掛けた。葛西工科高校の東君康教諭は、「東京ではドローンを飛ばしてDXにつながる教育ができていないと訴えてきた。生徒たちが先端技術を学ぶことが、これからの社会を築き上げていく礎になると確信している」と述べた。

高橋校長さんは、「私たちの学校がある沼田市は7割が山地で、沼田市と似ているところがある。豊田と沼田の二拠点での学びを中山間地域の課題解決につなげることができたら」と思っている」と意気込

みを語った。来賓として、国土交通省不動産・建設経済局の城麻実建設計画課長は「建設業も林業も防災や地域の経済活動を支える仕事だが、担い手確保が最重要課題になっている。今回の体験で少しでも多くの田市長をはじめとする出席者に対し、「業界の深刻な担い手不足の状況を理解していただき、今回の二拠点教育を応援してほしい」と呼び掛けた。葛西工科高校の東君康教諭は、「東京ではドローンを飛ばしてDXにつながる教育ができていないと訴えてきた。生徒たちが先端技術を学ぶことが、これからの社会を築き上げていく礎になると確信している」と述べた。

生徒を代表し、豊田高専の西工科高校の生徒たちは木内製材の製材所や斎藤林業の工場、伐倒した木材が加工される様子を見て回り、最後には大工の指導を受ける」と述べ、二拠点教育の継続的な実施の重要性を訴えた。

閉講式で豊田高専の小林睦教授は「拠点が変わり、バックグラウンドの違う人と会うことでモノの見方が変わって、違和感を課題として捉える、人と協働で解決していくことでの学びにつながる」と述べ、二拠点教育の継続的な実施の重要性を訴えた。

ちは国交省国土政策局地方政策課の深堀貴良氏を講師に、二拠点居住から見るとまちづくりの在り方をディスカッションした。アカデミー近くの危険斜面のレーザースキャナーでの計測も体験した。

沼田市での実習を基に葛西工科高校は、体験で活用した木材を購入して学校敷地内に藤棚を設置、6畳1間程度の小屋も作成して3次元化する。豊田高専は取得した斜面データを学校に持ち帰り、間伐材を活用した斜面安定工の形成に向けて3Dプリンターなどを活用して検証する。25年度には沼田で実施する計画だ。

令和 7 年度予算案の概要について

拡充 建設事業主等に対する助成金

令和7年度当初予算案 69億円 (72億円) ※ () 内は前年度当初予算額

労働特区			子育て	一般 会計
労災	雇用	徴収	育休	
	○			

1 事業の目的

建設業においては、技能者のうち60歳以上の割合が約4分の1を占める一方、29歳以下は全体の約12%となっており、若年労働者等の確保・育成、技能継承が極めて重要な課題となっている。本助成金では、建設労働者雇用改善法第9条に基づき、建設事業主等に支援を行うことで、建設労働者の雇用の改善、能力の開発及び向上、雇用の安定を促進することを目的とする。

2 事業の概要・スキーム・実施主体・事業実績

トライアル雇用助成金

◆ 若年・女性建設労働者トライアルコース

職業経験の不足などから就職に不安のある若年者（35歳未満）や女性を対象として、試行雇用を行った場合に支給されるトライアル雇用助成金（一般・障害者トライアルコース）に上乗せ助成。

助成額	対象者1人あたり4万円/月（最大3か月）
-----	----------------------

人材確保等支援助成金

◆ 若年者及び女性に魅力ある職場づくり事業コース（建設分野）

魅力ある職場づくりにつながる取組や広域的な職業訓練の推進活動を実施した場合に助成。

助成区分	助成率等
経費助成	中小建設事業主：60%
	中小建設事業主以外：45%

等（※1）

◆ 建設キャリアアップシステム等活用促進コース【新規】

建設キャリアアップシステム（CCUS）等を活用した雇用管理改善を目的とし、以下の場合に助成。
 <雇用管理改善促進事業> 中小建設事業主が、昇格認定を受けた技能者の賃金を5%以上増加
 <普及促進事業> 建設事業主団体が普及促進に向けた事業を実施

事業名	助成区分	助成額・率等
雇用管理改善促進事業	経費助成	中小建設事業主：16万円/人年
		中小建設事業主団体：66.7%
普及促進事業	経費助成	中小建設事業主団体以外：50%

◆ 作業員宿舎等設置助成コース（建設分野）

建設現場の女性専用トイレ・更衣室を整備した場合や作業員宿舎等を確保（石川県）した場合に助成。

助成区分	助成率
経費助成	60%

等（※1）

※1 上記の通常の助成率に加え、生産性向上助成及び賃金向上助成の上乗せ支給も実施。

人材開発支援助成金

◆ 建設労働者認定訓練コース

能開法による認定職業訓練または指導員訓練のうち、建設関連の訓練を実施した場合に助成。

助成区分	助成率・額	生産性向上助成 （上乗せ支給）（※2）	賃金向上助成・資格等手当助成 （上乗せ支給）
経費助成	16.7%	-	-
賃金助成	3,800円/人日	1,000円/人日	1,000円/人日

◆ 建設労働者技能実習コース

若年者等の育成と熟練技能の維持・向上を図るため、キャリアに応じた技能実習を実施した場合に助成。

助成区分	助成率・額等	生産性向上助成 （上乗せ支給） （※2）	賃金向上助成 ・資格等手当助成 （上乗せ支給）
経費助成	中小建設事業主（20人以下）：75%	15%	15%
	中小建設事業主（21人以上） 35歳未満：70%	15%	15%
	中小建設事業主（21人以上） 35歳以上：45%		
賃金助成	中小以外の建設事業主（女性労働者のみ支給対象）：60%	15%	15%
	中小建設事業主（20人以下）： 8,550円/人日（※3）	2,000円/人日	2,000円/人日
	中小建設事業主（21人以上）： 7,600円/人日（※3）	1,750円/人日	1,750円/人日

等

※2 令和4年度までの支給要領に基づき、当該コースの助成金を受給した建設事業主を対象とした経過措置。

※3 CCUS技能者情報登録者の場合は、賃金助成額（上乗せ支給分は除く）を1.1倍にして助成（令和7年度まで）。

○実施主体・スキーム：労働局（助成金の支給）→ 建設事業主等（助成対象の取組を実施）
 ○令和5年度支給実績（3助成金の合計）：5,984,684千円（128,297件）

建設業 雇用管理責任者に対する研修等の実施（建設労働者雇用支援事業）

令和7年度当初予算案 82百万円（82百万円） ※（）内は前年度当初予算額

労働特区			子育て	一般 会計
労災	雇用	徴収	育休	
	○			

1 事業の目的

- 建設業はその産業特性に起因して雇用関係が不明確等の問題がみられるという実情に鑑み、建設労働者の雇用の改善等に関する法律第5条において、事業所ごとに雇用管理責任者の選任を義務づけ、適正な雇用管理を行うために必要な知識の習得及び向上を図るよう努めることを規定。
- しかし、零細な事業者が多い建設業においては、事業主自らが雇用管理の研修を行うことは難しいため、本事業では、国が雇用管理責任者を対象とした研修を行うことで、事業所における適正な雇用管理を行うために必要な知識の習得・向上の促進を目的とする。

2 事業の概要・スキーム

厚生労働省

委託

受託事業者

雇用管理研修の実施

雇用管理基礎講習コース

労働者の雇入れ及び配置から退職に至るまでの雇用管理に必要な知識の習得・向上

- ・建設労働者雇用改善法や労働関係法令等に関する基礎知識
- ・雇用管理責任者の役割
- ・国の建設雇用改善施策の紹介など



開催回数：47都道府県×4回＝188回
受講人数：5,640人（1回当たり30人）

コミュニケーションスキル等向上コース

若年労働者の職場環境への適応や技能の習得が円滑に進むよう、熟年労働者が若年労働者と円滑なコミュニケーションを取りながら働くための職場環境づくりのスキル等を習得向上

- ・職場内の若者との円滑なコミュニケーションの取り方
- ・新入社員のモチベーション維持向上

開催回数：47都道府県×2回＝94回
受講人数：2,820人（1回当たり30人）

研修

雇用管理責任者

雇用管理能力の向上による職場環境の改善



3 実施主体等

■ 委託事業により実施

■ R5事業実績

- ・雇用管理基礎講習コース
開催回数：205回
受講人数：6,042人
- ・コミュニケーションスキル等向上コース
開催回数：94回
受講人数：506人

■ KPI（事業目標）

- ・受講者数 7,000人以上
- ・研修終了時のアンケート調査で「役に立った」旨の評価を受ける割合 96%以上



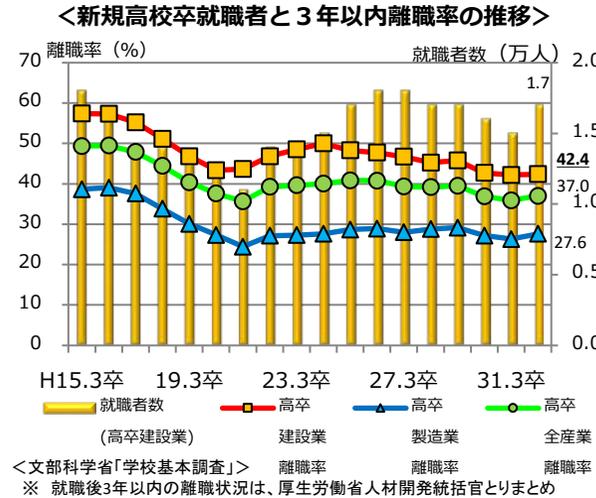
建設業若年者理解・定着促進事業（「つなぐ化」）の実施

令和7年度当初予算案 29百万円（28百万円） ※（）内は前年度当初予算額

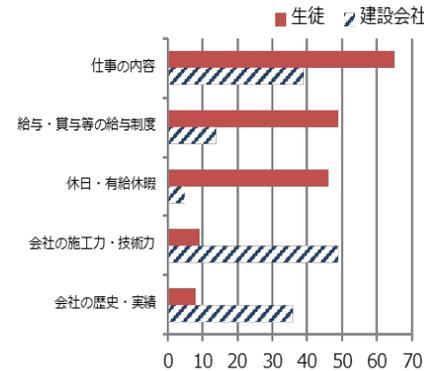
労働特区		子育て特区		一般会計
労災	雇用	徴収	育休	
	○			

1 事業の目的

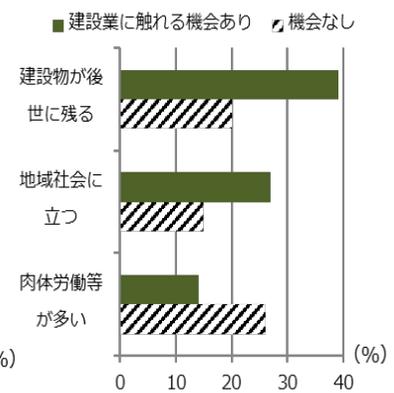
- 建設業においては、他産業と比べ高齢化が進行している中、新規高校卒就職者の就職後3年以内の離職率は常に全産業平均、製造業を上回っている。
- 離職の背景には、就職先を決定する過程において知りたい情報を十分に受けられていないことが挙げられているため、本事業では、若年者と建設業界がつながる機会を提供することで、若年者の建設業に対する理解を深め、職場定着を促進することを目的とする。



<生徒が重要・知りたいと思った情報と会社がアピールしたい情報>



<建設業に対するイメージ>



<国土交通政策研究所:「国土交通分野の将来見通しと人材戦略に関する調査研究」(一部抜粋)>

2 事業の概要・スキーム



3 実施主体等

- 委託事業により実施
- R5事業実績 (実施回数)

出前授業	68回
現場見学会	53回
意見交換会	1回
インターンシップ	26回
計	148回
- KPI (事業目標)
 - ・ 実施回数 141回以上
 - ・ 生徒等に対する事業参加の前後のアンケート調査において、就職先として建設業に関心を持った人数の増加した割合 46%以上

令和7年度当初予算案 4.9億円（4.8億円） ※（）内は前年度当初予算額

労働特会		子子特会	一般
労災	雇用	徴収	育休
	○		
			会計

1 事業の目的

- 建設業界の人手不足解消を支援するため、建設技能労働者の人材確保・育成を図ることを目的とする。

2 事業の概要

- 建設産業関係事業団体等に委託し、離転職者、新卒者、未就職卒業者等について、座学、実習等の訓練から就職支援までをパッケージとして事業を行う。【委託事業】

3 事業スキーム・実施主体等

技術的支援・協力

国(厚生労働省)

委託

建設産業関係事業団体等

- 事業内容
 - ・訓練職種・コース選定、カリキュラム・教材開発、建設業への入職促進に係る周知広報
 - ・訓練生募集、実習機関のコーディネート、訓練実施
 - ・ハローワーク・職種別団体と連携した就職支援(無料職業紹介)
- 対象職種 人材不足が顕著な建設技能職種(型枠工、鉄筋工、とび工の野丁場建設躯体職種及び電気・配管等の建設設備職種)
- 養成期間 1～6月程度(多能工養成は1年以内)
- 実施体制 中央拠点と複数の地方拠点を設置し実施
- 実習機関 富士教育訓練センター(静岡県)、三田建設技能研修センター(兵庫県)等を活用
- 規模 年間 400人

全建・日建連等・大手ゼネコン各社等

建設業団体傘下企業等

就職



※全建・・・(一社)全国建設業協会(地方ゼネコン各社で構成)、日建連・・・(一社)日本建設業連合会(大手、準大手ゼネコン各社で構成)

ポータルサイト「建設現場へGO！」の 現状と課題、今後の方針について（人材協）

2025年1月16日

（事務局）一般財団法人建設業振興基金

「建設現場へGO！」とは

建設産業人材確保・育成推進協議会が運営する建設産業の情報ポータルサイトとして、建設産業団体や行政機関等が個々に広報している若年者入職促進等に資する様々なコンテンツ情報（YouTube動画、冊子、各地域で開催されるイベント・セミナー等）を集約したJobポータルサイトとして「建設現場へGO！」を運営（<https://genba-go.jp/>）。



(参考)

記事掲載数：409件（2024年12月末現在）



イベント掲載数：65件（2024年12月末現在）

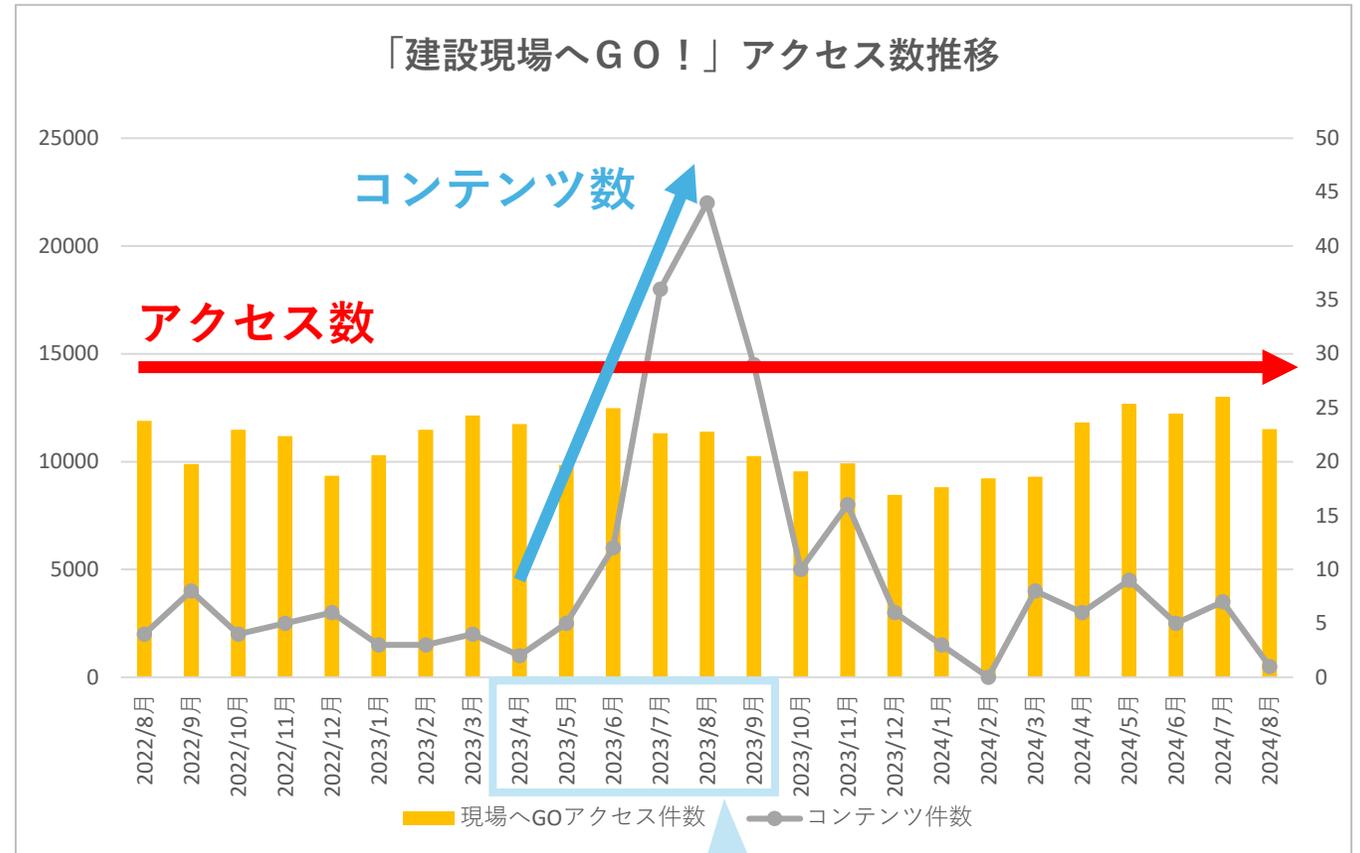


アクセス数の推移

2023年4月～9月にかけて営業活動を強化し建設産業団体や行政機関等が個々に広報している若年者入職促進等に資するコンテンツ数を増加させたが、アクセス数に変化はなく、約10,000件／月で推移。



新規に閲覧するユーザー数を増加させるための仕組みづくりが必要



コンテンツ数を増やすべく営業活動を強化

新規コンテンツの作成（2024年度）

新規に閲覧するユーザーと「建設現場へGO！」をつなぐ仕組みとして新コンテンツを作成

①建設業職種メーカー（2024年9月末リリース）



<https://genba-go.jp/work-maker/>

小中学生など業界をあまり知らない人にオススメ！

○制作目的
楽しみながら建設業の様々な職種を知っていただくこと

○詳細
簡単な8つの設問への回答によって、「建築士」「外壁工事業」「左官工事業」などの15職種の中から職種を紹介。若年者に親しみやすく幅広い場面で利用が可能。「建設現場へGO！」の様々なコンテンツに誘導できるように、結果ページには「回答結果のSNSシェアボタン」や「建設産業ガイドブックの紹介」を表示。
(参考：10月1日～12月31日までに2,757件のアクセス実績)

②建設会社へGO！企業マップ（2024年10月末リリース）



https://genba-go.jp/company_map/

学生、学校の先生、保護者、建設企業にオススメ！

○制作目的
建設産業への若年者の入職促進、人材の確保・育成・定着などを推進する優良建設企業を知る機会を提供すること

○詳細
建設人材育成優良企業表彰を含む公的機関などの表彰・認定などを受けていることを登録の必須条件として登録企業を随時募集中。12月末時点で107社掲載中（総合建設業77社／専門工事業27社／建設関連業3社）

全て無料でご利用いただけます。是非ご活用ください。4

新規コンテンツ作成後のアクセス数の推移

2023年度の月平均アクセス数が約10,000件だったことに対し、
2024年10月アクセス数：22,273件
11月アクセス数：18,848件

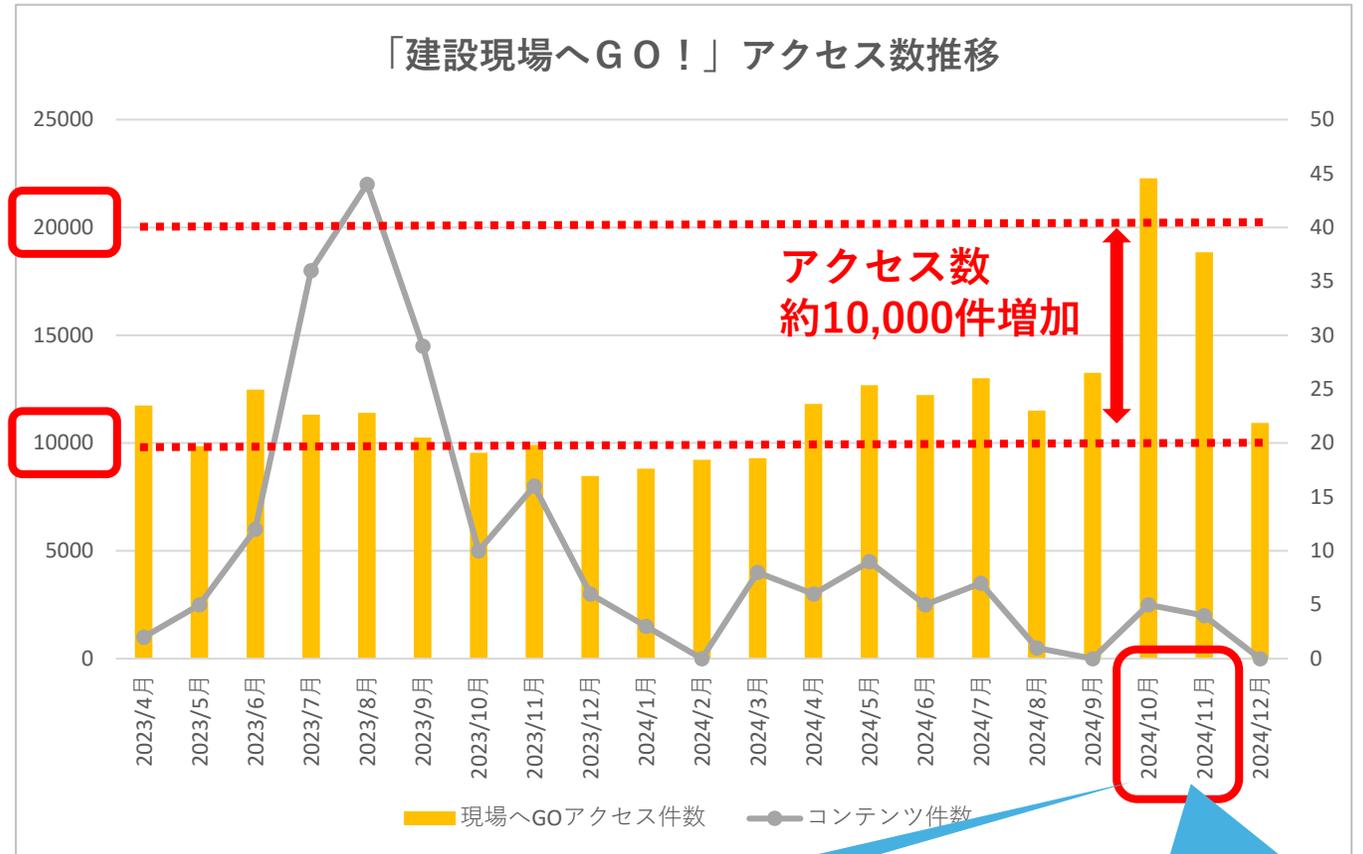
→新規コンテンツのリリースはアクセス数に対して一定の効果があつたといえる

一方で、リリースが落ち着いた12月のアクセス数は10,936件まで減少

→リリースを機にサイトに訪れてくれた新規ユーザーが「建設現場へGO！」を継続的に利用していないことが判明



停滞していたアクセス数が増加！一方で利用者の継続性に課題



「建設業職種メーカー」
リリース！

「建設会社へGO！企業マップ」
リリース！

課題と今後の方針(案)

○課題

今回、「建設現場へGO！」の中に新規コンテンツを2つ追加したことで、一定のアクセス数が増加したが、継続的にサイトに訪れてもらうためには、サイトの利便性を高めてリピーターを増やしていく必要がある。

現状、「建設現場へGO！」は建設産業の担い手確保・育成に関する情報、イベント情報、企業情報など様々なコンテンツを掲載しているが、
ターゲットや明確な狙い、見せ方等の観点から、より有効に機能させる余地がある



○今後の方針（案）

- ・ターゲットや狙いの明確化（例：入職検討者、建設業に関心を少しでも持った方々が、まずは訪れるHPとして確立）
 - ・ターゲットや狙いに応じたサイト構成・見せ方の再設計
- = 必要な情報を適切に配置してユーザーの利便性を高めることで、
建設産業のjobポータルサイトとして継続的に利用していただけるサイトを目指す**

事 務 連 絡
令和 6 年 12 月 20 日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課
各 都 道 府 県 私 立 学 校 主 管 課 御 中
各 国 立 大 学 法 人 附 属 学 校 事 務 主 管 課

文部科学省初等中等教育局
参事官（高等学校担当）付
産 業 教 育 振 興 室

建設業における若年者入職促進に関する取組の周知について（依頼）

平素より産業教育の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

この度、国土交通省より、高校生等の若年者の建設業に対する理解や入職促進を図ることを目的として現場見学会やインターンシップ等の取組をとりまとめたとのことで、別添のとおり周知依頼がありました。特に、本年度は別添 1 ③として、高校生が活用できる資格取得支援の取組が一覧にまとめられているとともに、一般社団法人日本建設業連合会が行う資格取得費用のサポート制度の案内が添付されております。

ついては、都道府県教育委員会においては、所管の高等学校及び域内の高等学校を設置する市町村教育委員会に対し、指定都市教育委員会においては、所管の高等学校に対し、都道府県私立学校主管課においては、所轄の高等学校及び学校法人に対し、附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課においては、その管下の高等学校に対し、周知いただきますようお願いいたします。

また、本取組の御不明点等については、別添資料に記載の「連絡先」へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

初等中等教育局参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室産業教育係（沖濱、澤、鴨谷）
TEL : 03-5253-4111（内線 2384）

国不建振第120号
令和6年12月18日

文部科学省初等中等教育局
参事官（高等学校担当） 殿

国土交通省
不動産・建設経済局
建設振興課長
(公印省略)

建設業における若年者入職促進に関する取組の周知について（依頼）

平素より建設産業行政の推進に御協力いただき御礼申し上げます。

さて、建設業は、防災・減災対策や社会インフラの老朽化対策など、「地域の守り手」として大きな役割を担うとともに、地域の経済や雇用を支える我が国の重要な基幹産業の一つであることから、その担い手確保・育成のため、官民あげて建設業の処遇改善や働き方改革を進めているところです。

こうした中で、建設業者団体では、若い人に建設業に関心をもってもらうよう、現場見学会やインターンシップ等に取り組んでおり、昨年に引き続き、国土交通省、厚生労働省、文部科学省もメンバーとなっております。「建設産業人材確保・育成推進協議会」において、参加団体に取り組んでいる取組のうち、特に「学生向けの取組」について、とりまとめたところです（別添1①～③）。

つきましては、都道府県教育委員会、市区町村教育委員会並びに都道府県担当部局及びその管下の高等学校等に対して、同取組をご周知いただくとともに、現場見学会やインターンシップ等への積極的な参加を呼びかけていただきますよう、お取り計らいの程よろしく申し上げます。

また、別添1①～③の一覧表については、一般財団法人建設業振興基金のHP（人材育成支援 NEWS 2024.12.16）にも掲載しております。

<https://www.kensetsu-kikin.or.jp/news/2024/12/post-127.html>

なお、同基金HPにある建設産業のJobポータルサイト「建設現場へGo!」では、建設産業の担い手確保・育成に関する情報、イベント情報、地域の優良建設企業マップなどを掲載しております。

建設現場へGo! <https://genba-go.jp/>

これらの情報も含め、周知いただけますと幸いです。

<連絡先>

国土交通省不動産・建設経済局建設振興課
専門工事業・建設関連業振興室業務係
岩舩 iwafune-s8910@mlit.go.jp
水本 mizumoto-m26p@mlit.go.jp
TEL 03-5253-8111（内線 24814、24844）

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象						参加者参加人数	団体URL	団体連絡先		
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者				教諭	
(一社)北海道建設業協会	現場見学会	○建設業現場見学会 北海道内の高校生をはじめ、専門学校生、小中学校の児童・生徒及び保護者を対象とした建設工事現場の見学会を実施。	6~10月	○	○		○	○	○	○	約1,700名	https://www.doukenkyo.jp	011-261-6186	
	インターンシップ(職業体験学習)	○建設業現場実習(インターンシップ) 当協会の会員である地方協会が、高等学校と連携し、高校生を対象とした建設会社における現場実習を実施。	5~10月	○							約400名			
	出前講座・講習会	○「第一種酸素欠乏症に係る特別教育」講習会 当協会労務研究会の委員等が講師となり、高等学校(12校)と連携し、建設関連学科の高校生等を対象とした「第一種酸素欠乏症に係る特別教育」講習会を実施。	12~2月	○						○	610名			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○「建設業現場見学会報告書」の作成・配付 道内の高校・専門学校(303校)や関係機関等の他、現場見学会や「第一種酸素欠乏症に係る特別教育」講習会等の参加者に配付。	7~3月	○	○					○	○			-
		○「建設業入門」改訂版の作成・配付 建設業を分かり易く解説した冊子として、現場見学会や「第一種酸素欠乏症に係る特別教育」講習会等の参加者に配付。	7~3月	○	○					○	○			-
		○「建設のしごとってなに？」改訂版の作成・配付 小学生向けに建設業の役割や内容を開設した冊子として、現場見学会やイベント等の参加者に配付。	10~3月				○	○	○	○	○			-
	資格取得支援	○建設関連学科の高校生の資格取得支援 当協会の会員である地方協会が、高校生を対象に建設関連の施工管理技士等資格取得の支援(土木・建築・電気・造園の2級第一次検定受験費用助成等)を実施。	6~11月	○										899名
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
産官学連携の協議会														
教諭との意見交換会														
その他	○北海道教育委員会による協力要請 新規高等学校卒業予定者の雇用促進やインターンシップ等の実施に係る協力要請への対応。	10月	○								教育委員会2名、当協会3名			
(一社)青森県建設業協会	現場見学会	○工業高校生による建設現場見学会 若年人材として期待される高校生に建設現場への理解を深めてもらい、入職意識の高揚を図る。	10月	○							十和田工業高校 建築科1年生30名	http://www.aokenkyo.or.jp/	017-722-7611	
	インターンシップ(職業体験学習)	○インターンシップの受入 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職の実施。学校の依頼に基づき受け入れる。	9月	○							十和田工業高校建築科2年生 30名 八戸工業高校土木科、建築科2年生 各30名			
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設技術者を紹介する冊子の配付 工業高校、工業大学へ建設技術者の人となりや一日の過ごし方を紹介した冊子を配付。	6月	○	○						県内工業高校、建設系大学800冊			
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○建設業PRイベントの開催 小・中学生を対象とした重機体験乗車、建築系ものづくり教室、ドローン操縦イベントを実施。	9月					○	○		2日間で参加者867名			
	産官学連携の協議会													
教諭との意見交換会														
その他														
(一社)岩手県建設業協会	現場見学会	○建設工事現場見学会 施工中の建設工事現場(土木・建築)の見学会を行い、実際に働いている技術者・技能者等の仕事を見て、今後に活かす。	9~11月	○							300名	https://www.iwaken.or.jp/	019-653-6111	
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○建設業ふれあい事業 当協会の若手建設業従事者が中心となっている13支部の「青年部」が、岩手県内の小学校・中学校等へ出前授業で重機操作や測量体験を実施し、建設業に対する理解を深める。	4~11月				○	○		○	1,000名~			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○就職ガイドブックの作成 建設業の役割、企業の仕事内容、求人内容をまとめた資料を県内高校等に配付。	2月	○	○	○					100名			
	資格取得支援	○受験準備講習会の開催 在学中での2級土木施工・建築施工(第一次検定)受験者に対し講師を派遣し、合格者の確保を促す。	10~12月	○	○									200名~
		○検定試験半額助成 2級土木・建築・造園、測量士、測量士補、技能系資格等の検定試験の受験率を高めるため、受験料の半額助成をし受験者・PTAの負担を軽減する。	10~12月	○	○									300名~
	合同企業説明会													
イベント開催・参加	○いわて建設業みらいフォーラム 社会基盤の復興や整備、日常の維持修繕を通じて、県民の安全で安心な暮らしに果たす建設業の役割や、その魅力を積極的に発信することで、建設業のイメージアップを図り、次世代を担う若者をはじめとして県民の建設業への理解や関心を高める。	11月	○	○										
産官学連携の協議会														
教諭との意見交換会														
その他														
(一社)宮城県建設業協会	現場見学会	○夏休み小学生と保護者の現場見学会 夏休み期間に小学生とその保護者を対象に普段立ち入ることのできない建設現場の見学や本年度は、重機等の試乗体験、測量機器による宝探しゲーム、ドローン操作体験、鉄筋締付体験、単管パイプ組立体験等を各現場で実施し、将来の選択肢の一つとして建設業に興味をもってもらうことを目的に開催。(夏休みに3回実施)	7月25日 8月9日 8月20日							○	7月25日:小学生12名、保護者12名 8月9日:小学生21名、保護者16名 8月20日:小学生13名、保護者10名	https://www.miyakenkyo.or.jp	022-262-2211	
		○中学生を対象とした体験型現場見学会の実施 これまでの現場体験学習は、土木系の高校生や大学生を対象に実施していたが、建設業全体の担い手不足を背景にまだ、進路の定まっていない中学生を対象に建設現場で行っている技術・技能を体験してもらい、将来の選択肢の一つとして建設業に興味をもってもらうことを目的に実施。【予定】	10~12月					○						10月30、31日:多賀城市立多賀城中学校2年生3名 11月6~8日:仙台市立仙台第一中学校2年生3名 12月10~12日:仙台市立宮城野中学校2年生3名【全て予定人数】
		○高校生を対象とした現場見学会 高校生を対象に会員企業の施工中の現場で、現場見学会を実施し、建設業に対する理解を深め入職促進へ繋げることを目的に開催。	6月4日 8月27日	○							○			6月4日:柴田農林高校森林環境科3年生23名 8月27日:白石工業高校建築科2年生30名、引率教諭3名
	○高校生のインターンシップ(職場体験学習、就労体験含) 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。【予定含】	6~12月	○								6月25~27日:仙台工業高校土木科2学年15名 7月1~12日:気仙沼向洋高校機械技術科2年生9名 7月9~11日:仙台工業高校建築科2年生10名 9月3~5日:石巻工業高校土木システム科2年生39名 10月8~10日:小牛田農林高校農業技術科2年生20名【予定】 10月16日18日:古川工業高校土木情報科2年生30名【予定】			
出前講座・講習会	○就活ゼミ(出前講座) 技能労働者の若年入職者減少と高齢化により担い手の確保・育成が課題であるが、工業高校、大学の工業系学科の学生や先生方に建設業界に対する考え方を正しく理解してもらい、職業観・勤労観を養い、将来の進路選択の一助となること、また、東日本大震災での地域建設業の活躍、地域貢献活動等を伝えることにより、建設業界への就労人口を増やす目的に、国土交通省東北地方整備局と協働で平成25年度より実施。	5月18日	○						○	仙台工業高校土木科1年生40名				

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先	
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭				
(一社)宮城県建設業協会	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○リクルート冊子の作成 生産年齢人口が減少する中で、人材獲得競争が繰り広げられており、建設業における将来の担い手確保は業界共通の大きな課題であることから処遇改善・環境改善に向けた様々な施策が講じられている中で、就職を希望する学生等に県内建設業を選択肢とされるよう昨年度に引き続きリクルートガイドブックを作成し、県内高校や大学等を中心に広く広報活動を展開する。	1月発刊	○	○	○	○	○	○	-				
		○河北新報(地方紙)朝刊への広告掲載 地域建設業の活動について広く一般に広報する企画「変革する地域建設業の未来」として、地元一般誌である河北新報に広告を掲載し、広報活動を実施する。【予定含】	6~3月	○	○	○	○	○	○	○	-			
	資格取得支援	○建設業経理事務士特別研修 専門学校・工業高校の生徒を対象に在学中に勉強する機会がなかった建設業経理事務士特別研修を実施することで、建設業に興味・関心を持ってもらい、生徒の就職する際の選択肢として選定してもらうことを目的に実施する。【予定含】	7~3月	○	○						仙台工科専門学校、仙台・石巻・古川・白石工業高校土木科・建築科合計約240名(予定含)			
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○みやぎ元気まつり2024への出展 将来の担い手となる小学生とその進路にあっては保護者の理解が必要不可欠である現状をとらえ、モノ作りの楽しさや正しい地域建設業の理解促進に向けた体験等の企画として、今回も仙台放送が主催の一般向けのイベントに企画し、「セメントでつくるメモクリップスタンド」と題してイベントを実施し、魅力発信を行った。また、併せてワークショップのブース横では、ワークショップに参加できない幼児も含めた小学生低学年程の子どもたちを対象に建設重機ラジコン操作体験を実施し、建設業に対して親しみやすいイメージをもってもらうことが狙い。	8月3、4日					○	○		ワークショップ両日約200名。 ラジコン体験3日は約300名、4日は、350名。	https://www.miyakenkyo.or.jp	022-262-2211	
		○第2回けんせつカップへの協賛(名亘支部主催)【雨天中止】 名亘支部が主催となり建設カップとしてサッカー大会を開催し、協会本部としてもイベントへ協賛を行い、サッカー大会開催のほか、担い手確保・育成を図るためにグラウンド横の敷地に建設重機等の試乗体験等コーナーを設けて建設業の魅力発信のための啓蒙活動を実施。 【実施イベント内容】 ○建機ラジコン操作による景品すくい ○高所作業車・バックホウ試乗体験 外	9月21日							○	○	雨天中止		
	産官学連携の協議会	○みやぎ建設架け橋サロン 現在、建設業は、建設就業者の高齢化と若手技術者・技能者の減少などの担い手不足といった課題が深刻化していることから、将来の担い手として期待される県内工業高校の生徒に対し、建設企業の若手技術者・技能者が建設業の魅力ややりがい、労働環境などを伝える機会を醸成し、建設業への就労促進を図るために、一昨年度より宮城県が主催となり実施。 【予定】 ○令和6年度みやぎ建設ふれあいまつり 将来の担い手として期待される小・中学校とその保護者等各階層をターゲットに、3K等のネガティブなイメージを刷新し、業界の魅力を広く発信するためのイベントを展開し、担い手確保・育成を図るための効果的なPRイベントを行うという試みで、宮城県や当協会も含めた建設4団体が主催となり開催する。【予定】	12~3月	○							大河原産業高校環境科学科2年生生、石巻工業高校土木システム科2年生、白石工業高校建築科・設備工業科1年生、迫桜高校総合学科エンジニアリング1・2年生・古川工業高校土木情報科1年生、小田原農林高校農業技術科1年生、黒川高校環境技術科は予定。合計約240名が参加予定。			
		○令和6年度みやぎ教育応援団 地域建設業の理解促進活動として実施、また、小学生等に対して出前講座を通し、地域の教育活動を支える「みやぎ教育応援団」のマッチング会議に参加し、各教育機関の担当者や意見交換を実施。	6月26日								○	宮城県内の小中学校教諭等より約70名		
	教諭との意見交換会													
	その他													
(一社)秋田県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会【(一社)秋田県建設業協会】 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技術者及び技能者の仕事を見てもらう。	6~11月	○							1校30名程度で170名程度			
		○小学生を対象とした現場見学・職場体験【(一社)鹿角建設業協会】 十和田図書館新築工事の現場見学と協会敷地内で測量やバックホウ・ドローンの操作体験・女性技術者による講話。	8月					○	○		・十和田小学校(6年生2名、4年生1名、2年生2名、保護者2名) ・柴平小学校(5年生1名、保護者1名) ・花輪小学校(3年生1名、保護者1名)			
		○高校生との現場見学会【(一社)北秋田建設業協会】 管内高校2校を対象として地元業者が施工している現場見学会を実施。	10月	○							○	※参考R5(桂桜 37名、北鷹 31名)		
		○わかばと行く！現場見学会【(一社)北秋田建設業協会】 建設業への理解促進を目的とし、建設現場における体験会を実施。	7月31日						○	○		管内小中学生15組36名		
		○建設ICT現場見学会【(一社)能代山本建設業協会】 進路選択を控えた高校生に最新の建設技術に触れてもらうとともに、建設業の仕事内容や魅力を伝えることにより、「やりがい」を体感してもらう。	5月	○								秋田県立能代科学技術高校 工業科1年生 45名		
		○現場見学会【(一社)能代山本建設業協会】 大雨災害対策のため中止。	7月(中止)	○								秋田県立能代高校二ツ井キャンパス2年生 20名		
		○中高生を対象とした現場見学・体験会【(一社)由利建設業協会】 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技術者・技能者の仕事を見てもらい、実機操作を体験してもらう。	10月	○			○				○	西目高校土木科1・2年生 26名 由利工業高校建築科2年生 27名 西目中学校2年生 47名		
		○高校生を対象とした現場見学会【(一社)秋田県仙北建設業協会】 施工中のICT現場の見学会を行い、実際に働いている重機や技能者の仕事を見てもらう。	9月	○							○	大曲工業高校1、2年生 50名		
		○小学生を対象としたダム見学会【(一社)秋田県仙北建設業協会】 地元小学生を対象に、地域のインフラ整備の役割と魅力を知ってもらうことを目的に開催。	9月							○	○	生保内小学校 25名		
		○女性エンジニアSAKURAと行く現場体験会【(一社)平鹿建設業協会】 実際に稼働している現場を数カ所回り、ドローンの操作体験や重機乗車体験等を実施。	10月							○	○	未定		
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生のインターンシップ【(一社)由利建設業協会】 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	9月	○							西目高校土木科2年生 10名			
	出前講座・講習会	○高校への出前講座【(一社)鹿角建設業協会】 女性技術者による講話・VRやバックホウ・ドローンの操作体験を実施。	9月	○							鹿角高校2年生 101名			
		○建設企業出前講座【(一社)北秋田建設業協会】 管内高校2校対象 会員企業数社が各校へ行き、仕事内容ややりがいについてのプレゼン等を実施。	2月	○								※参考R5(北鷹 20名、桂桜 33名)		
		○建設出前講座【(一社)北秋田建設業協会】 建設業への理解促進を目的とし、建設現場における体験型学習会を実施。	9月4日						○	○		阿仁学園5、6年生 16名		
		○建設企業による高校生向け出前説明会【(一社)能代山本建設業協会】 仕事内容や建設業の魅力や直接生徒に伝えることによって、新規高校卒業生及びUターン者などの建設業への入職を促進する。	12月	○						○		秋田県立能代科学技術高校 建設科1年生11名、2年生14名		
○高校への出前講座【(一社)由利建設業協会】 座学で建設業の役割及びOBや女子会との意見交換会を実施。		2月	○							○	西目高校土木科1・2年生 26名 由利工業高校建築科2年生 27名			
○中学生への建設業体験会【(一社)秋田県仙北建設業協会】 建設業への興味・関心につなげることを目的に、舗装修繕等の施工体験を実施。	10月				○				○	西仙北中学校2年生 48名				
○高校出前講座【(一社)雄勝建設業協会】 湯沢翔北高校雄勝校で建設業における人材確保の必要性、建設業の業種、職種、資格の重要性などを紹介。	6月	○							○	湯沢翔北雄勝校全校生徒及び教員 40名				
○中学生向け企業説明会【(一社)平鹿建設業協会】 横手市内全6中学校で各1社参加し企業説明会を実施。	9月~12月				○					100名				

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先	
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭				
(一社)秋田県建設業協会	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業界ガイドブックの工業高校への贈呈【(一社)秋田県建設業協会】 建設業界ガイドブックを工業高校(10校11科)へ贈呈。	4月	○						○	10校11科400名	https://a-kenkyo.or.jp/ 018-823-5495		
		○秋田県建設企業ガイドブックWEB版の発行【(一社)秋田県建設業協会】 特に高校生(2年生)や保護者等に県内建設企業の特徴や労働環境を広く知ってもらい県内企業への就職に繋げる。内容は建設業の企業データや仕事の内容をまとめたWEBによりいつでも閲覧可能とする予定。	10月	○	○	○				○	200社程度掲載			
		○建設業界ガイドブックの工業高校への贈呈【(一社)秋田県仙北建設業協会】 当協会が制作した建設業ガイドブックを地元工業高校へ贈呈。	3月	○										大曲工業高校1、2年生 50名
		○建設産業の魅力を伝えるテレビCM放映【(一社)秋田県仙北建設業協会】 幅広い年齢層に対し、TVコンテンツを利用したCM放送を通じて、建設業界への理解と雇用・促進につながる効果を期待して放映。	10~3月	○	○	○	○	○	○	○	○			—
		○建設産業の魅力に関するYouTube動画の配信【(一社)秋田県仙北建設業協会】 主に高校生等の若年者、その保護者、教諭を対象に建設業界への入職促進に資する動画を制作し、ホームページを通じてYouTubeにて配信。	4~3月	○	○	○	○	○	○	○	○			—
		○「FMゆーとびあ」を活用した建設情報発信【(一社)雄勝建設業協会】 朝30分間、シーズン20回の番組を放送 協会会員企業の新入社員、若手・女性社員が建設業についての思いなどをパーソナリティーと会話する番組を地域FMに掛けて情報を発信。	7~1月	○	○	○	○	○	○	○	○			不特定多数
		○協会女性部「はなこまち」による情報発信【(一社)雄勝建設業協会】 入職促進活動のイベントや職業体験などをFacebookとInstagramを使って広く情報を発信。	4~3月	○	○	○	○	○	○	○	○			不特定多数
		○高校生の資格取得支援【(一社)秋田県建設業協会】 2級土木建築施工管理技士受験対策テキストを配布。	5月	○										桂桜高校(土木 15名、建築 20名)
	資格取得支援	○2級施工管理試験対策テキスト配布【(一社)由利建設業協会】 西目高校へは2級土木、由利工業高校へは2級建築施工管理試験対策テキストを贈呈。	5月	○										西目高校土木科3年生 15名 由利工業高校建築科2年生 27名
		○2級土木施工管理技士一次試験対策講座【(一社)雄勝建設業協会】 受験対策専門業者と当協会が契約し、高校3年生にリモートによる講座を受講し、本試験を受験してもらう。	7~10月	○										雄勝校3年生7名
		○2級土木施工管理学科試験対策講座【(一社)平鹿建設業協会】 横手清陵学院高校へテキストの贈呈と講師を派遣し対策講座を実施。	9月	○										16名
		○合同企業説明会の開催【(一社)由利建設業協会】 本荘・由利地区企業の担い手確保を図るため中学2年生を対象に企業説明会を開催(建設女子会も参加し、業界PR)。	7月、10月				○							管内中学2年生 600名
	合同企業説明会	○地元高校生を対象とした企業説明会の開催【(一社)秋田県仙北建設業協会】 会員企業の担い手確保を図るため、地元高校生を対象に企業説明会を開催。	11月	○										大曲工業高校1、2年生 50名
		○地元高校生を対象とした企業説明会の開催【(一社)秋田県仙北建設業協会】 会員企業の担い手確保を図るため、地元高校生を対象に企業説明会を開催。	12月	○										大曲農業高校1、2年生 25~300名
		○合同企業説明会への参加【(一社)秋田県仙北建設業協会】 管内会員企業の担い手確保を図るため、高校生2年生を対象にハローワーク主催の合同企業説明会にブースを出展。	2月	○										管内の高校2年生 延べ200名程度参加
		○けんせつ未来フェスタ【(一社)秋田県建設業協会】 小中学生・高校生とその保護者等に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを開催。	10月				○	○	○					
	イベント開催・参加	○ワクワドキドキけんせつ体験【(一社)北秋田建設業協会】 小中学生・高校生とその保護者等に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを実施。	9月16日	○			○	○	○					
		○のしろ子どもまつり【(一社)能代山本建設業協会】 地域イベントへ建設機械の展示等で参加し、小学生以下の子供たちへ建設業をPRするとともに、同伴する保護者に対しても建設業への理解を深めてもらう。	6月						○	○				地域の子供と家族
		○建JOB祭2024【(一社)能代山本建設業協会】 担い手確保の課題解決へ向け、建設業について広く情報発信するとともに、建設機械の体験等を通じて建設業について理解を深めてもらう。	10月	○	○	○	○	○	○	○				全年齢対象 前回「建JOB祭2023」の参加者は226名
		○子吉川フェスタ【(一社)由利建設業協会】 未就学児童から小学生とその保護者等に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを開催。(ミニバックホウ操作・ドローン操作)	7月						○	○				子供だけで約250名
		○建設重機体験学習会【(一社)秋田県仙北建設業協会】 地元の保育園児とその保護者等に対して、建設産業の魅力を発信するためのPRイベントを開催。	6月							○	○			地元保育園児とその保護者 85名
		○建設業体験フェスタ2024【(一社)雄勝建設業協会】 湯沢翔北高校雄勝校を会場に、県南地区の高校生を対象とした「体験して知る建設業の魅力」をテーマに、1週間のフェスタを開催。小型建設機械資格取得講習2日、現場見学会1日、専門6工種体験2日	8月	○										県南の高校生 5校
	産官学連携の協議会	○秋田県建設産業人材確保・育成事業推進委員会【(一社)秋田県建設業協会】 行政機関(労働・建設)・教育機関・学識経験者・建設関係団体等が出席の意見交換会に参加し、建設業の魅力や役割について生徒にどのように指導するか、就職についてなどの情報共有を行う予定。	2月							○	15名			
教諭との意見交換会	○工業高校教諭との意見交換会【(一社)秋田県建設業協会】 工業高校の教諭を集めて意見交換会を開催し、建設業の魅力や役割について生徒にどのように指導するか、就職についてなどの情報共有を実施。	6月							○	工業高校10校11科教諭				
その他	○中学生ふるさと企業説明会【(一社)能代山本建設業協会】 県と能代山本管内の教育委員会及び市町が共催する、管内中学生を対象とした企業・業種説明会へ参加し、建設業の仕事内容や魅力を伝える。	10月						○			能代山本管内の中学生 約400名			
	○西目高校入学体験会【(一社)由利建設業協会】 西目高校土木科への入学を検討している中学3年生にミニバックホウの操作体験会を実施。	7月							○		管内中学3年生 15名			
	○翔北高校雄勝校で「測量コース」を開設【(一社)雄勝建設業協会】 教諭による基本知識の学習に加え、実技講習によって測量技術を身につけてもらう。講習の成果として、最後は協議会を開催。	5~2月	○								雄勝校2年生 8名			
	○翔北高校雄勝校で「土木施工コース」を開設【(一社)雄勝建設業協会】 教諭による基本知識の学習に加え、土木歴史遺産や特徴のある橋梁の現場見学、生コン、アスファルトプラントなどの工場見学を実施。対象は3年生で、2年生の時は測量コースを経験している生徒たち。	5~11月	○								雄勝校3年生 7名			
	○翔北高校雄勝校「勝校祭」に建設業協会ブースを設置【(一社)雄勝建設業協会】 日頃から授業などでお付き合いのある高校の文化祭に協会ブースを設置して、建設業界と生徒の活動を広く紹介。	10月	○	○	○	○	○	○	○	○	不特定多数			
	○授業中！学校を工事する建設女子と高校生【(一社)平鹿建設業協会】 横手清陵学院高校の生徒と女性部SAKURAが協力し、学校敷地内にある木柵階段を施工体験する事業を実施。	8~9月	○								16名			

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先			
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭						
(一社)山形県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会 建設系学科高校生及び産短大土木エンジニアリング科の学生を対象に開催。	6~11月	○	○						5高校6学科 179名	https://www.agc-y.or.jp/	023-641-0328			
		○けんせつ女子ツアー&カフェ 建設業での女性の活躍を推進するため、第一線で活躍している女性技術者と建設業に興味を持つ県内高等学校女子生徒等との現場見学会及び意見交換会を開催。									高校生9名、短大生1名、協会女性部会17名					
		○中学生対象建設ツアー(保護者同伴が可能) 将来の職業など進路を考える最初の時期である中学生等に対し建設業の姿をアピールし、建設業に興味を持ってもらうため、現場見学会を開催。									県内中学生、保護者、45名					
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生を対象とした現場実習 高校生の建設業への理解と促進するため、会員企業等の協力を得て開催。	7~8月	○							5校6学科 134名					
	出前講座・講習会															
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業ガイドブックの工業高校への贈呈 建設業界ガイドブックを工業高校に贈呈。	6~11月	○							5校6学科 179名					
	資格取得支援															
	合同企業説明会															
	イベント開催・参加	○建設フェスタ 中学生を対象とした建設フェスタを開催。	10月				○	○	○							
産官学連携の協議会																
教諭との意見交換会																
その他																
(一社)福島県建設業協会	現場見学会	○高校生等を対象とした建設現場見学会 施工中の現場を見学し、建設業の役割や建設業界で働くへの魅力、職業意識を高めることを目的に開催。	6~11月	○	○						建設関係学科を有する高等学校14校 1年生~3年生及び郡山女子大学2~4年生 443名	http://www.fukuken.or.jp	024-521-0244			
		○小学生の建設現場見学会 建設業の将来の担い手確保・育成を目的に、建設業への関心の向上を目指すために実施。	10月				○				県内小学校6校 192名					
		○親子の建設現場見学会 建設業の担い手確保・育成を目的に、小学生及び児童の就学に大きな影響力を持つ保護者を対象に、建設業への関心の向上を目指すために実施。	7月 8月					○	○		県内在住小学生(3年生~6年生)及び保護者40名					
		○高校写真部の建設現場見学会 高校写真部を対象にプロの写真家の協力のもと、見学会を開催し、建設業に馴染のない学生に理解を深めるため実施。	7月	○							県内高校の写真部生徒8名					
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生の現場実習 地元建設企業での職場体験、建設現場体験を行うことで、建設業への理解を深める。	7~10月	○							建設関係学科を有する12校344名					
	出前講座・講習会															
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業界ガイドブックの贈呈 建設関係学科を有する高等学校へ建設業界ガイドブックを進呈。 ○SNSを活用した広報 InstagramやYouTube、ポータルサイト等を活用した広報を実施し、若年者への建設業の理解を深める。 ○キャラクターを活用した広報	4月 通年 通年	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○			建設関係学科を有する高等学校15校					
	資格取得支援	○若年者資格取得に伴うバス借上げ支援 資格試験(2級施工管理技士等)会場までの交通費支援(バス代・高速代支援)の実施。	6月 10月 11月	○ ○ ○										建設関係学科を有する高等学校11校183名		
	合同企業説明会															
	イベント開催・参加	○道の駅ふくしまイベント 建設業に対する県民の理解促進及び担い手の確保のため実施。 ○生徒との座談会 建設業への理解促進及び就職希望者の不安解消のため実施。 ○高等学校進路指導ガイダンスの開催 普通高校生で建設業に関心がある生徒に対し今の建設業の姿を理解して貰うために開催。	8~1月 12~2月 12~2月	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○			建設関係学科を有する6校 建設業に関心のある普通高校学科生徒					
産官学連携の協議会																
教諭との意見交換会	○中学校進路指導担当教諭等との意見交換会 学生の進路に影響の大きい進路指導担当教諭等に、建設業の実態を理解してもらうために開催。	12月							○		中学校進路指導担当教諭					
その他	○建設関係学科卒業生の進路状況調査について 建設関係学科を有する高等学校生を対象に進路調査を実施。アンケート結果を建設関係団体へ配布。	2月	○	○							建設関係学科を有する高等学校14校及び郡山女子大学					
(一社)茨城県建設業協会	現場見学会	○建設現場見学会 実際に施工中の建設現場を見学する。	9~11月	○	○	○					約700名	http://www.ibaken.or.jp	029-221-5126			
		○建設業親子見学会 小学生とその保護者がセットで参加。親子で楽しみながら建設業を見て体験する。	11月					○	○					80名		
		○橋の点検チャレンジ、現場見学会 小中学生とその保護者を対象に実施。	8月				○	○	○					40名		
		○教員を対象とした見学会 学校の教員等を対象に実施。	10~12月							○				10名		
	インターンシップ(職業体験学習)	○職業体験・建設業インターンシップ 高校生、専門学校生等を対象に実施。	6~10月	○	○	○					約300名					
	出前講座・講習会	○出前授業 各学校へ出向き、建設業に関する講話を実施。	4~3月	○	○	○	○	○			約500名					
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○「いばらき建設業 就職応援サイト」の広報活動 会員企業の求人情報やインターンシップ受入れ情報、企業情報などを掲載するWEBサイト。	4~3月	○	○	○				○	○					
		○建設業紹介用教材(冊子等)の作成 出前授業などで使用できる冊子を作成。	4~3月													
		○建設企業ガイドブックの作成 会員企業の企業情報や先輩社員などを掲載する冊子。 ○建設業界PR動画の作成 YouTubeにて建設業の魅力に関する動画を発信。	1~2月 4~3月													
	資格取得支援	○資格取得講習会の実施 (2級土木施工管理技術検定第一次検定の受験対策講習会) ○資格取得講習会の実施 (2級建築施工管理技術検定第一次検定の受験対策講習会)	9~11月 9~11月	○ ○										工業高校土木科40名 工業高校建築科40名		
	合同企業説明会	○建設業合同企業説明会の開催 高校生、専門学校生、大学生等を対象に実施。	2~3月	○	○	○								約200名		
	イベント開催・参加	○建設フェスタ 建設関係約50団体が参加実施するイベント。 ○「建設現場を描いた図画コンクール」の開催 小中学生を対象に建設現場を描いた図画作品の募集・表彰・作品展示会等を実施。	10月 7~12月				○	○	○					約1万5千人		
		○いばらき「建設フォトコンテスト」の開催 建設業に関する写真の募集・表彰・作品展示会等を実施。	7~12月													
○建設業体験会 重機試乗体験・高所作業車乗車体験などを実施。		12月					○	○	○		約700名					
○木造倉庫新築体験学習 中学校の校舎内に木造倉庫を新築する際、生徒が実際に製作体験する。		10~12月				○					約100名					
産官学連携の協議会	○若年者に魅力ある職場づくり事業推進委員会 担い手確保・育成に関する事業について議論。	6~3月							○		国・県など約10名					
教諭との意見交換会	○教員との意見交換会 建設系学校に訪問し、先生と直接、意見交換をし、建設業の魅力や役割について生徒にどのような指導するか、就職についてなどを情報共有。	4~3月							○		約10名					
その他	○高等学校建設関連学科卒業生 進路状況調査 建設系関連学科設置校を対象に実施。	2~3月	○								高校 建設関連学科 3年生 約200名					

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象						参加者参加人数	団体URL	団体連絡先		
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者				教諭	
(一社) 栃木県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会【宇都宮支部】 地元の工業高校生を対象に、地元企業が施工した建築物を見学し、建設業に対する理解を深め入職促進へ繋げる。(カンセキスタジアムとちぎ、ユウケイ武道館)	1月	○						○	宇都宮工業高校建築デザイン科 40名	https://www.tochiken.or.jp/	028-639-2611	
		○那須町役場駐車場整備事業【那須支部】(As舗設 t=4cm A=200㎡)	4月	○										那須清峰高校3年生 29名
		○黒磯那須BP関連工事現場見学会【那須支部】 施工中の作業現場を見学して建設業に興味を持ち与え、進路選択にあたり職業適性や将来設計、職業意識や職業選択等について考える機会にする。	4月	○										那須清峰高校3年生 29名
		○高校1年生を対象とした現場見学会【日光支部】	12月	○										今市工業高校11名
		○高校生を対象とした現場見学会【芳賀支部】 地元の工業高校1年生を対象に、施工中の現場で現場見学会を実施し、建設業に対する理解を深め入職促進へ繋げる。	10月	○							○			真岡工業高校1年生35名、教諭2名
		○高校生を対象とした現場見学会【足利支部】 高校2年生を対象に、市内8ヶ所の建設工事現場の現場見学を実施予定。	2024/10/21~25日	○										足利大学附属高等学校 17名
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生のインターンシップ【安蘇支部】 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	10月	○										足利大学附属高等学校2年生 3名
		○高校生のインターンシップ【宇都宮支部】 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	10~11月	○										宇都宮工業高校2年生 33名 今市工業高校2年生 3名 小山北桜高校2年生 2名 宇都宮白楊高校2年生 9名 真岡工業高校2年生 1名
		○高校生のインターンシップ【塩谷支部】 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	10~11月	○										宇都宮工業高校2年生 4名
		○高校生のインターンシップ【下都賀支部】 高校2年生を対象に、建設現場での就業体験により、職業意識や労働観を育成すること目的とした取組み。	10月	○										宇都宮工業高校、栃木農業高校、小山北桜高校 高校2年生 49名
		○高校生のインターンシップ【鹿沼支部】 就職活動開始前の高校2年生を対象に、企業の体験入職の実施。	10月15日~10月25日	○										宇都宮工業高校建築デザイン科1名 今市工業高校建設工学科2名
		○高校生のインターンシップ【那須支部】 那須清峰高校生インターンシップ事業。	9月	○										那須清峰高校2年生 36名
		○高校生のインターンシップ【那須支部】 宇都宮工業高校生インターンシップ事業。	10月	○										宇都宮工業高校2年生2名
		○高校生のインターンシップ【日光支部】 就職活動前の高校2年生を対象に建設業の現場体験を実施。	10月	○										今市工業高校16名、小山北桜高校1名
	○高校生のインターンシップ【芳賀支部】 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	10~12月	○								真岡工業高校2年生32名 宇都宮工業高校2年生 3名			
	出前講座・講習会	○高校生を対象とした出前講座の実施【宇都宮支部】 現場見学終了後、若手監督員と工業高校生徒との座談会を開催し、監督員の仕事について理解を深める。	1月	○							○			宇都宮工業高校建築デザイン科 40名
		○総合学習支援活動の実施【烏山支部】 建設機械の搭乗やドローン操作・紙芝居などを通し、建設業の役割や魅力を伝えた。	9月							○				26名
		○防災講習会【那須支部】 県、町、警察、消防、建設業の各団体の災害時の役割と対応など紹介した。本講習会を通じ将来の職業選択の参考にしてもらう。	9月								○			50名
		○仕事説明会への講師派遣【芳賀支部】 建設会社の社員が高校の向学、建設業の様々な仕事の内容について説明し、今後の進路に役立ててもらおう。	9月	○							○			真岡工業高校1年生 35名 保護者15名
		○担い手育成事業への指導者派遣【芳賀支部】 土木・建築工事の体験学習に指導者を派遣し、実践的な知識や技術・技能に触れるながら、自ら作業を行い工事を完成させる。	9~10月	○										真岡工業高校3年生 22名
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○パンフレットの製作・配布【本部】 地域を創り地域を守る建設産業の活動を記録、印刷部数6500部を主に県内の工業高校・普通高校に配布。	8月	○							○			県内15高校へ配布
		○資料の制作【本部】 ①若年者建設業担い手育成支援事業として県内高校の取組報告書を500部配布。 ②高校生のインターンシップ事業の成果として体験集を1000部配布。	①6月 ②8月	○							○			県内15高校へ配布
		○CM製作、DVD配布【本部】 建設業界の面白さ・やりがいを感じられるようにCMを製作し、地方テレビ番組・ラジオ等での放送、ネット配信を実施。	4~3月											
	資格取得支援	○建設業経理事務士特別研修【本部】 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	7月、12月	○							○			4校約90名
	合同企業説明会	○合同企業説明会の開催【本部】 県内会員企業の担い手確保を図るため、県内高校生を対象に企業説明会を開催。	3月	○							○			
	イベント開催・参加	○みやJOY 2024 けんちく博【宇都宮支部】 ・小中学生を対象に体験型プログラムを通じて建築を楽しく学んでもらう。 ・専門学校生・大学生を対象に設計課題の展示ブース設置、体験型プログラムの運営に協力してもらい、自身の設計の場を表現する機会を提供する。	3月		○	○	○	○	○	○				3,000名
		○除雪出動式【日光支部】 冬期の円滑な道路交通の確保に必要な不可欠な除雪業務の開始にあたり、除雪作業の安全確保と関係者の士気高揚を図るため、毎年除雪隊出動式を開催し、日光小学校に通う児童の方々に身近な生活を守ってくれている除雪機械について知っていただくため、除雪機械の説明や見学を実施。	11月							○				
○とちぎ子どもの未来創造大学【日光支部】 「災害発生！その時建設業は・・・？」～指令室から災害現場へ～と題して、建設業における災害時の動きをドローン、重機等を使用して実践。		10月							○	○		10名		
○とちぎ子どもの未来創造大学【那須支部】 建設機械(ICT)・ドローン操作・コンクリートミニ製品の体験を通じ建設業の魅力発信し担い手確保の一助とする。		10月							○	○		20名		
○とちぎ子どもの未来創造大学【芳賀支部】 学ぶ意欲を高め主体的に学習に取り組む姿勢を涵養することを目的に、ドローンによる測量、重機操作など、「本物」の道路づくりを体験する機会を提供。		10月							○	○		20名		
産官学連携の協議会	○県教育委員会・県労働局・県監理課、工業他高校教諭等の意見交換会【本部】 本意見交換会に参加し、建設業の魅力や役割について生徒にどのように指導するか、就職についてなどの情報共有を実施。	1月、6月	○							○	県教育委員会・県労働局・県監理課、工業他高校教諭33名			
教諭との意見交換会														
その他	○相好学習支援活動の実施【安蘇支部】 小学生を対象に、紙芝居、ドローンの操作、建設機械の搭乗体験などの実施及びPRグッズの配布。	11月							○		多田小学校1~6年生 40名			
	○小学校での体験学習【塩谷支部】 総合学習支援活動として小学校の総合学習時間を利用し、「建設業の理解を深める体験学習」を実施予定。	12月上旬							○		高根沢町立中央小学校			
	○建設業仕事説明会(講師派遣)【那須支部】 土木・建築・舗装の仕事内容を説明し、2年次のコース選択の参考とする。	9月	○								那須清峰高校1年生 40名			

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象						参加者参加人数	団体URL	団体連絡先		
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者				教諭	
(一社)群馬県建設業協会	現場見学会	○建設系高校2年生を対象とした現場見学会 産学官連携会議(群馬県・業界団体・県内公立の建設系高校)の一環として県内建設系高校2年生の土木科生徒を対象として現場見学会を開催。	9~12月	○						○	207名(昨年度実績)	https://www.gun-ken.or.jp/	TEL:027-252-1666 E-Mail:info@gunken.or.jp	
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生等学生を対象とした現場実習 県内建設系高校(8校)や希望の学校等を対象に、支部・会員企業にて実施。	年度内	○						○	191名(昨年度実績)			
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業イメージアップカレンダーの作成 業界のイメージアップを目的としたカレンダーを3,000部作成し、県民の建設業への理解と関心を喚起するとともに、会員企業へ働き方改革の取組を促進する。作成したカレンダーは県内各地域の学校や公共施設に配布しイメージアップに努める。 ○マスコットキャラクター「ぐんけんくん」の活用 当協会マスコットキャラクター「ぐんけんくん」を活用し協会イベントや地域行事への参加、グッズの作成・利用した活動。	9~12月	○			○	○	○	○				
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○建設系高校2年生・保護者を対象とした学校説明会 群馬県・建設業協会・測量設計業協会の業界PRとして県内公立の建設系高校の2年生及びその保護者を対象として説明会を開催。		○						○				
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会	○県内建設系高校との懇談会 当協会総務企画委員会役員と県内建設系高校の担当教諭等との意見交換会の実施。	3月							○	役員15名、教諭8名			
その他														
(一社)埼玉県建設業協会	現場見学会	○高校生の建設現場見学会 最先端の技術や専門分野に係る知識などに触れ、建設産業の魅力を肌で感じ取ってもらうことにより、建設産業に対する理解や関心を高め、入職を促進する。	10~2月	○							いずみ高校2年生35名、浦和工業高校2年生20名、大宮工業高校1年生72名、春日部工業高校1年生80名、川越工業高校1年生36名、熊谷工業高校2年生32名、1年生39名、秩父農工科学高校2年生34名	https://skk.or.jp/index.htm	048-861-5111	
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○出前講座 建設業の第一線で活躍している建設業者などが講師となって出前講座を実施し、専門知識の習得意欲や職業意識の向上を図る。講座内容は「建設業の仕組みと魅力」「鉄筋の組立(結束)に挑戦」「安全教育」など。	12~2月	○							いずみ高校2年生35名、春日部工業高校1年生80名、川越工業高校2年生38名、熊谷工業高校2年生32名、秩父農工科学高校2年生34名			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援	○小型車両系建設機械運転特別教育支援 建設現場で必要となる小型車両系建設機械運転の資格取得を促進するため、特別教育の受講費用を助成。	11~1月	○							いずみ高校2年生35名、浦和工業高校2年生19名、大宮工業高校2年生61名、春日部工業高校2年生66名、熊谷工業高校2年生63名、秩父農工科学高校2年生34名			
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会	○若年建設従事者入職促進協議会 行政、県教育局、工業高校校長会長を交え、若年労働者の入職促進について意見交換を実施。	7月							○	埼玉県教育局1名、校長1名			
	教諭との意見交換会													
その他														
(一社)千葉県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした建設現場見学会 千葉県内の工業高校等で現場見学会を行い、実際に働く技能者の方などを間近に見ることで、若手入職者促進へ繋げる。	6月	○							千葉県立市川工業高等学校 2・3年生 68名	https://www.chikenkyo.or.jp/	043-246-7624	
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○建設機械体験学習会 小中学生に建設機械に実際に触れてもらい、建設業に興味を持ってもらう。 ○CCIちば出張授業 県内の小中学生に対し建設業のイメージアップを図り、入職促進へと繋げる。	11月				○	○						
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○千葉県マインクラフトコンテスト2024 若い世代に向けて建設業の魅力を伝える。また、コンテスト優秀作品表彰として千葉県建設業協会会長表彰を設けている。 ○カンドゥー出展 仕事体験型テーマパーク「カンドゥー」に当協会から出展し、建設業の魅力をPR。 ○「道の進化を見に行こう！」 千葉テレビ放送で8月10日の「道の日」に土木工事の最先端技術ICTを活用した仕事の魅力等を紹介。 ○建設業界ガイドブックの工業高校への贈呈	12月				○	○						
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○STAY STREET 小中学生とその保護者等に対し、建設業の魅力を伝え入職促進を図る。	6月、11月				○	○	○					
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会													
	その他													
(一社)東京都建設業協会	現場見学会	○東京都建設系高校生を対象とした現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技術者・技能者の仕事を見てもらう。また質疑応答の時間を設け、実際の仕事に対するイメージを掴んでもらい、若年層の入職促進に繋げる。入職後のミスマッチ回避にも有効。 ○高校生現場見学会を活用した専門工事業者のPR 建設業界の担い手となる若年者の確保は、建設産業全体の課題となっていることから、専門工事業者の担い手確保を支援するため、現場見学会等を通じて、専門工事業者のPRに取組む。	通年	○						○	・6/24都立葛西工科高等学校建築科3年生47名 ・11/22東京都立田無工科高等学校1年生 63名 ・11/25東京都立総合工科高等学校2年生 13名	https://www.token.or.jp/index.html	事業部 人材支援課	
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○「みんなの建設業就活ナビ」の運営 建設業を目指す学生向けに、会員各社の採用関連情報や、若手社員インタビュー、ならびに就活体験アンケート結果等を掲載するサイトを運営する。 ○YouTube動画の配信 若年層や女性の建設業界への入職促進を目的に、学生の就職活動を応援するメッセージを含めたWEB動画をYouTubeにて配信。 ○「ビルドALL」の発行・配布 建設業のやりがいや魅力を伝え、業界への入職促進に繋がるよう、学生向けの建設業魅力発見パンフレットを作成し、全国の大学へ配布。 ○小学生向け魅力アップパンフレット「建設業なぜなにブック」の発行・配布 建設業の将来の担い手となる小中学生に、社会資本整備の必要性やものづくりのすばらしさ、建設業の魅力を知らってもらうために配布。	通年	○	○	○	○	○	○	○	—			
	資格取得支援	○土木・建築 2級 第一次検定 工業高等学校出前講座の実施 建設業への就職の動機付けを高めるため、2級施工管理技術検定の受験者を対象に対策講座を実施。	通年	○										・都立総合工科高等学校 2年生6名、3年生49名 ・都立田無工科高等学校 2年生10名、3年生42名 ・都立墨田工科高等学校 2年生23名
	合同企業説明会	○「みんなの建設業★インターンシップ＆業界研究フェスタ2024」の開催 業界研究促進及びインターンシップ情報提供のため、会員企業による合同企業説明会を開催。	8月7・8日		○	○								総視聴者数 約2,500名
	イベント開催・参加	○「東京都建設系高校生作品コンペティション2024」の開催 建設系学科に学ぶ生徒の日頃勉強している成果を発表する場を提供し、一般の方や中学生等に建設業に対し理解と関心をもってもらうことで、建設業界への若年者の入職を促進する。	12月12~14日	○	○	○	○	○	○	○				一般都民8,500名(見込み)
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会	○「東京建設・教育連絡協議会」の設置 建設系高校8校12学科で協議会を開催し、現場見学会や体験実習、作品コンペティションについて情報共有及び意見交換を実施。	5月・9月・11月							○	委員12名			
	その他													

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭			
(一社)神奈川建設業協会	現場見学会	○工業高校生を対象とした現場見学会 実際の工事現場を肌で感じ、建設業への理解を深めることを目的に実施(学校単位で実施)。受入企業の情報提供、貸切バス、交通費の助成。	5月～3月	○							実施済延べ4校、164名	http://www.shin-ken.or.jp/	045-201-8451
	インターンシップ(職業体験学習)	○建設ステーションふれあい体験ツアー 建設業への理解・関心を深めることを目的に実施。県内の中学生とその保護者を対象に現場見学とゼネコン研究施設を見学。	8月				○		○		34名		
	出前講座・講習会	○工業高校生を対象とした出前講座 県内工業高校へ向き、講師役(学校と同一エリアの企業を中心に)の当協会員企業社員が体験授業などを実施。建設業の社会的役割・重要性を理解してもらおうとともに実際に建機などに触れ、より身近に地元建設業に興味を持ってもらう。	6月～12月	○							実施済2校41名、実施予定4校		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○会員企業の会社PR冊子の作成(かながわJob'sBook) 500社中、80社を掲載(券書形式)企業紹介冊子として一冊にまとめた。主な配布先は県内の工業高校、建設科のある大学・専門学校。 ○建設業界ガイドブックの工業高校への贈呈 建設業界ガイドブックを工業高校へ贈呈。	6月	○	○	○			○	○	1800部製本		
	資格取得支援	○2級土木・建築施工管理技術検定(一次検定)支援 建設業界の将来を担う工業高校生の学習や就労支援を目的とする。	10月	○							(後期一次検定)県内工業高校149名		
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加												
	産官学連携の協議会												
	教諭との意見交換会	○大学・専門学校及び工業高校(建設工芸専門部)との情報交換会 一部を大学・専門学校、2部を工業高校と分けて学生の進路動向や協会の支援事業について意見交換を実施する。								○	延べ37名		
その他													
(一社)山梨県建設業協会	現場見学会	○高校生等の現場見学会 施工中の現場見学会を行い、実際に働いている技能者の仕事を見てもらう。	通年	○							建設課程高校7校 約600名	https://www.y-kenkyo.or.jp/	055-235-4421
	インターンシップ(職業体験学習)	○建設労働体験セミナー 建設課程高校生・教師等を対象に建設現場実習を実施する。	7月～10月	○							建設課程高等学校 約170名		
	出前講座・講習会	○建設課程高校へのICT等体験会 ICTを活用した建設工事の現場において建設課程高校生が施工等の様子を生で見たり触れたりすることで最新機器への理解を促進し、建設業への入職意識を醸成。	9月～3月	○			○				調整中		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業界ガイドブックの工業高校への贈呈 建設業界ガイドブックを工業高校へ贈呈。	都度	○							建設課程高校 2年生約200名		
	資格取得支援	○2級施工管理検定試験会場へのバスの配車 受験会場までの送迎バスの配車等資格取得の援助する。	10月・11月	○							調整中		
	合同企業説明会	○建設業合同企業説明会 建設業に特化した企業説明会を建設学科生徒を対象に実施。	7月	○							建設課程高校生約160名		
	イベント開催・参加	○建設まつり 小中学生・高校生とその保護者等に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを開催。	9月	○			○	○	○				
	産官学連携の協議会	○建設産業担い手確保・育成産官学連携会議 山梨県県土整備部が主催の会議に参加し建設業の魅力や役割について生徒にどのように指導するか、就職についてなどの情報共有を行う。	11月							○			
	教諭との意見交換会	○建設課程学校長及び主任教師との意見交換会 学校関係者と建設業協会との実施事業に係る意見交換会を開催する。	3月							○			
その他													
(一社)新潟県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会 建設系高校生を対象に、建設産業の社会的役割等について理解を深めてもらうために建設現場の見学会を実施。	7～11月	○							3校 100名	https://www.shinkenkyo.or.jp/	025-285-7111
	現場見学会	○小学校の現場見学会 日々の安全・安心な生活に必要な不可欠な道路や河川など、社会資本整備を通じ、実は身近な建設業への関心を高めてもらう。	9～11月					○			22校 880名		
	インターンシップ(職業体験学習)	○インターンシップ・デュアルシステム 建設業についての理解を深めてもらうために、学校教育の一貫としての建設現場における就業体験・実習に協力。	7～11月	○	○						12校 36社/120名		
	出前講座・講習会	○小中高生を対象とした土木出張PR 座学や測量の実体験により、小中高生に建設産業の魅力のPR活動。	随時	○			○	○	○		48校 2,000名		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設写真コンテスト 建設業に関心、理解を深めてもらうための広報として写真を募集し、優秀作品を選考のうえ表彰。 ○若年・女性入職促進事業(PR動画作成) 担い手確保や女性活躍推進などの課題を踏まえ、建設業の魅力を若者に伝える動画を作成。	6～11月	○	○	○	○	○	○		101名 201点		
	資格取得支援												
	合同企業説明会	○建設業の合同企業セミナー 大学、専門学校、高校生を対象にした会員企業の業務概要等のPRプレゼンテーションを実施し、建設業への入職を促進。 ○建設業の就職合同説明会 オンライン形式にて開催。	11月	○	○	○							
	イベント開催・参加												
	産官学連携の協議会												
教諭との意見交換会	○建設系高等学校教諭との情報交換会 高校卒業生への入職促進を図るため、教育関係機関との意見交換会を実施する。生徒の特徴と進路傾向について、情報共有を行う。	10月							○	教諭8名			
その他													
(一社)長野県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技能者の仕事を見てもらう。	5～7月	○							上田千曲高校3年生37名 佐久平総合技術高校3年生18名	https://www.choken.or.jp	026-228-7200
	現場見学会	○高校生を対象とした現場実習 測量・丁張実習を実施。CW-CADIによる演習を実施。	5～6月	○							長野工業高校3年生37名 木曾青峰高校3年生23名		
	インターンシップ(職業体験学習)												
	出前講座・講習会	○中学校への出前講座 ドローン体験及び映像、模型等を使った職場体験学習を実施。	9月	○							青木村中学校3年生80名 佐久穂町中学校3年生60名		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業界ガイドブックの工業高校への贈呈 建設業界ガイドブックを工業高校へ贈呈。	12月	○							県内建設系高校		
	資格取得支援	○2級土木・建築施工管理技術士受験準備講習会 県内建設系高校の生徒を対象に2級土木・建築施工管理技術士(学科)受験のための講習会を開催。	8月8～9日 8月19～20日	○							長野工業高校3年生土木科19名 建築科20名 南安曇農業高校環境クリエイト科3年生30名		
	合同企業説明会	○合同企業説明会の開催 県内会員企業の担い手確保を図るため、首都圏の大学生・専門学校生・高校生を対象に企業説明会(東京)を開催。	11月	○	○	○							
	イベント開催・参加	○安曇野市中学生キャリアフェスティバル 安曇野市内の中学生とその保護者等に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベント(重機試乗体験等)を開催。	10月17日				○		○		800名来場予定		
	産官学連携の協議会	○長野県教育委員会との意見交換会 長野県教育委員会幹部と県建設部幹部及び建設業協会幹部と高校再編に向けて専門学科の存続、増設の要望、就職についての情報共有を行うための見交換会を開催する。	11月13日							○	県教育委員会8名 県建設部3名 建設業協会8名		
教諭との意見交換会													
その他	○大学生との意見交換会 信州大学工学部土木工学科の学生3年生建設業のPR及びDX重機の試乗体験、VR体験等を通じ県内建設業への関心を持ってもらう。	11月2日			○					信州大学工学部土木工学科3年生65名			

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先			
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭						
(一社)岐阜県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした建設現場見学会 実際の現場を見ることにより、建設業の仕事の魅力を伝える。	8月～	○							○	○県内工業系高校 9校 360名(予定)	http://www.gikenkyo.jp/	058-273-3344		
		○女性を対象とした建設現場見学会 建設業で働く女性の話を聞くことや実際の業務を見ることにより、建設業への女性の入職を促進する。	2月	○	○	○						○県内工業系高校等で建設を学ぶ女子生徒・学生20名				
	インターンシップ(職業体験学習)	○学校内での教育内容と実社会との関連性を持たせるとともに、生涯を託せる産業であることの認識を高めることを目的として実施。	8月～	○	○	○						200名				
	出前講座・講習会	○建設業への興味を持ってもらうため、県内の小・中・高校に出向き、建設業の魅力発信を行う。	8月～	○			○	○			○	県内の学校 30校を目標				
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業界ガイドブックの配布 県内工業系高校9校に配布。	5月	○												
	資格取得支援	○「建設業経理事務士3・4級特別研修」及び「小型車両系建設機械運転特別教育」 建設業振興基金、建設業労働災害防止協会岐阜県支部の協力のもと実施。	8～3月	○								岐阜工業高校(8月)、中津川工業高校(3月)、 可児工業高校(3月)				
	合同企業説明会															
	イベント開催・参加	○FC岐阜が行う「建設企業展」へ出展 ○県内大手スーパーでの建設業魅力発信事業の実施(イオン) ○岐阜県農業フェスティバルへの参加	8月 12月								○	200名 500名 500名				
	産官学連携の協議会															
	教諭との意見交換会	○工業系女性教員との意見交換会	11月								○	10名				
その他	○女性技術者意見交換会(他県)	10月									女性専門委員					
(一社)静岡県建設業協会	現場見学会	○親子現場見学会 地区建設業協会が地元の小中学生以下の子ども達とその保護者を対象として実施。	7～10月								○	○	【R5年度】373名	info@sizkk-net.or.jp	054-255-0234	
	インターンシップ(職業体験学習)	○現場実習(インターンシップ) 入職促進事業の一環として、地区建設業協会と高校が連携し、高校生に対して現場実習を実施。	7～11月	○									【R5年度】のべ570名(受入88社)実数213名			
	出前講座・講習会	○静岡どぼくら講座 学校からの依頼を受け、土木の仕事を伝える学習講座(ドローンの活用について)を実施。	7月				○				○	浜松日体中学校3年生 110名				
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)															
	資格取得支援	○静岡県専門学校生サマー体験学習 工業・農業高校の3年生を対象に小型移動式クレーン資格取得を目的に体験学習を実施。	8月	○								工業・農業高校2～3年生 12名				
	合同企業説明会															
	イベント開催・参加	○建設業専門工事業合同体験フェア 型枠・内装工事等の建設専門工事業の実習体験に浜松工業高校の生徒が参加し、生徒や引率教員の専門工事業への理解を深めるとともに、参加した専門工事業体や企業の担当者との交流の機会となった。	9月	○								○	浜松工業高校建築科2年生 40名			
	産官学連携の協議会	○高校教員研修会 県内の中学、高校教員を対象に建設業におけるキャリアアップについて講義を実施。	8月									○	中学・高校教諭 3名			
	教諭との意見交換会	○専門高校教諭と建設業協会との意見交換会 県内の土木系・建築系の学科を有する工業・農業高校10校の教諭と意見交換会を実施。	11月									○	【R5年度】工業・農業高校教諭他21名			
	その他	○県立工業・農業高等学校(土木・建築系)進路状況等アンケート調査 県内の専門高等学校における卒業生の進路状況を把握し、将来にわたる建設業の担い手確保の参考資料とする。	8～9月	○								○	工業・農業高校10校			
(一社)愛知県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会 施工中の建設現場を見学することにより、建設技術者、技能者の実務を見てもらい、建設業に対するより具体的なイメージ作りに役立ててもらい、入職促進に繋げる。	10月(予定)	○									愛知県立猿投農林高等学校 1年生 40名	http://www.aikenkyo.or.jp/	052-242-4191	
		○高校生を対象とした現場見学会 施工中の建設現場を見学することにより、建設技術者、技能者の実務を見てもらい、建設業に対するより具体的なイメージ作りに役立ててもらい、入職促進に繋げる。	10月(予定)	○												愛知県立一宮工科高等学校 1年生 40名
		○高校生を対象とした現場見学会 施工中の建設現場を見学することにより、建設技術者、技能者の実務を見てもらい、建設業に対するより具体的なイメージ作りに役立ててもらい、入職促進に繋げる。	10月(予定)	○												愛知県立稲沢緑風館高等学校 2年生 27名
		○高校生を対象とした現場見学会 施工中の建設現場を見学することにより、建設技術者、技能者の実務を見てもらい、建設業に対するより具体的なイメージ作りに役立ててもらい、入職促進に繋げる。	12月(予定)	○												愛知県立碧南工科高等学校 2年生 40名
		○高校生を対象とした現場見学会 施工中の建設現場を見学することにより、建設技術者、技能者の実務を見てもらい、建設業に対するより具体的なイメージ作りに役立ててもらい、入職促進に繋げる。	12月(予定)	○												愛知県立一宮工科高等学校 1年生 40名
		○高校生を対象とした現場見学会 施工中の建設現場を見学することにより、建設技術者、技能者の実務を見てもらい、建設業に対するより具体的なイメージ作りに役立ててもらい、入職促進に繋げる。	12月(予定)	○												愛知県立愛西工科高等学校 2年生 40名
		○高校生を対象とした現場見学会 施工中の建設現場を見学することにより、建設技術者、技能者の実務を見てもらい、建設業に対するより具体的なイメージ作りに役立ててもらい、入職促進に繋げる。	12月(予定)	○												愛知県立愛西工科高等学校 2年生 40名
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生対象インターンシップ 就職活動開始前の高校2年生を対象に、夏休み期間中に地元建設会社にて実際の職業体験を実施。	8月	○												愛知県立愛西工科高等学校 2年生 3名
		○高校生対象インターンシップ 就職活動開始前の高校2年生を対象に、夏休み期間中に地元建設会社にて実際の職業体験を実施。	8月	○												愛知県立一宮工科高等学校 2年生 5名
		○高校生対象インターンシップ 就職活動開始前の高校2年生を対象に、夏休み期間中に地元建設会社にて実際の職業体験を実施。	7月	○												愛知県立岡崎工科高等学校 2年生 8名
	出前講座・講習会	○高校生対象インターンシップ 就職活動開始前の高校2年生を対象に、夏休み期間中に地元建設会社にて実際の職業体験を実施。	7～8月	○												愛知県立豊橋工科高等学校 2年生 11名
		○高校生対象インターンシップ 就職活動開始前の高校2年生を対象に、夏休み期間中に地元建設会社にて実際の職業体験を実施。	7月	○												名古屋工業高等学校 2年生 2名
		○大学生対象インターンシップ 就職活動開始前の大学3年生を対象に企業の体験入職の実施。	6月				○									事前登録した大学生27名
		○高校生対象出前講座 経験豊富な会員企業の社員による授業を通じて、建設業の社会的な役割・魅力・やりがいなどを身近に体験する。可能な場合、OBの同行により、質疑応答を行う。	10月(予定) 3月(予定)	○												10月:愛知県立一宮工科高等学校 2年生 80名 3月:愛知県立愛西工科高等学校 1年生 40名
		○HPIによる協会の活動状況広報	通年適宜	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			—
		○ラジオによる協会の活動状況広報 会員企業が交代で出演し、広報する。	通年(土曜日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			—
		○新聞による協会の活動状況広報	1～3月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			—
資格取得支援																
合同企業説明会	○大学生、既卒生を対象とした合同企業説明会開催 地元会員企業の将来を担う人材を確保するための出会いの場として、建設系学生(文系も含む)を対象に企業説明会を開催する。	3月(予定)								○	○	90名程度(予定)				
イベント開催・参加	○建設技術フェアへの出展 当協会として「学生ひろば」にブースを開設し、学生(高校生・専門学校生・大学生)や一般市民の皆さんに地元建設業の紹介・PRに努める。 ○高校生、専門学校生を対象とした、作文、ポスターの募集ならびに表彰 「建設業に思いを込めて」と題した作品を募集し、優秀作品を表彰する。	11月(予定) 7～8月(夏休み中)	○	○	○							来場者数180名程度 作文:15名、ポスター:25名				
産官学連携の協議会																
教諭との意見交換会	○高校教師実務担当者会議の開催 年間の高校生向けイベントの計画と振り返り。	4月									○	15名				
その他																

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭			
(一社)三重県建設業協会	現場見学会	○高校生建設現場見学会 施工中の建設現場見学会を実施し、建設業に対するイメージアップをはかり、生徒の進路決定の一助となることを目的に実施。	10月	○							伊勢工業高校 2年生 38名	https://www.miekenkyo.or.jp/	059-224-4116
		○高校生建設現場見学会 施工中の建設現場見学会を実施し、建設業に対するイメージアップをはかり、生徒の進路決定の一助となることを目的に実施。	10月	○							近畿大学工業高等専門学校 4年生 39名		
		○高校生建設現場見学会 施工中の建設現場見学会を実施し、建設業に対するイメージアップをはかり、生徒の進路決定の一助となることを目的に実施。	10月	○							石業師高校 1年生		
		○高校生建設現場見学会 施工中の建設現場見学会を実施し、建設業に対するイメージアップをはかり、生徒の進路決定の一助となることを目的に実施。	10月	○							相可高校 2年生 40名		
		○高校生建設現場見学会 施工中の建設現場見学会を実施し、建設業に対するイメージアップをはかり、生徒の進路決定の一助となることを目的に実施。	10月	○							紀南高校 1年生		
		○高校生建設現場見学会 施工中の建設現場見学会を実施し、建設業に対するイメージアップをはかり、生徒の進路決定の一助となることを目的に実施。	11月	○							伊賀白鳳高校 2年生 32名		
		○高校生建設現場見学会 施工中の建設現場見学会を実施し、建設業に対するイメージアップをはかり、生徒の進路決定の一助となることを目的に実施。	11月	○							久居農林高校 1年生 30名		
		○高校生建設現場見学会 施工中の建設現場見学会を実施し、建設業に対するイメージアップをはかり、生徒の進路決定の一助となることを目的に実施。	11月	○							津工業高校 1年生 44名		
		○高校生建設現場見学会 施工中の建設現場見学会を実施し、建設業に対するイメージアップをはかり、生徒の進路決定の一助となることを目的に実施。	11月	○							四日市四郷高校 1年生		
		○高校生建設現場見学会 施工中の建設現場見学会を実施し、建設業に対するイメージアップをはかり、生徒の進路決定の一助となることを目的に実施。	11月	○							四日市中央工業高校 1年生 39名		
		○高校生建設現場見学会 施工中の建設現場見学会を実施し、建設業に対するイメージアップをはかり、生徒の進路決定の一助となることを目的に実施。	11月	○							四日市工業高校 2年生 40名		
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生のインターンシップ 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	7月~8月	○							四日市工業高校 2年生		
		○高校生のインターンシップ 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	7月~8月	○							伊勢工業高校 2年生 17名		
		○高校生のインターンシップ 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	11月	○							四日市中央工業高校 2年生		
	出前講座・講習会	○高校への出前授業 県内高校の生徒を対象に建設業の魅力や役割について説明。	6月	○							紀南高校 1年生 44名		
		○高校への出前授業 県内高校の生徒を対象に建設業の魅力や役割について説明。	6月	○							三重高校 1年生 157名		
		○高校への出前授業 県内高校の生徒を対象に建設業の魅力や役割について説明。	7月	○							英心高校 1年生 61名		
		○高校への出前授業 県内高校の生徒を対象に建設業の魅力や役割について説明。	10月	○							伊賀白鳳高校 2年生 32名		
		○高校への出前授業 県内高校の生徒を対象に建設業の魅力や役割について説明。	10月	○							飯南高校 2年生 40名		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○当協会の取組について、YouTube動画、Xの発信 若年人材確保に関する協会の取組について、情報発信を実施。	4月~3月	○	○	○	○	○	○	○			
		○建設業界ガイドブックの高校等への配布 高校生建設現場見学会を通じ、建設業界ガイドブックを配布。	10月~11月	○	○						450部		
	資格取得支援	○建設業経理事務士特別研修(4級) 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	7月	○							津工業高校 1年生 44名		
		○建設業経理事務士特別研修(4級) 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	7月	○							伊勢工業高校 1年生 26名		
		○建設業経理事務士特別研修(4級) 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	8月	○							四日市工業高校 1年生 34名		
		○建設業経理事務士特別研修(3級) 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	8月	○							津工業高校 1年生 36名		
		○建設業経理事務士特別研修(3級) 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	8月	○							四日市工業高校 1年生 31名		
	合同企業説明会												
イベント開催・参加	○女性技術者交流会 女性技術者が会社の垣根を越えて交流する機会を設け、現場環境等へ女性の声を届けることで、女性技術者の「個人」と「仕事」の充実を図ることを目的に実施。	12月	○							伊勢工業高校建築科 三重県女性建築技師 当協会会員企業女子職員			
産官学連携の協議会													
教諭との意見交換会	○県立(建設関係学科設置校)進路指導担当教諭等との情報交換会 三重労働局、三重県教育委員会、三重県土木整備部、進路指導教諭との情報交換会を通じ、学校と密接な連携を図るために実施。	12月							○	三重労働局1名、三重県教育委員会1名 三重県土木整備部3名、教諭7名 協会委員14名			
その他													
(一社)富山県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会 県内高校 建設系学科の生徒を対象とした現場見学会を実施。	8月30日	○							○ 南砺福野高校農業環境科 1年生29名、教諭2名		
		○高校生を対象とした現場見学会 県内高校 建設系学科の生徒を対象とした現場見学会を実施。	9月20日	○							○ 高岡工芸高校土木環境科2年生21名、教諭2名		
		○高校生を対象とした現場見学会 県内高校 建設系学科の生徒を対象とした現場見学会を実施。	10月4日	○							○ 富山工業高校土木工学科2年生39名、教諭2名		
		○高校生を対象とした現場見学会 県内高校 建設系学科の生徒を対象とした現場見学会を実施。	10月23日	○							○ 富山工業高校建築工学科2年生39名、教諭2名		
		○高校生を対象とした現場見学会 県内高校 建設系学科の生徒を対象とした現場見学会を実施。	10月29日	○							○ 高岡工芸高校建築科2年生37名、教諭2名		
		○高校生を対象とした現場見学会 県内高校 建設系学科の生徒を対象とした現場見学会を実施。	10月31日	○							○ 桜井高校土木科2年生32名、教諭2名		
		○女子大学生を対象とした現場見学会(女性技術者が在籍現場等) 県内建設系学科に在籍する女子大学生を対象に実施。	9月27日			○					○ 富山県立大学工学部環境工学科 1~3年43名、教員数名		
	インターンシップ(職業体験学習)												
	出前講座・講習会	○高校生を対象とした出前講座 若手技術者と高校生が少人数グループに別れ、仕事内容や魅力などについて情報交換を行い、建設技術者への興味を促す。	2~3月	○							桜井高校土木科2年生		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業及び建設技術者の仕事内容をPRするリーフレットの作成・配布 小中学生、高校生向けに建設業の役割や必要性を伝えるためリーフレットの印刷・配布。	7月	○			○	○		○	県内高校2年生約8,000名、県内中学2年生約8,100名 県内小学6年生約7800名、県・市町村教育委員会		
		○建設業の女性活躍をPRするリーフレットの作成・配布 大学生、高校生向けに建設業における女性活躍の現状等を伝えるリーフレットを作成し配布。	9月	○			○				県内高校生(女子生徒)、大学建設系学部		
	資格取得支援	○会員企業への入職予定者を対象とした技能向上研修 就職前の高校生を対象とし、スムーズな入職につなげるための就職直前講習。玉掛け、小型移動式クレーン技能講習を受講。	3月	○							玉掛け40名、小型移動式クレーン40名		
	合同企業説明会	○企業概要や取組事業等に関する情報交換会(企業懇談会)の開催 学生と企業との情報・意見交換(仕事内容や魅力、キャリアプランなど)を通して、県内企業の魅力等を知ってもらうための説明会。	11月				○				富山県立大学工学部環境工学科3年生		
	イベント開催・参加	○富山県立大学ダヴィンチ祭への出典 大学主催イベント。重機シミュレーターやラジコン、建設現場のVR体験等とおして建設業への興味を促すためのブース出展。	8月3日				○	○	○	○	未就学児35名、小学生52名、中学生2名、大学生2名、保護者66名 計157名		
		○女子大学生と女性技術者との座談会 県内建設系学科に在籍する女子大学生と女性技術者との座談会を実施。	10月1日				○				富山県立大学工学部環境工学科1~2年18名、教員		
		○建設テックフェス2024への出典 富山県主催イベント(建設関係団体複数参加)。重機シミュレーターやラジコン、建設現場のVR体験、4足歩行ロボットデモ、高所作業車体験等とおして建設業への興味を促すためのブース出展。	9月28日						○	○			
		○高校生の保護者との意見交換会 若手技術者と高校生が少人数グループに別れ、仕事内容や魅力などについて情報交換を行い、建設技術者への興味を促す。	4月12日	○							○	桜井高校土木科3年生の保護者、生徒、教諭	
産官学連携の協議会													
教諭との意見交換会	○高校生の保護者との意見交換会 建設系学科高校生の保護者を対象とした懇談会。協会役員、若手技術者(高校OB)、建設業の重要性や技術者の仕事内容、仕事のやりがいや環境改善等について説明し、就職を促す。	10月12日							○	南砺福野高校農業環境科2年生の保護者			
その他													

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先	
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭				
(一社)石川県建設業協会	現場見学会	○工業系高校生を対象とした現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている方々の仕事を見てもらうとともに、建設業への興味を促進。	6~3月	○							4校5学科 233名	http://www.ishikenkyo.or.jp/	076-242-1161	
		○専門学校生を対象とした現場見学会	10月		○						金沢科学技術大学校 42名			
		○大学生を対象とした現場見学会(予定)	10月			○					金沢工業大学 20名			
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生のインターンシップ 高校生を対象とした実際の業務体験。	7~10月	○							4校5学科 108名			
	出前講座・講習会	○工業系高校生を対象とした出前講座 工業系高校生への建設業の安全管理を目的とした特別教育の実施。 ①足場組立て等特別教育 ②フルハーネス型安全帯使用作業特別教育	9~10月	○							県立小松工業高校3年生 25名			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業PR動画の作成(現在作成中) 高校生や広く一般に向けた動画の作成・配布・上映。	5~2月	○	○	○								
		○いしかわインフラフォトクリップ 高校生や広く一般を対象とした写真コンテストの開催し、建設業の魅力PR。	7~9月	○	○	○	○	○	○	○				
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○はだしの王国2024への参加 ブースを設置し、来場する未就学児や小学生向けの建設業の魅力PR。	10月						○	○	○			
産官学連携の協議会														
教諭との意見交換会														
その他														
(一社)福井県建設業協会	現場見学会	○高校生の現場見学会 施工中の現場見学会を行い、業界理解を深める。	10~11月	○						○	武生商工高校、敦賀工業高校	https://www.fukui-pbcs.or.jp/	0776-24-1184	
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生のインターンシップ 会員企業による数日間のインターンシップを実施。	6~11月	○							県内在籍高校生 約50名			
	出前講座・講習会	○高校への出前授業 ドローン体験及びICT測量を用いた研修を実施。	学校希望月	○										約30名
		○小中学校への出前授業 建設業に興味関心を持ってもらうため、青年委員による県内小中学校への出前授業を実施。	通年				○	○						約10校
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援	○高校生への資格取得支援 2級土木施工管理技士の一次試験会場(県外)へのバス送迎補助。	10月	○							約50名			
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○重機イベント 建設業界の魅力を発信するためのイベントを開催。	10月						○	○				来場者5,000名規模
		○フクイ建設技術フェア 建設業界の魅力を発信するためのイベントを開催。	9月	○	○				○	○	○			来場者4,000名規模
	産官学連携の協議会													
教諭との意見交換会														
その他														
(一社)滋賀県建設業協会	現場見学会	○小学生、中学生、高校生を対象とした現場見学会 (公社)滋賀県建設産業団体連合会の主団体として将来の建設産業の担い手となる若年者を対象に開催する。	10~12月	○						○		https://yumenken.or.jp	077-522-3232	
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○会員企業の若手役員3人により結成。県内の魅力や建設業のやりがいなどをPRするために県内の工業高校を訪問し生徒に建設業の仕事、将来性等をグループワーク等を取入れ紹介。	10~12月	○										
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○滋賀けんせつみらいフェスタ2024への参画 滋賀県建設産業魅力アップ実行委員会の構成団体として、各団体がブースを設けイベントを開催。建設業の魅力を発信。	10月	○	○	○	○	○	○	○	○			
		○第11回夢けんプラザ絵画コンクール 小中学生を対象に小学校低学年、高学年、中学生と分け入賞作品の展示会を開催。	9月						○	○				集計中
産官学連携の協議会														
教諭との意見交換会														
その他														
(一社)京都府建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技能者の仕事を見てもらう。	12月1月	○						○	京都宮津天橋高等学校生徒30名 京都工学院高校生生徒38名	https://www.kyokenkyo.or.jp/	075-231-4161	
		○親子でまなぶ京都の建設・土木 京都在住もしくは通勤・通学している親子を対象とし、建設現場を実際に体感し、建設業界についての理解を深めて頂く事を目的とした見学会。	11月	○			○	○	○					約90名
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生インターンシップ 会員企業の建設現場において、高校生が2~3日間、実際の建設の仕事に挑戦する職業体験。	7~11月	○						○	京都宮津天橋高等学校生徒19名 農芸高校生生徒7名 京都工学院高校生生徒24名			
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業界の働き方ガイドブックの作成 建設業界の働き方ガイドブック(KYOTOの柱になる仕事)を作成し、工業高校生生徒へ現場見学会、大型ショッピングモールのイベント等で配布。	8~2月	○				○	○	○	京都宮津天橋高等学校生徒30名 京都工学院高校生生徒38名 イベントで親子に配布200名×3回			
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○イオンモール体験イベント 小中学生・高校生とその保護者等に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを開催。	8月9月	○				○	○	○				ショッピングモール一般客約200名×2
		○建築学生ワークショップ醍醐寺 建築学生ワークショップに参画し、アドバイザーとして協会会員が参加することで、全国の学生との交流を図るとともに、ワークショップ形式での後進育成に向けた取組み、地域へ建設業の魅力を発信。	4~9月			○								全国建築学生 48名
		○ものづくりフェア 京都府主催のイベント会場での建設業の重機乗車体験等啓発活動を実施。	11月	○				○	○	○				京都府民約500名
		○魅力向上プロジェクトイベント 旅客ターミナル『京都舞鶴港 うみとびら』において、一般客向けに建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを開催。	11月	○				○	○	○				一般客約200名
		○令和6年度 京都府総合防災訓練 直下型地震と豪雨による複合災害が発生したとの想定で地域住民が一体となった総合的な訓練を実施。当会からも災害時に活躍する車両として建設重機を展示し、地域住民にとって日頃は触れる事の無い建設重機に触れながら、建設業界の災害時の対応やインフラ整備の重要性などを説明。	10月					○	○	○				京都府民約200名
	○京都府除雪機械出動式 雪害対策期間を迎えるにあたり、冬期の安全で円滑な交通を確保する万全の体制をはかるため、除雪作業出動式を行い、車両移動訓練を実施。地元小学生に建設業の魅力をアピール。	11月						○	○		地元小学生約30名			
	産官学連携の協議会	○京都府魅力向上プロジェクト推進会議幹事会	6月								10名			
教諭との意見交換会	○京都府教育委員会との意見交換会 建設業界の魅力向上PR方策等について意見交換を実施。	10月								15名				
その他														

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭			
(一社)大阪建設業協会	現場見学会	○現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている建設従事者の仕事を理解して頂くことを目的に実施。	11月～2月	○									
	インターンシップ(職業体験学習)	○夏休み体験セミナー 建設機械の試乗体験、型枠作業体験を通じ、建設業の魅力を発見して頂くことを目的に開催。	8月	○							生徒16名・教諭3名		
	出前講座・講習会												
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○広報誌(O-WAVE)の発刊 学生を訴求ターゲットとし、建設業界のイメージアップを目的に漫画形式の広報誌(O-WAVE)を発刊。	3月予定	○	○	○	○	○	○	○			
	資格取得支援												
	合同企業説明会	○建設業界研究博 将来を担う優秀な人材確保を図るため、建設業界に入職を希望される建築系・土木系学生をいち早く効率的に協会会員企業と出会うの機会を確保することを目的として開催。	8月		○	○					94名	https://o-wave.or.jp/	06-6941-4821
	イベント開催・参加	○リコチャレ2024プログラム 「防災」をテーマに災害復旧の講話では、建設業が道路啓開などで大きな役割を果たしていることを説明。 また、建設業に対して「身近なもの」「みんなの生活・安全を守る」等のイメージを持ってもらい、女性エンジニアによるお仕事紹介コーナーやインフラクイズコーナーを開催。	7月					○	○		8組25名		
	産官学連携の協議会												
	教諭との意見交換会	○高校教諭との意見交換会 建設業の魅力や役割について生徒にどのように指導するか、就職について、協会の事業活動などの情報共有を行った。	5月								○ 教諭5名・行政2名		
その他													
(一社)兵庫建設業協会	現場見学会	○高校生等を対象とした現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技術者や技能者の仕事を見てもらう。 ○小中学生を対象とした現場見学会 国・県等と連携し、小・中学生及びその保護者を対象にした公共事業現場見学会を開催。住民の安全を確保し、生活の利便性を高める公共工事の意義を知ってもらうとともに、そうした意義のある公共工事において大きな役割を担う建設産業の魅力と仕事のやりがいや魅力を伝え、将来の人材確保に繋げる。	通年	○	○	○					約200名		
	現場見学会		通年				○	○			事務所ごとに開催。1事務所約30名		
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生等を対象としたインターンシップ 工業高等学校、専門学校等の学生・生徒を会員企業が受入れ、入職体験してもらう。 ○建設サマーセミナー 夏休みを活用して、長期にわたって工業高等学校、専門学校等の学生・生徒を受入れ、入職体験してもらう。 ○1日体験実習 施工中の建設現場において、実際に働いている技術者や技能者の仕事を体験してもらう。	4～1月	○	○	○					約250名		
	インターンシップ(職業体験学習)		7～8月	○	○	○					約100名		
	出前講座・講習会	○建設業魅惑説明会 県内の工業高校生等を対象に、建設業の魅力を理解してもらうとともに、建設業への入職促進を図るため、現役の技術者が学校の教壇に立ち、建設業の魅力を伝える。	7月5日	○							35名		
	出前講座・講習会		5～12月	○							8校約300名		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○業界研究スペシャルプロジェクト『まちづくり業界研究大作戦』Webサイト 業界研究スペシャルプロジェクト『まちづくり業界研究大作戦』のイベント広報動画や出展企画30社のPR動画をコンテンツとするWebサイト。各社の採用HPにもリンク。イベント広報動画はTverやYouTubeでも配信する。 ○若者向け建設業PR動画「地図に残る、“未来を創る”という使命」第1弾 現在の若者たちの最大の情報収集媒体であるネット上に手掛けた案件の数だけ語るに尽くせない物語と感動がある建設業の魅力をPRする動画の第1弾をネット配信中。会員企業の会社説明会でも活用。「建設業にGO！」にも掲載。 ○若者向け建設業PR動画「地図に残る、“未来を創る”という使命」第2弾 現在の若者たちの最大の情報収集媒体であるネット上に手掛けた案件の数だけ語るに尽くせない物語と感動がある建設業の魅力をPRする動画の第2弾をネット配信中。会員企業の会社説明会でも活用。「建設業にGO！」にも掲載。 ○女性活躍建設業プロモーション動画「#私が輝く場所」のネット配信 会員企業6社の女性技術者に出演していただき、それぞれが建設現場で働く様子を紹介しながら、出演者自らが建設業の魅力や入職した動機、仕事のやりがい、ICT活用により女性が活躍しやすくなっている建設業の現状などを語る動画をネット配信中。工業高校、専門学校等の授業や会員企業の会社説明会でも放映。「建設業にGO！」にも掲載。 ○建設業界ガイドブックの工業高校等への贈呈 建設業界ガイドブック(建設産業人材確保・育成推進協議会)を県内工業高校の進路指導等へ送付。	通年			○	○				大学生等不特定多数		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)		通年			○	○				大学生等不特定多数		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)		通年			○	○				若年女性不特定多数	https://hyokenkyo.or.jp/	078-997-2300
	資格取得支援	○工業高校生資格取得支援講習会事業の実施 県内の工業高校生等(3年生)を対象に、建設業への入職促進につながる2級土木施工管理技士又は2級建築施工管理技士の学科試験に向けた講習会を開催。	9月	○							県下高校220校		
	資格取得支援		9～11月	○							工業高校5校約200名		
	合同企業説明会	○業界研究スペシャルプロジェクト『まちづくり業界研究大作戦』 広く学生に兵庫県地域建設業の魅力を伝え、理解促進を図る機会を設けることにより、会員の将来を担う優秀な人材の確保につながる。学生インフルエンサーづくりのためのイベントと本番イベントの2本立てで開催。会員有志30社が出展。 ○『地元がイチバン！地元建設業魅力出前講座@工業高校』 地元で活躍する会員企業を知ってもらうとともに、建設業への理解を一層深めてもらうことにより、県内建設企業への就職を促進することを目的に開催。建設系学科のあるすべての県立工業高校が地元会員企業と連携し開催。	プレイベント 9月18日 本番イベント 11月17日		○	○					目標 プレイベント:50名 本番イベント:200名		
	合同企業説明会		通年	○							5校約300名		
	イベント開催・参加	○女子高校生と女性技術者との交流会 女性の建設業への入職を促進するため、建設業で働く女性から女子高校生に対して建設業の現状や魅力を発信することを目的として、県内の工業高校等の女子高生と(一社)土木技術者女性の会の女性技術者及び会員企業の女性技術者との交流会を開催する。	12月	○							約50名		
産官学連携の協議会	○兵庫建設産業人材確保推進協議会 人材の送り手である工業高等学校等校長と人材の受け手である会員企業経営者が建設産業への人材確保を推進するため、課題と解決策を率直に意見交換する。意見交換にとどめず、意見の事業化を図った実例がいくつもある。 ○兵庫建設産業人材確保推進協議会作業部会 上記協議会の下に作業部会を設け、協議会意見・提案書等について事業の優先順位付けと事業の具体化に向けた協議を行っている。	12月								○ 兵庫教育委員会課長、兵庫県土木部課長、工業高校校長、会員企業社長合計約30名			
産官学連携の協議会		通年								○ 工業高校建設系学科長5名 会員企業人事部長等5名			
教諭との意見交換会													
その他	○建設労働者雇用管理状況等実態調査 会員を対象とした実態調査において、採用状況(学校の種別、事務・技術の職別)と定着状況(過去5年間の学校の種別、事務・技術の職別)を調査項目に設定。会員相互の採用活動の参考に。	調査実施 10月 報告書作成 3月									会員企業約660社		

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先	
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭				
(一社)奈良県建設業協会	現場見学会													
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生を対象としたインターンシップ 昨年度4月に開学した奈良県立奈良南高等学校専攻科のインターンシップを受け入れ実施。学校では学ぶことのできない経験をすることで入職後のギャップを少なくし建設業への入職、定着を促進する。	6~9月	○								一年次 2名、二年次 2名		
	出前講座・講習会	○高校生を対象とした出前講座 県内高等学校の建設系学科の生徒に、鉄筋組立、鉄筋ガス圧接継手及びクロス貼り、測量の体験をさせることにより建設業への興味を深めてもらい入職を促進する。	11月	○	○							奈良商工36名、奈良南 4名		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援	○経理特研 高校生を対象に建設業経理士4級、3級の取得を促進する。	12月、3月	○								奈良商工30名予定	http://nake-nkyo.or.jp/	
	合同企業説明会	○会員企業による説明会 協会の会員企業が大学、専門学校等の就職希望者を対象に、自企業のP.Rを行う。	2月	○	○	○						50名予定		
	イベント開催・参加	○しごとフェスタ 重機搭乗体験や最新のICT機器を体験させ、新しい建設業をPRし、建設業に関心を持ってもらい入職に繋げる。	8月	○			○	○	○			501名		
	産官学連携の協議会 教諭との意見交換会 その他	○インターンシップに対する総括会議【懇談会】	11月								○	15名予定		
(一社)和歌山県建設業協会	現場見学会	○3Dプリンターによる建築構造物見学(バス提供 傷害保険料負担) ○建築建設現場生産性向上フェア見学(バスの提供) ○現場見学会(建設業者訪問・現場見学支援・バスの提供) ○建技展見学(バスの提供) ○ICT建機体験会(バスの提供)	4月25日 5月30日 11月7日 11月8日 未定	○ ○ ○ ○ ○								和歌山工業高校土木科1年建築科1年80名 和歌山工業高校建築科80名 紀北農芸高校・環境工学科20名 和歌山工業高校土木科80名 土木科1年生40名		
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○県内小学生向け業界PR 県内小学生向け配布「わかやま探検ミュージアム」への業界PR記事を掲載。 ○県内小学生向け業界PR 「建設学習帳」を小学校向けに配布。	隔月 10月~						○ ○			県内小学4~6年生 1回あたり約28,000名 県内小学校希望者 約1,000名	https://www.wakenkyo.or.jp/	
	資格取得支援	○工業高校在校生の施工管理技術検定受検支援 土木・建築施工管理技士2級受検予定高校生向け日建学院参考図書提供。 ○建築施工管理2級受検支援(バスの提供) ○土木施工管理2級受検支援(バスの提供)	4月、5月 6月9日 11月24日 10月26日	○ ○ ○								建築土木関連高校4校107名 和歌山工業高校建築科延べ30名 和歌山工業高校土木科40名		
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会 教諭との意見交換会 その他													
	(一社)鳥取県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技術者・技能者の仕事を見てもらう。	11月	○								鳥取工業高校1年生19名	
		インターンシップ(職業体験学習)	○高校生のインターンシップ 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	9~10月	○								鳥取工業高校2年生25名 米子工業高校2年生32名	
出前講座・講習会														
広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)		○TVCMの作製 ○自由帳の作成【中部建設業協会】 小学生向けの自由帳を作成・配布	8~3月 4月	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○				https://www.tori-ken.or.jp/	
資格取得支援														
合同企業説明会														
イベント開催・参加														
産官学連携の協議会 教諭との意見交換会 その他														
(一社)鳥根県建設業協会	現場見学会	○高校生の現場見学会(県内の実業高校7校を対象に実施)	9~11月	○								200名		
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○冊子の贈呈 県内建設企業の紹介、先輩からのメッセージなどを収録した冊子を配布。	8月~	○				○	○	○			https://www.shimakenkyo.or.jp/	
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○夏休み親子で学ぼう！インフラツアー 県内在住の小学校3~6年生とその保護者を対象に、建設業界の魅力を発信するためのインフラツアーを実施。	8月						○	○		40名		
産官学連携の協議会 教諭との意見交換会 その他														
(一社)岡山県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会	4~10月	○								工業高校(1~3年生)約480名		
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設産業ガイドブックの工業高校への贈呈 ○建設産業人材確保PR動画の制作	10月 9~1月	○ ○				○	○	○		工業高校(1~2年)約800冊 一般公開	https://www.okakenkyo.jp/	
	資格取得支援													
	合同企業説明会	○おかやま建設企業ライブ 県立高校の土木・建築系学科の2年生を対象とした企業説明会。	1月	○						○		工業高校2年生 約320名		
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会 教諭との意見交換会 その他													

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先	
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭				
(一社)広島県建設工業協会	現場見学会													
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○高校生を対象とした出前講座 建築系学科の高校生に対し、型枠、左官等の座学・実技実習の実施。 ○大学生に対する実習及び意見交換会の開催 大学生に対する「鉄筋組立」「3D測量体験」「舗装実体験」の実習及び学生・企業・行政による意見交換会の実施。 ○建設業を知ってもらう説明会 県内の建設業界への就職希望者の増加を図ることを目的として、土木系学科を有する高校、専門学校などにおいて建設業の役割についての講義と、若手技術者と生徒と意見交換会を実施。	9~10月	○							80名			
				11月8日			○					70名		
				通年	○	○						150名		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○高校生の作品をバスラッピングする事業 県内高等学校(4校)の美術部が制作した建設業イメージアップ作品をバスにラッピング掲示。 ○図書館での建設業魅力発信展示 図書館に子供向けの資料の配布や建設重機や土木構造物、建築物等の魅力に関する絵本、図鑑などを展示。 ○路面電車へのラッピング等広報事業 ・電車内パンフレットラック設置 ・電車外側広告	通年	○								—		
				通年	○	○	○	○	○	○	○			
	資格取得支援													
	合同企業説明会	○建設企業ガイダンスの実施 土木系・建築学科に所属する就職活動間近の高校生を対象に建設企業がブースを設け、各企業の紹介や建設産業の現在の姿を伝える。	1月	○								200名		
	イベント開催・参加	○ひろしま建設フェア2024 子供を対象とした建設業の仕事体験イベントの実施。	10月19日						○	○		10,000名		
産官学連携の協議会														
教諭との意見交換会														
その他														
(一社)山口県建設業協会	現場見学会	○高校生現場見学会 普段見ることのできない生の建設現場を体験することで、3Kイメージの払拭とスケールの大きさ、仕事のやりがいを実感させる。 ○けんせつ小町に会おう！現場見学会と座談会 女子学生限定での現場見学会で、けんせつ小町との座談会も同時に行い、女性の入職を目指す。	5~9月	○	○						300名			
			5~9月	○	○						50名			
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生現場実習(インターンシップ) 会員企業及び山口県測量設計業協会と連携して、若年者を対象としたインターンシップ(現場実習)を行う。	8~2月	○							80名			
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業イメージアップポスターの作成配布 高校生を対象にした建設業イメージアップポスターを募集し、最優秀作品を大型ポスターにして、県内全ての高校や関係団体に配布する。更に入選作品については安全大会で掲示し、協会広報誌やホームページにも活用する。 ○社会貢献活動PR誌ビラーの作成配布 地元建設業が行うボランティアや災害復旧等の社会貢献活動を中心とした一般人向けの広報誌を作成し、現場見学会や地域イベント等で広く配布する。	7~2月	○					○	○	130名			
	資格取得支援	○建設業経理事務士(4級・3級) 高校生に対し、建設企業への就職に有利な建設業経理事務士の資格取得を支援することで入職率のアップを目指す。	7~1月	○							80名			
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○やまぐち建設フェス 国・県・市・建設団体及び企業による小中学生以下を対象にした建設機械の展示、搭乗体験、建設業に関わるミニゲーム等を行う。 ○やまぐち建設産業魅力発見フェア 8高校及び3中学校を対象に建設10団体による業界PRのための体験会やDVD上映、ドローン等の実演を行う。また、企業ブースを60社分設置し、企業担当者による仕事紹介も行う。	10月				○	○	○		2000名			
				6月	○			○		○		500名		
	産官学連携の協議会	○山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会 県内の建設業団体、教育機関、関係行政機関等が、担い手確保・育成取組を効果的に推進するために18団体で構成する。	5~3月								20名			
教諭との意見交換会														
その他														
(一社)香川県建設業協会	現場見学会													
	インターンシップ(職業体験学習)	○土木・建築関係学科の高校3年生を対象に企業の体験入職の実施 ○土木関係学科の高校2年生を対象に企業の体験入職の実施 ○土木関係学科の高校2年生を対象に企業の体験入職の実施	6月	○							114名			
			10月	○							27名			
			12月	○							15名			
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○建設系学科の高校生と若手建設従事者との意見交換会 県内の若年建設従事者確保・育成のために実施。 ○土木関係学科の高校生1年生と若手建設従事者との意見交換会 県内の若年建設従事者確保・育成のために実施。	9月	○							30名			
			10月	○							25名			
産官学連携の協議会														
教諭との意見交換会														
その他	○建設系学科の高校生と若手建設従事者との意見交換会 県内の若年建設従事者確保・育成のために実施。	9月	○							30名				
(一社)徳島県建設業協会	現場見学会	○現場見学会 & 体験セミナー 県内の土木・建築系の学科を有する高校(県内3校)の学生の、卒業後の進路選択の参考としてもらうとともに、建設業に対する関心度や建設業界への入職意欲のアップを図ることを目的に、国土交通省や徳島県と連携し現場見学会を実施。昨年度より、見る聞くだけの機会ではなく実際に作業を体験する場面を設け、3Dスキャナやマンガンダイナミクスなどi-Constructionに対応した重機操縦体験などを提供している。 ○現場体験セミナー 実際の建設現場で検査や測量の作業を体験してもらうことで、建設業への関心度や建設業界への入職意欲のアップを図ることを目的に、県内の土木系の学科を有する高校(1校を対象)の学生を対象に現場体験セミナーを開催している。近年は、鉄筋の結束などアナログな体験に加えICT技術を活用した測量や重機の体験を実施している。	11月	○							徳島科学技術高校2年 環境土木コース 建築コース つるぎ高校2年 土木コース 建築コース 阿南光高校2年 都市環境システム科 100名			
			11月	○							①徳島科学技術高校1年(2年生から環境土木コースに進む生徒) 30名			
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○小学校への出前講座(ドローン操縦体験の提供) 徳島県との連携により、県内小学校に Outreach、日々の暮らしを支え、生活を便利で快適にし、台風や地震・津波などの災害から命と財産を守る「建設の仕事」と、南海トラフ巨大地震などに対する「防災」について説明する出前講座を実施しており、協会としてはドローンの操縦体験を提供している。 ○中学校への出前講座(建設業に関する講演、意見交換) 中学生や高校生の職業選択の参考としてもらうことを目的とし、建設業で働く技術者や女性からの講演により、建設業の仕事、役割、防災対応、女性活躍、ICT技術の進展など、現在は男性女性問わず、建設業を選んでもらえるよう若い人にも魅力がある仕事になってきていることをPRしている。	9~2月						○		昭和小4年生、藍畑小4年生、藍住西小6年生 屋間小6年生、浦庄小5年生、高志小3年生 高越小3年生、日和佐小6年生 300名			
			9~2月						○		鷺敷中1年生、不動中1、2年生、池田中1、2年生 阿南光高1年生、小松島中1年生 300名			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援	○建設業経理事務士特別研修 建設業経理事務士の資格取得支援による建設業への入職促進を目的とし、県内土木コースなどを有する高校の生徒を対象とした「高校生建設業経理事務士特別研修」を実施している。	7月	○							50名			
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会													
教諭との意見交換会														
その他														

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先	
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭				
(一社)愛媛県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした工事現場見学会 ※建設業界ガイドブックを配布。	10~2月	○							①西条農業高校環境工学科2年生9名、先生3名 ②東予高校建設工学科2年生14名、先生2名 ③松山工業高校土木科2年生38名、先生3名 ④松山工業高校建築科2年生40名、先生2名 ⑤松山聖陵高校建築科2年生40名、先生2名 ⑥伊予農業高校環境開発科1年生26名、先生2名 ⑦八幡浜工業高校機械土木工学科2年生14名、先生2名 ⑧吉田高校機械建築工学科1年生23名、先生2名	愛媛県建設業協会 URL: https://www.himekenkyo.or.jp/ マルゴトひめ建URL: https://www.himekenkyo.or.jp/construction/	089-943-5324	
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生を対象としたインターンシップ	8~1月	○							①西条農業高校環境工学科2年生9名 ②東予高校建設工学科2年生(人数不明) ③松山工業高校土木科2年生31名 ④松山工業高校建築科2年生33名 ⑤八幡浜工業高校機械土木工学科2年生3名 ⑥吉田高校機械建築工学科1年生(人数不明)			
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設産業魅力発信動画配信 将来の進学や職業選択の一助となるよう建設産業の魅力や役割をPRするためYouTube等のSNSを活用し、広く広報することにより建設業への入職促進を図る。	11月	○	○	○	○	○	○	○				
		○建設産業魅力発信新聞配布(ひめ建新聞) 県内公立中学校1・2年生を対象に、建設産業の魅力や役割をPRするひめ建新聞を発行・配布し、建設業への入職意欲の喚起、イメージアップを図る。 ○愛媛県建設業協会PRIにおける愛媛新聞広告 建設業界の活動をPRし、イメージアップを図るため、愛媛新聞紙面1面に広告を掲載。	11月	○	○	○	○	○	○	○				
	資格取得支援	○4級・3級建設業経理事務士特別研修	7月(4級) 12月(3級)	○							松山工業高校建築科1年生40名、2年生1~2名			
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○えひめ産業まつり「すごいもの博」への展示 建設機械操作体験や大型重機展示を行うとともに、ひめ建新聞や建設業ガイドブック等を配布。建設産業の重要性や魅力を広く県民にPRし、イメージアップを図る。	11月	○	○	○	○	○	○	○				
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会													
その他														
(一社)高知県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会(事業名「建設バス」)	11~12月	○							安芸高校、高知農業高校、高知工業高校、宿毛工業高校、高知高専 約150名	https://www.kokenkyo.or.jp/	088-822-6181	
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生を対象とした現場実習	11~12月	○							安芸高校、高知農業高校、高知工業高校、宿毛工業高校 約50名			
	出前講座・講習会	○出前授業、1日現場体験(実施主体は協会各支部) ドローンや重機の操作体験、座学など。高知県土木部と協力して実施。	通年	○			○	○			500名			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○企業情報誌 会員企業の求人情報等を掲載した企業情報誌を作成し、県内の高校へ配布。	3月発送、4月に新3年生見てもらおう											配布部数1000部 掲載企業60社程度
		○テレビCM、ラジオCM、YouTube広告 15秒CM。内容は担い手確保に繋がるもの。	通年	○					○	○				
		○テレビ番組の作成放送(年6回) 「かつお&さおりの建設あれこれ!」各回15分番組 6月30日(日)午後5時~5時15分 テーマ:「道路啓蒙」 7月28日(日)午後5時~5時15分 テーマ:「建設ディレクター」 8月25日(日)午後5時~5時15分 テーマ:「人材の育成」 9月29日(日)午後5時~5時15分 テーマ:「地域を守る建設業」 10月、11月 残り2回を予定	6~11月	○	○	○	○	○	○	○	RKC高知放送 高知県内に放送			
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○けんせつの絵コンテスト 建設に因んだ絵を出店してもらいコンテスト形式により実施。知事賞等の各賞を用意し、下記建設フェスタにおいて表彰式を実施。 ○こうち建設フェスタ(高校生クイズ大会、高校生バンド出場、高校のブース出展など) 建設業の役割や魅力を発信し担い手確保や建設業への理解を促す。重機、ドローンの操縦体験や、様々な出展ブースとステージイベントを実施。	5~10月 11月							○	200作品(小学校、保育幼稚園児) 来場者5,000名			
	産官学連携の協議会													
教諭との意見交換会	○高校土木教育研究協議会 高校の土木教員同士の意見交換会へ建設業協会も参加。授業内容や就職進路状況の情報交換と、協会との意見交換会を実施。	2月							○	安芸高校、高知農業高校、高知工業高校、宿毛工業高校の教員30名程度(当日出席者は半分くらい)				
その他	○リクルートページの運用 会員企業の求人関連情報を掲載したホームページ。		○	○	○				○	約60社掲載				
(一社)福岡県建設業協会	現場見学会	○工業高校や工業科がある高等学校を対象とした現場見学会	9月20日	○							大川樟風高等学校 住環境システム科 2年生26名	https://fukukenkyo.org/	092-477-6731	
		○工業高校や工業科がある高等学校を対象とした現場見学会	10月10日	○							大牟田高等学校 土木科 2年生37名			
		○工業高校や工業科がある高等学校を対象とした現場見学会	11月12日	○							大牟田高等学校 建築科2年生 26名			
		○工業高校や工業科がある高等学校を対象とした現場見学会	12月5日	○							福岡工業高等学校 建築科 1年生			
		○工業高校や工業科がある高等学校を対象とした現場見学会	未定	○							福岡工業高等学校 建築科 2年生			
		○工業高校や工業科がある高等学校を対象とした現場見学会	11月19日	○							浮羽工業高等学校 建築科 1年生			
		○工業高校や工業科がある高等学校を対象とした現場見学会	未定	○							浮羽工業高等学校 建築科 2年生			
		○工業高校や工業科がある高等学校を対象とした現場見学会												
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会													
広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○広報誌『ひとまちふくおか』作成 イメージアップの目的を兼ね、公民館等へも配布。 ○建設業ガイドブックの贈呈	7月・11月 2月 4月	○	○	○					14,000部×3回 14高校690冊				
資格取得支援														
合同企業説明会														
イベント開催・参加														
産官学連携の協議会														
教諭との意見交換会														
その他														
(一社)佐賀県建設業協会	現場見学会	○夏休み親子見学会 夏休みに県内在住の親子(主に小学生)を対象に、九州佐賀国際空港と嘉瀬川ダムのパックヤード見学会を実施。	8月						○	○	30名	https://sakenkyo.or.jp/	0952-23-3117	
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○小中学校への出前講座 県内小中学校で希望のあった学校に対し、座学と重機の試乗体験を組み合わせた出前授業を実施。	6~12月					○	○	○	約850名			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業界ガイドブックの配布 県内工業系高校に配布。	通年	○				○	○	○				
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○夏休み親子防災教室 夏休みに県内在住の親子(主に小学生)を対象に、防災に対する注意喚起と防災食体験を実施。 ○女子工業高校生と女性技術者との意見交換会 県内の女子工業高校生と女性技術者(協会・佐賀県)との意見交換会を実施。	8月 12月						○	○	30名 80名			
産官学連携の協議会														
教諭との意見交換会	○工業系高校進路指導教諭等との懇談会	8月							○	20名				
その他														

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先		
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭					
(一社)長崎県建設業協会	現場見学会	○女性のための建設業体験学習 主にこれからの担い手になるかもしれない女子高校生を対象として、女性(県職員・建設業・設計コンサル)が活躍している建設現場の見学会を実施。	9月	○								・長崎工業高校1年生8名、3年生2名 ・諫早農業高校1年生6名 ・大村工業高校1年生1名	https://www.ngsk-kenkyou.or.jp/	095-826-2285	
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生のインターンシップ 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	10~12月	○								・大村工業高校 建設工業科2年生38名 ・佐世保工業高校 土木科2年生40名 ・鹿町工業高校 土木技術科2年生28名 ・諫早農業高校 農業土木科2年生40名			
	出前講座・講習会	○工業高校への出前講座(ICT測量機器を用いた実習) ○工業高校への出前講座(DX・ドローン実習) ○工業高校への出前講座(施工図実習)	5月 11月 8~2月	○ ○ ○								・長崎工業高校3年生40名 ・長崎工業高校1年生40名 ・長崎工業高校2年生39名			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業界ガイドブックの工業高校への贈呈 ○建設産業の魅力に関するYouTube動画の配信 主に高校生等の若年者、その保護者を対象に建設業界への入職促進に資する動画を制作しYouTubeにて配信。 ○学生向け就活情報誌「長崎新聞NR」への記事掲載 長崎新聞が毎月初日に発行している高校生・大学生向け就活情報誌「NR」に会員企業のPR記事を掲載。	5月 4月~3月 9月~1月	○ ○ ○	・県内大学・専門学校5校・県内高校44校 -										
		○業界PR冊子「今こそ！建設業」の作成・配布 建設業の魅力や社会的な役割、建設業で働く方(技術者・技能者)のインタビュー記事等を掲載した業界PR冊子を作成し、大学・高校等へ配布するほか、県内の職業安定所へ設置。 ○会員企業の紹介冊子「建設会社ガイド」の作成・配布 会員企業PRのための冊子の作成・配布。	12月 2月	○ ○			・県内大学・専門学校5校・県外大学7校 ・県内高校46校 ・県内職業安定所								
		資格取得支援	○建設業経理事務士特別研修 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	未定	○										未定
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加	○土木の日イベント 小中学生・高校生とその保護者等に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを県内各地で開催。	11月	○	○	○	○	○	○	○	○	-			
	産官学連携の協議会	○産官学連携建設業人材確保育成協議会 国・県・大学・工業高校・専門工業団体等と県内雇用動向や人材確保・育成に係る情報共有・意見交換を実施。	8月									○			九地整長崎河川国道事務所、長崎県土木部、長崎県財務部、長崎大学、長崎総合科学大学、長崎工業高校、大村工業高校、建設技術研究センター、長崎労働局、専門工業団体等
	教諭との意見交換会	○工業高校教諭との意見交換会 工業高校の教諭を集めて意見交換会を開催し、建設業の魅力や役割について生徒にどのように指導するか、就職についてなどの情報共有を行った。	12月									○			未定
その他															
(一社)熊本県建設業協会	現場見学会	○高校生(普通高校含む)を対象とした現場見学会 施行中の現場の見学会を行い、実際に働いている技術者・技能者を見てもらう。	10~12月	○								工業系・普通高校1年約300名	https://kumaken.or.jp/public/index/141/	096-366-5111	
	インターンシップ(職業体験学習)	○高校生のインターンシップ 就職活動前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。 ○中学生向けオープンキャンパスへの支援 工業系高校のオープンキャンパスにパンフレットとノベルティの提供。	10~12月 7~8月	○ ○								工業系高校2年約200名 パンフレット・ノベルティ3000部提供			
	出前講座・講習会	○高校への出前授業 建設産業の魅力を説明。	7月	○								農業土木系高校約30名			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業ガイドブック・ノベルティ・トートバックの配布 ○SNSを活用した広報の実施 公式Instagramの開始 ○建設産業及び工事車輛の紹介動画の制作	通年	○ ○ ○											
		資格取得支援	○2級技士補受検費用補助(土木・建築) 工業系高校在学者対象に受験費用の内2,000円を補助。	通年	○										県内工業系高校2・3年
		合同企業説明会													
	イベント開催・参加														
	産官学連携の協議会														
	教諭との意見交換会	○工業系高校教諭との意見交換会	11月									○			
	その他	○熊本建設業団体連合会と熊本県高等学校教育研究工業部会との建設関連産業の専門教育に関する協定 ○熊本建設業団体連合会と熊本県高等学校教育研究農業部会との建設関連産業の専門教育に関する協定	10月												
(一社)大分県建設業協会	現場見学会	○高校生向け現場体験学習会(県委託) 県からの委託事業で、県内建設系学科の工業高校生を対象に毎年実施。	9~12月	○								5校6クラス 1年生250名程度	https://www.oitakenkyo.or.jp/index.html	097-536-4800	
	インターンシップ(職業体験学習)	○大分工業高校建築科を対象としたインターンシップ(毎年実施) ○鶴崎工業高校建築科を対象としたインターンシップ(毎年実施)	10月 9月	○ ○								2年生40名 2年生40名			
	出前講座・講習会														
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)														
	資格取得支援														
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加	○第4回土木建築フェスタin大分駅前【青年部会】 右記3者共催で毎年秋に大分駅前で開催する体験イベントを実施。 ○おおい建設人材共育ネットワーク(BUILD OITA) H28年度設立の産官学連携組織。現在38団体で組織し各種出前講座やイベント等の事業を協働で実施。	10月26日 通年									○ ○ ○ ○ ○ ○			国土交通省大分河川国道事務所、大分県土木建築部、建設業協会青年部会【R5実績:3,467名】
	産官学連携の協議会														
	教諭との意見交換会														
	その他														
(一社)宮崎県建設業協会	現場見学会	○工業系高校生を対象とした現場見学会 生徒、教諭に建設工事を見学してもらい、建設業への理解や興味・関心を高める機会とする。 ○工業系以外的高校生を対象とした現場見学会 生徒、教諭に建設工事を見学してもらい、建設業への理解や興味・関心を高める機会とする。	7~10月 9~1月	○ ○								1年生 30名、2年生 120名 2年生 230名	http://www.miyazaki-kenkyo.or.jp/	0985-22-7171	
	インターンシップ(職業体験学習)	○工業系高校生のインターンシップ 就業体験による建設業の魅力を体感する。	10~12月	○								2年生 150名			
	出前講座・講習会	○工業系高校生を対象とした出前講座 企業の代表者による講話を通じ、建設業について理解する。 ○工業系以外的高校生を対象とした出前講座 企業の代表者による講話を通じ、建設業について理解する。	9~10月 9~1月	○ ○											1年生 30名 2年生 120名 2年生 230名
		広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○テレビCM 視覚を通じた建設業のPR及びイメージ戦略。	4~3月	○	○	○	○	○	○	○	○			
	資格取得支援														
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加	○みやざき建設技術フェア 建設業の魅力を広く発信し、人材確保に繋げる。 ○保護者を対象にした説明会	11月 4~3月	○ ○											7,000名 17名
		○工業系高校生を対象とした「教えて先輩」の開催 生徒と若手技術者等との交流を通じ、建設業の魅力を伝え県内建設業への就職に繋げる。 ○工業系高校生を対象とした「教えて先輩」の開催 卒業生による講話、ドローン操縦体験、建設機械VR体験、レンガ橋作成体験を通じ、建設業への関心を高める。	9~10月 12月	○ ○											1年生 40名 2年生 40名 1年生 40名
		○各支部による魅力発信事業 各地区協会青年部が小中高校において出前講座や共同作業を実施し、建設業のPRを実施。 ○工業系高校生を対象にした「建設業職業体験会」の開催 測量、塗装、コンクリート橋構成の取り付け、ドローン操縦等の他県を通じ、建設業の仕事を理解する。	9~12月 11月	○ ○											約600名 1年生 16名 2年生 28名
		産官学連携の協議会	○建設業担い手確保連携協議会 担い手確保の取り組みの紹介、求人及び就職状況等建設業への人材確保・育成にむけての意見交換会。	2月											○
教諭との意見交換会															
その他	○建設業採用力向上セミナー 外部講師による建設業への採用のノウハウを学ぶ機会を提供。	12月										建設業の代表者及び採用担当者30名			

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先	
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭				
(一社)鹿児島県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会 工業系の4高校の1年生又は2年生を対象に、施工中の建設現場を見学してもらい、建設業のやりがいや魅力をPRし、将来の担い手の入職促進を図る。	10~12月	○							約180名	jinzai08.kak enkyo@bea ch.ocn.ne.jp	099-230- 0081	
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生を対象とした現場実習 工業系の4高校の就職活動前の2年生を対象に、建設現場で実習を行い、建設業のやりがいや魅力をPRし、将来の担い手の入職促進を図る。	11~12月	○							約70名			
	出前講座・講習会	○出前講座 保育所、小・中・高校や地域活動の場において、建設業を知ってもらうため、建設機械や模型等に触れ合うこと等により、建設業に理解を深めるとともに、興味を持ってもらう。	4~3月	○			○	○	○		約2,000名			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○「鹿児島県のおしごと本2024」を活用した広報活動 県内すべての小学5年生に向けて発行される教科書(副教材)「鹿児島県のおしごと本2024」に「建設(土木)技術者のおしごと」を掲載し、建設業の仕事に理解を深めてもらう。	10月						○		約15,000名			
	資格取得支援													
	合同企業説明会	○建設産業合同企業説明会 工業系の9高校(主に2年生)と1専門学校の1年生を一堂に集め、出展ブース方式により参加企業の魅力や、仕事内容、労働環境等を直接伝えることにより、地元建設業を選択肢の一つとしてもらう、将来の担い手確保を図る。	2月	○	○						約450名			
	イベント開催・参加	○就活応援キャラバン高校別企業ガイダンス 工業系の10高校の主に3年生を対象に、企業(88社)の採用担当者等が各高校を訪問し(延べ354社)、質疑応答方式により参加企業の魅力や、仕事内容、労働環境等を直接伝えることにより、参加企業の採用活動を円滑にし、将来の担い手確保を図る。	2月	○							567名			
		○若手経営者と語る会の実施 工業系の1高校の2年生を対象に、若手経営者から建設業の社会的使命や現状を伝えるとともに、質疑応答を行い建設業への理解を深め将来の担い手確保を図る。	9月	○							80名			
産官学連携の協議会 教諭との意見交換会 その他	○若手技術者との交流会等の実施 工業系の1高校の2年生を対象に、現場で活躍する女性技術者から建設産業の魅力や現状を伝えるとともに、質疑応答を行ない、建設業への理解を深め将来の担い手確保を図る。	9月	○							80名				
(一社)沖縄県建設業協会	現場見学会	○現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技術者・技能者の仕事を見てもらい、建設業へ入職の啓発を行う。	7~12月	○							沖縄工業高校建築82名、南部工業高校43名 名護商工高校57名、沖縄工業高校土木67名 浦添工業高校1年66名、浦添工業高校2年66名 美里工業高校74名、美来工科高校51名	http://www. .okikenkyo. or.jp/	098-876- 5211	
		○現場見学会レポートの作成、配布 現場見学会に参加した学生と学生から建設業に対する意識調査のアンケートを実施し集計。建設業界に対する理解と認識を深めてもらう。	7~3月	○						○				
	インターンシップ (職業体験学習)	○現場実習の実施(インターンシップ) 入職後のギャップを無くし離職率を下げるよう、実際の職場を体験している。	6~11月	○							・美来工科高校3名			
	出前講座・講習会	○加工技術等の体験会 技術者等による学校内での指導を行うことにより、現場に即した技術の習得を目指す。(鉄筋型枠実習)	6~1月	○							・美里工業高校36名			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○会報誌の発行 県内建設業界の動向を紹介すると共に、高校生が働くイメージを持てるよう、先輩からのメッセージ記事を掲載。	1~12月	○										
		○フォトコンテスト写真集の作成 広く一般にも建設業の持つ魅力を啓発するフォトコンテストを実施し、広報するための写真集を発刊。	2月	○						○	○			
	資格取得支援	○2級土木・建築施工管理技士(一次)基本講座開催 放課後に学校の教室で講座を開き資格取得に向けて取り組んだ。受講料の補助も行う。	6月、11月	○										沖縄工業高校21名、浦添工業高校14名、 名護商工高校15名
		○経理事務士(3・4級)特別研修 夏休み期間に特別研修を開催し、資格取得に向けて取り組んだ。受講料の補助も行う。	7~8月	○										【4級】 沖縄工業高校土木11名、沖縄工業高校建築13名 名護商工高校3名、浦添工業高校4名 美里工業高校3名、南部工業高校3名 【3級】 沖縄工業高校土木10名、沖縄工業高校建築13名 名護商工高校4名、浦添工業高校3名 美里工業高校2名
		○小型車両系特別教育 夏休み期間に特別教育を開催し、資格取得に向けて取り組んだ。受講料の補助も行う。	7~8月	○										沖縄工業高校建築17名、沖縄工業高校土木21名 南部工業高校13名、名護商工高校13名 浦添工業高校2名、美里工業高校6名 美来工科高校9名、宮古総合実業13人 八重山商工9名
	合同企業説明会	○建設産業合同企業説明会 産学官と連携し、県内建設関連企業合同で企業説明会を行うことにより、企業担当者より直接会社説明を聞くことで就職を促す。	6月	○	○						950名			
	イベント開催・参加	○おきなわ建設フェスタへの参画 建設業の魅力や役割を、体験イベントやパネル展示などを通して、伝え将来の建設業への入職へ繋げる。	11月						○	○				
	産官学連携の協議会	○雇用改善事業推進委員会 雇用改善事業実施についての計画の策定、効果的な事業の為に必要な事項の検討・検証する会議の開催。	10月、2月							○				沖縄労働局2名、沖縄県5名、教諭2名、関係団体 2名、沖建協14名
○地域別産学官との意見交換会 各地域において、産学官と連携し、事業実施に必要な事業の策定・効果を検証する会議の開催。		8月	○		○	○	○	○	○	○	5会場/70名(参加機関)沖縄公共職業安定所、教 諭、関連団体、沖建協			
教諭との意見交換会	○工業高校教諭との意見交換会 県内の工業高校教諭へ当年の雇用改善事業について実施の連絡と意見交換する場としている。	4月							○	沖縄工業高校建築、沖縄工業高校土木、浦添工 業高校、南部工業高校、名護商工高校、美里工業 高校、美来工科高校				
その他	○人材確保・育成に係る教育機関との連携 社員として外部訓練期間(東海工業専門学校)において、2年間の教育訓練を受け人材育成を図る。		○											

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注: 下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先	
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭				
(一社)日本建設業連合会	現場見学会	○けんせつ探検隊 小中学生の親子を対象とした現場見学会を実施。	7~11月				○	○	○		398名(9/24現在)	https://www.nikkenren.com/	03-3553-4095	
		○オンライン現場見学会 Sight of Site 岡谷高架橋改良工事 オンラインを通じて、「岡谷高架橋」のリニューアル工事の様子を紹介。告知用ポスターを国立高等専門学校に800部送付。	10月	○	○	○			○	○	約300名を想定			
		○市民現場見学会 一般市民や学生を対象にした現場見学会を実施。	4~3月	○	○	○	○	○	○	○	未定			
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○日建協・出前講座	10~1月			○					○			未定
		○土木工学系の大学生を対象とした出前講座	6~1月			○					○			未定
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○日建連表彰・PR動画作成 世間一般の人々、特に若年層(高校生など)へ向けた、建設に関連したショートドラマ制作し、YouTubeへ掲載。	11月	○	○	○								
		○ACe建設業界(広報誌) 建設業の旬の話題や日建連の活動報告、有識者からの意見・提言などの他を掲載。	毎月	○	○	○				○	○			約19,500部発行
		○YouTube/Instagram けんせつ小町チャンネル 建設業に関心がある女性に向けて建設現場の技術者・技能者の動画を作成等。	随時	○	○	○	○	○	○	○	○			-
	資格取得支援	○建設スキルアップサポート制度 高校等在学中の技能・技術資格取得に要した受験料・受講料の半額をキャッシュバック(総額10,000円を限度)。	通年	○	○	○	○							未定
合同企業説明会														
イベント開催・参加														
産官学連携の協議会														
教諭との意見交換会														
その他	○「建設現場実装プロジェクト」への協力	5月		○						○	未定			
(一社)全国建設業協会	現場見学会													
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設学習帳 本会並びに各都道府県建設業協会が主催・参加するイベント等で配布。8年間で50万冊を配布。	7月~						○		年間5万冊			
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会													
(一社)日本建設業経営協会	現場見学会	○現場見学会 建築学科在籍の大学生を対象に集合住宅の現場見学会を実施。	6月			○					32名			
	現場見学会	○施工系研修所見学会 建築学科在籍の大学生を対象に協会会員会社の施工系研修所の見学会を実施。	7月			○					7名			
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○コンクリートひび割れ対策 大学講義の2コマ分を担当。講義内容はコンクリートひび割れのメカニズムと意匠・構造・材料施工面での対策。				○								
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○建設技術フォーラム 「建設現場での改善事例の発表」、「協会会員会社における業務改善に関する講演」を大学建築学科と共催。学部生/大学院生も聴講。	11月			○					100名			
産官学連携の協議会														
教諭との意見交換会	○大学教員(建築技術系)との意見交換 大学の教育・研究、人材育成の方針、協会会員会社での人材育成に関する意見交換会を実施。	9月							○	15名				
その他														
(一社)日本道路建設業協会	現場見学会	○現場見学会 施工中の現場見学会を行い、現場技術者や技能者の仕事を見てもらう。	随時	○	○	○	○	○			30名程度			
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○出前講座 道路インフラの重要性、道路舗装業界の役割と仕事内容、社会への貢献などをわかりやすく、楽しく学んでもらう。		○	○	○	○	○			20名程度			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○リクルート誌(道路で未来を描く仕事)の教育機関への配布	6月	○	○	○					・高校:282校 ・高専:62校 ・大学:160校			
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会													
(一社)日本埋立浚渫協会	現場見学会	○うみの現場見学会 社会の皆様には港湾整備の重要性や港湾土木技術などへの理解を深めてもらうことを目的とした現場見学会を「茨城港常陸那珂港区外港地区東防波堤築造工事」で実施。	8月			○					【茨城大学】学部生10名 大学院生10名 教授等3名			
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○情報誌(マリンボイス21)の配布 海洋土木等に関わる内容を掲載し、広く一般に周知。	年4回		○	○				○	大学・高専等 約200箇所			
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会													
教諭との意見交換会														
その他														

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先		
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭					
(一社)日本型枠工事業協会 (http://nihonkatawaku.or.jp/)	現場見学会	○高校生現場見学会【日本型枠北海道支部(北海道型枠工事業協同組合)】 専門工事業4団体(とび・鉄筋・型枠・左官)の職業体験。工事現場内に、4団体それぞれのブースを用意され、型枠は、柱2本と梁のモックアップを設置し、型枠の取付取り外しの体験を行う。	7月18日	○							札幌工業高校建築科2年生 79名 教諭 8名		011-867-0737		
	インターンシップ(職業体験学習)														
	出前講座・講習会	○出張お仕事体験会【日本型枠北海道支部(北海道型枠工事業協同組合)】 専門工事業7~8団体の職業体験。型枠は、柱2本と梁、簡易型のモックアップを設置し、型枠の取付取り外し体験を行う。	11月21~22日				○					札幌市内中学校5校 686名		011-867-0737	
		○福島県立テクノアカデミー郡山校における職業訓練講習【日本型枠工事業協会福島支部(福島県型枠工事業協会)】 型枠の内容及び型枠技能検定に関する講義。	9月19~20日			○						福島県立テクノアカデミー郡山校1年生 16名		024-942-4401	
		○福島県刑務所建築・土木コース職業訓練【日本型枠工事業協会福島支部(福島県型枠工事業協会)】 型枠の内容及び型枠技能検定に関する講義。	3月4~7日			○						福島県刑務所受刑者7名			
		○ものづくり大学建設学科躯体施工実技研修非常勤講師【日本型枠工事業協会埼玉支部(埼玉県型枠工事業協会)】	10~2月			○						ものづくり大学1年、2年	https://www.katawaku-daiku.jp/	048-862-9258	
		○埼玉県立工業高等学校建設科実技実習講師【日本型枠工事業協会埼玉支部(埼玉県型枠工事業協会)】	10~2月			○						埼玉県立工業高等学校3年			
		○日本大学理工学部建築学科による型枠・鉄筋組立実習「コンストラクションワークショップ」に対する指導支援【日本型枠工事業協会東京支部(東京建設工業協同組合)】	8月6~8日			○						日本大学理工学部建築学科3年、4年 36名			
	○中央工学校施工管理実習(基礎躯体)の教育指導支援【日本型枠工事業協会東京支部(東京建設工業協同組合)機渡部工務店】	8月26~30日			○						中央工学校建築工学科3年、4年 39名		03-6435-6208		
	○東京都立蔵前工科高等学校業界研究会での型枠工事の紹介【東京建設工業協同組合機星工務店】	3月4~7日、19日			○						東京都立蔵前工科高等学校高校生20名				
広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)															
資格取得支援															
合同企業説明会															
イベント開催・参加	○第20回技能フェスティバル【日本型枠北海道支部(北海道型枠工事業協同組合)】 札幌協会会員15団体の職業体験。型枠は柱2本と梁、簡易型モックアップを設置し、型枠の取付取り外しを体験を行う。	8月4日				○	○	○			主に札幌市内 小中学生 来場者数520名		011-867-0737		
	○2024年技能五輪リヨン国際大会【日本型枠工事業協会埼玉支部(埼玉県型枠工事業協会)】 ・学生応援プロジェクト支援協力 ・建設コンクリート施工エキスパートとして参画	5月9月11日			○						建設コンクリート選手団3名	https://www.katawaku-daiku.jp/	048-862-9258		
産官学連携の協議会															
教諭との意見交換会															
その他															
(一社)建設産業専門団体連合会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会【(一社)建設産業専門団体北海道地区連合会】 高校生を対象に、建設業界の魅力を発信するためのPRイベント・体験学習会を開催(左官・鉄筋・型枠・高土工)。	7月19日	○							札幌工業高校建築科2年生79名				
	インターンシップ(職業体験学習)														
	出前講座・講習会	○高校への出前講座【(一社)建設産業専門団体四国地区連合会(武田建設機)】 鉄筋組立2級程度の組立体験を実施。	7月	○							○	多度津高校1.2年生14名 教諭1名			
		○就職活動前の生徒を対象に鉄筋工事に関する事前説明及び体験会の実施【(一社)建設産業専門団体四国地区連合会(武田建設機)】	11月予定	○								○	寒川高校1.2年生15名 教諭1名		
		○高校への出前講座【(一社)建設産業専門団体四国地区連合会(武田建設機)】 鉄筋組立2級程度の組立体験を実施。	12月予定	○								○	高松工芸高校1.2年生15名 教諭1名		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)														
	資格取得支援														
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加	○ジモトのシゴト ワク! WROK!【(一社)建設産業専門団体北海道地区連合会】 高校生に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベント・体験学習会を開催(左官・高土工・管工事)。	9月17~18日	○								札幌近郊高校1.2年生5,500名	https://www.kensenren.or.jp/		
		○「建設産業ふれあい展」【(一社)建設産業専門団体北海道地区連合会】 老若男女に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベント・体験学習会を開催(高土工・内装・防水・管工事)。 ○合同体験フェア【(一社)建設産業専門団体中部地区連合会】 建設業の担い手確保のイベントであり、高校、専門校の生徒を対象に建設専門工事業の実習体験を通じて建設業の魅力を伝え、若者の建設業界への入職促進を目的として開催。	1月8~9日 5月9月予定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○			5月:5校 305名 9月:8校 236名			
産官学連携の協議会															
教諭との意見交換会	○工業高校教諭との懇談会【(一社)建設産業専門団体中部地区連合会】 合同体験フェアに参加した教諭との懇談会を開催し、進路指導における合同体験フェアの位置づけ、進路指導支援における要望等について意見交換を実施。	5月9月予定								○	5月:教諭5名 9月:教諭3名				
その他	○アンケートの実施【(一社)建設産業専門団体中部地区連合会】 合同体験フェアに参加した生徒及び教諭を対象に実施。就業意識の変化、建設業のやってみたい仕事、合同体験フェアへの要望等の調査を行い、アンケート結果を関係団体にフィードバック。	5月9月予定	○							○	5月:生徒260名、教諭 14名 9月:予定				
(一社)日本造園建設業協会	現場見学会														
	インターンシップ(職業体験学習)														
	出前講座・講習会	○専門学校への出前講座 女性活躍推進部会長が冊子の「造園建設業の仕事入門」をアレンジしたパワポを使い、県内の名所や花のクイズを交えて造園について講義を行い、部会員も交えてディスカッションを実施。	6月			○						○	仙台高等専門学校		
		○高校への出前講座 女性活躍推進部会長が冊子の「造園建設業の仕事入門」をアレンジしたパワポを使い、県内の名所や花のクイズを交えて造園について講義を行い、部会員も交えてディスカッションを実施。	7月			○						○	富山県立中央農業高校		
		○高校への出前講座 女性活躍推進部会長が冊子の「造園建設業の仕事入門」をアレンジしたパワポを使い、県内の名所や花のクイズを交えて造園について講義を行い、部会員も交えてディスカッションを行なう。	11月			○						○	福島県立明成高校		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)														
	資格取得支援														
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加	○全国造園デザインコンクール 造園のデザインと製図技術の向上を図るため造園家を目指す学生などを対象とした造園デザインのコンテストを開催。 ・表彰式を2月に開催 ・文部科学省、国土交通省にも後援していただいております、審査委員としてご協力いただいております	1~2月	○	○	○					○	○	表彰式参加		
		産官学連携の協議会													
教諭との意見交換会	○農業高校教諭との意見交換会 上記デザインコンクール受賞校に出向き、入賞者に賞状を授与し、教諭と意見交換を実施。														
その他															

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先	
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭				
(公社)全国鉄筋工業協会	現場見学会	○高校生の現場見学会【山口県鉄筋工業協同組合】 山口県建設協会主催の現場見学会にて、専門工事業の鉄筋を紹介。	5~9月	○	○								0836-67-0303	
	インターンシップ(職業体験学習)	○東神楽中学校職業体験【北海道鉄筋業協同組合】	9月				○				東神楽中学校2年生 5名	https://hokkaidotekkin.wixsite.com/index	011-642-6551	
		○インターンシップ協議会【山口県鉄筋工業協同組合】 大学生に向けたインターンシップ協議会に賛同している県内企業の紹介事業。受け入れ。	随時			○							0836-67-0303	
	出前講座・講習会	○留萌高等学校への出前授業【北海道鉄筋業協同組合】	10月	○							留萌高等学校建築科 5名	https://hokkaidotekkin.wixsite.com/index	011-642-6551	
		○東聖小学校への出前授業【北海道鉄筋業協同組合】	1月				○				東聖小学校6年生 50名			
		○帯広工業高校への出前講習【北海道鉄筋業協同組合】	11月	○							帯広工業高校2年生 40名			
		○出前講座【東京都鉄筋業協同組合】 柱3本に梁を渡し壁を組む鉄筋を組み立てる実習。	4月19日	○								墨田工科高校3年 6名		
		○出前講座【東京都鉄筋業協同組合】 柱3本に梁を渡し壁を組む鉄筋を組み立てる実習。	6月7日	○								墨田工科高校3年 5名		
		○出前講座【東京都鉄筋業協同組合】 柱3本に梁を渡し壁を組む鉄筋を組み立てる実習。	6月28日	○								墨田工科高校3年 5名		
		○出前講座【東京都鉄筋業協同組合】 柱3本に梁を渡し壁を組む鉄筋を組み立てる実習。	7月12日	○								田無工科高校1年 63名		
		○出前講座【東京都鉄筋業協同組合】 3級鉄筋組立て実習。	7月19日	○								中央工学校 39名		
		○コンストラクションワークショップ【東京都鉄筋業協同組合】 ベース・柱・梁の鉄筋組立て実習。	8月7日			○						日本大学理工学部3年 22名		
		○施工管理実習【東京都鉄筋業協同組合】 基礎躯体:ベース及び柱に梁を渡す鉄筋を組み立てる実習。	8月26日~30日		○							中央工学校 39名		
		○出前講座【東京都鉄筋業協同組合】 柱3本に梁を渡し壁を組む鉄筋を組み立てる実習。	9月17日	○								総合工科高校2年 7名		
		○施工管理実習・特別選択(基礎)【東京都鉄筋業協同組合】	9月17日~19日		○							中央工学校 16名	https://www.toutetu.jp/	03-3861-0527
		○総合建設実習【東京都鉄筋業協同組合】	9月23日~24日		○							中央工学校 22名		
		○総合建設実習【東京都鉄筋業協同組合】	9月30日~10月1日		○							中央工学校 51名		
		○出前講座【東京都鉄筋業協同組合】 柱3本に梁を渡し壁を組む鉄筋を組み立てる実習。	10月22日	○								総合工科高校2年 7名		
		○総合建設実習【東京都鉄筋業協同組合】	11月4日		○							中央工学校 19名		
		○総合建設実習【東京都鉄筋業協同組合】	11月25日~26日		○							中央工学校 30名		
		○出前講座【東京都鉄筋業協同組合】 柱3本に梁を渡し壁を組む鉄筋を組み立てる実習。	11月26日	○								総合工科高校2年 7名		
		○総合建設実習【東京都鉄筋業協同組合】	12月2~3日		○							中央工学校 32名		
		○総合建設実習【東京都鉄筋業協同組合】	12月16~17日		○							中央工学校 32名		
	○出前講座【東京都鉄筋業協同組合】 柱3本に梁を渡し壁を組む鉄筋を組み立てる実習。	12~1月予定	○								蔵前工科高校			
	○職業能力開発総合大学校【協同組合東京鉄筋工業協会】 鉄筋の組立施工と配筋検査。	9月							○		指導員4名			
	○職業能力開発総合大学校【協同組合東京鉄筋工業協会】 鉄筋組立て加工、配筋検査。	10月			○						大学生3年生 20名	https://www.tokukyo.com/	03-6709-9411	
	○職業能力開発総合大学校【協同組合東京鉄筋工業協会】 鉄筋継手ガス圧接、機械式継手作業。	12月			○						大学生3年生 20名			
	○埼玉県立熊谷工業高等学校【協同組合東京鉄筋工業協会】 鉄筋組立て(座学)、技能検定鉄筋施工3級の組立て実技試験課題に挑戦。	1月	○								高校2年生 40名			
	○埼玉県立大宮工業高等学校【協同組合東京鉄筋工業協会】 鉄筋組立て(座学)、技能検定鉄筋施工3級の組立て実技試験課題に挑戦。	2月	○								高校2年生 57名			
	○高校への出前講座【富山県鉄筋工業協同組合】 基本的な鉄筋組立の実技講習。	7月、10~12月	○								富山工業40名、桜井高校30名、高岡工芸30名		076-478-4081	
	○高校への出前講座【福井県鉄筋協同組合】 鉄筋組立の体験。	9月	○								敦賀工業高校	http://fukui-tekkin.com/	0776-36-8833	
	○工業高校向け出前講座(科学技術高校)【静岡県鉄筋業協同組合】	年3回	○								30名程度			
	○工業高校向け出前講座(掛川工業高校)【静岡県鉄筋業協同組合】	年2回	○								30名程度	sizuoka_kumiai@zentekkin.or.jp	053-435-5031	
	○工業高校向け出前講座(天竜高校)【静岡県鉄筋業協同組合】	年1回	○								5名			
	○更生保護就労支援(駿府学園)【静岡県鉄筋業協同組合】	年3回									10名程度			
	○高校等への出前講座【島根県鉄筋工業協同組合】 鉄筋を結束する等の体験。	4~6月	○								出雲工業高校3年生 40名	http://www.s-tekkin.jp/	0853-63-0764	
	○高校等への出前講座【島根県鉄筋工業協同組合】 鉄筋を結束する等の体験。	10~11月	○								松江工業高校2年生 40名			
	○高校等への出前講座【島根県鉄筋工業協同組合】 鉄筋を結束する等の体験。	10~11月			○						ポリテクカレッジ島根2年生 20名			
	○やまぐち教育応援団【山口県鉄筋工業協同組合】 県内企業が登録し、中学校、高校の職場体験や出前授業等の受け入れ。	随時	○			○							0836-67-0303	
	○高校への出前講座【香川県鉄筋業協同組合】 鉄筋組立2級程度の組立体験実施。	7月	○						○		多度津高校1.2年生 14名、教諭1名			
	○就職活動前の生徒を対象に鉄筋工事に関する事前説明及び体験会の実施【香川県鉄筋業協同組合】	11月予定	○						○		寒川高校1.2年生 15名、教諭1名		087-898-3055	
	○高校への出前講座【香川県鉄筋業協同組合】 鉄筋組立2級程度の組立体験実施。	12月予定	○						○		高松工芸高校1.2年生 15名、教諭1名			
	○工業高校への出前講座【愛媛県鉄筋業協同組合】 技能検定鉄筋施工組立3級の教材を用いた組立の体験。	6~3月(年間5回)	○								県内高校(専門科)1年生・2年生1回の開催40名を最大として年間約160名	https://www.zentekkin.jp/system/ist_dantai_0etails.php?users_id=32	089-973-4031	
	○出前講座【佐賀県鉄筋工業協同組合】	5月		○							県立産業技術学院 14名		0954-36-5480	
	○出前授業【宮崎県鉄筋業組合】 鉄筋組立体験を実施。	12月3日	○						○		宮崎工業高校建築科 40名程度	miyazaki_kumiai@zentekkin.or.jp	0986-36-0244	
	○出前講座【宮崎県鉄筋業組合】 鉄筋組立体験を実施。	2月25日	○						○		日向工業高校建築科 40名程度			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業新聞の発行【山口県鉄筋工業協同組合】 県土木課とタイアップし、県内小学校に向けた新聞の配布。	1月						○					0836-67-0303
		○建設ポータルサイト【山口県鉄筋工業協同組合】 県土木課主催の県内企業紹介のポータルサイト(WEB)を開設。動画などの撮影協力を行う。			○	○	○	○	○	○				
	資格取得支援	○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	9月4日	○										03-3861-0527
		○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	9月9日	○										
		○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	9月20日	○										
		○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	10月7日	○										
		○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	11月18日	○										
		○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	12月9日	○										
		○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	12月16日	○										
		○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	1月20日	○										
		○3級鉄筋組立て実習【東京都鉄筋業協同組合】	12~1月予定	○								葛西工科高校		
○高校への技能検定の実技・座学講習【福井県鉄筋協同組合】 生徒を対象3級技能検定の講習		1月	○								敦賀工業高校	http://fukui-tekkin.com/	0776-36-8833	
○建設業新規入職者合同研修【山口県鉄筋工業協同組合】 新入社員向けの合同研修。同時に高所作業の資格講習を行う	4月									45名		0836-67-0303		
○3級技能検定受検者への技術指導【愛媛県鉄筋業協同組合】	11~1月	○								3級受検者40名	https://www.zentekkin.jp/system/ist_dantai_0etails.php?users_id=32	089-973-4031		
合同企業説明会	○やまぐちしごとセンター主催 就職説明会【山口県鉄筋工業協同組合】 県内建設業がポリテクセンター、ハローワーク等で合同説明会を実施。												0836-67-0303	
イベント開催・参加	○ものづくり匠の技の祭典2024【東京都鉄筋業協同組合】 ものづくり体験・ものづくり実演、PR冊子「鉄筋専科」の配布。	8月3~4日	○	○	○	○	○	○	○			https://www.toutetu.jp/	03-3861-0527	
	○けんせつ×テックフェス【富山県鉄筋工業協同組合】 職人体験として基本的な鉄筋組立を体験してもらう。	9月	○	○	○	○	○	○	○				076-478-4081	
	○建設フェア【福井県鉄筋協同組合】 高校生と一般者に対し、建設業界の魅力を発信するPRイベントに参加。	9月	○								福井県内高校	http://fukui-tekkin.com/	0776-36-8833	
	○静岡建設まつり【静岡県鉄筋業協同組合】	11月						○	○		公開	sizuoka_kumiai@zentekkin.or.jp	053-435-5031	
	○第42回技能まつり【宮崎県鉄筋業組合】 鉄筋組立体験。	10月5日	○	○	○	○	○	○	○		50名程度	miyazaki_kumiai@zentekkin.or.jp	0986-36-0244	

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先	
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭				
(一社)全日本瓦工事業連盟	現場見学会													
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○専門学生にかかわる技能体験、簡単な瓦の歴史の座学講習【東京都瓦工事業組合連合会】 ○県立和歌山工業高校、瓦葺き技能体験【和歌山県屋根工事業協会】	7月5日		○						中央工学校建築科39名 40名			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○SNSでの動画配信【京都府瓦工事業協同組合】 若い世代に向け、職業としての瓦葺きの魅力や瓦屋根の良さを動画配信。	通年	○	○	○	○	○	○					
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○子供向けかわらぶき体験教室【京都府瓦工事業協同組合】 屋根に見立てた架台に実際の瓦と施工法で瓦葺きを体験していただく。 ○瓦のある風景絵画展【京都府瓦工事業協同組合】 府下公立小学校向けに開催。 ○ものづくりフェア【和歌山県屋根工事業協会】	R6.11月 R6.11月						○	○	10名程度 約300名 200名			
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会	○建築科生徒に瓦の技能体験【東京都瓦工事業組合連合会】 瓦等の伝統建築の素晴らしさを知ってもらう。 ○3級瓦葺き検定案内【和歌山県屋根工事業協会】 県立和歌山工業高校の生徒を対象に案内。	7月12日							○	葛西工科高校教諭 1名			
	その他				○									
(一社)全国地質調査業協会連合会	現場見学会													
	インターンシップ(職業体験学習)	○インターンシップの実施【東北地質調査業協会会員会社の活動】 就職活動開始前の学生を対象に体験型インターンシップを実施予定。 ○職場体験の実施【東北地質調査業協会会員会社の活動】 中学校からの依頼により土質試験、UAV撮影等の実務体験。施工中現場の見学を行い、工事内容を知ってもらう。 ○インターンシップの実施【東北地質調査業協会会員会社の活動】 弊社からの呼びかけで、地すべり現場の現地踏査、踏査結果を用いた座学を実施。 ○1日仕事体験、インターンシップ【東北地質調査業協会会員会社の活動】 就職活動開始前の大学生、高専学生を対象に就業体験を実施。 ○インターンシップの実施【石川県地質調査業協会】 大学3年生を対象に企業の体験入職を実施。 ○インターンシップの実施(2日コース・5日コース)【東北地質調査業協会会員会社の活動】 施工中現場の見学やボーリングコアからの柱状図作成体験等を実施。 ○インターンシップの実施【中国地質調査業協会広島県支部会員会社の活動】 就職活動開始前の学生を対象に、就労体験型インターンシップを実施。 ○職場体験の実施【中国地質調査業協会広島県支部会員会社の活動】 近隣の中学生からの依頼で、地質踏査、土質試験、UAV撮影等の職場体験を実施。 ○インターンシップの実施【四国地質調査業協会会員会社の活動】 大学3年生を対象に5日間の職場体験型インターンシップを年2回実施。	8~9月 平成31年度~現在 7月 8月、2月 8月 9月 8~9月 6~7月 令和2年度から実施 8月、12月		○	○	○					9名 ※一部有償 3名/年 10名 50名程度 数名/企業 4名 5~10名 5~10名 5~10名		
	出前講座・講習会	○大学、高専等への訪問説明【全国地質調査業協会連合会】 国土交通省と建設関連業3業種で構成する建設関連業イメージアップ促進協議会では、PR活動として、地質、測量、設計の3団体が大学等を訪問し、学生を対象に建設業の役割や魅力について説明。 ○工業高校への出前講座【東北地質調査業協会】 仙台市立工業高校に地質調査に関する出前講座を年2回(春:定時制、秋:全日制)実施。 ○大学、高専等への訪問説明【東北地質調査業協会会員会社の活動】 大学教授等への訪問を実施。一部、学生への業界や会社説明等を実施。 ○小学校への出前講座【東北地質調査業協会会員会社の活動】 弊社近隣小学校(6年生)を対象に、地域の地層・地歴の講座と、化石の展示、軟弱地盤のレクリエーション等を通じて、地質に興味を持ってもらう。 ○高等学校『地質調査実習授業』【新潟県地質調査業協会】 建設産業の魅力を発信する高校生向け学校キャラバンの一環として、『見えない地中を分析・診断』地質調査をテーマに、高校生にサウンドイング体験をしてもらい地質調査業の役割をアピール。 ○小学校出前授業『地盤の液状化とは?』【新潟県地質調査業協会】 実験キット「エッキー君」(ペットボトル、砂、水、マッピング)を使い、液状化の仕組みを学習する。併せて、地質調査のアニメ(全地連作成)、ボーリングコアを用いて、「地質調査の仕事」を紹介。 ○石の標本づくり【石川県地質調査業協会】 小学生を対象に石の標本づくりを通して、身近な石(岩石)に興味を持ってもらう。標本づくりは、手取川河川敷の石を岩種毎に区分し、該当の石(岩)を収集。 ○出前講座【石川県地質調査業協会】 地質調査業の魅力を伝えるセミナー。地質調査に使用するボーリングマシン等の機械や器具の体験学習を実施する予定。 ○大学への訪問説明【東京都地質調査業協会】 大学生を対象に「地質調査業の紹介」セミナー開催(複数大学で3回実施)。 ○小学生~中学校生対象【中部地質調査業協会】 女性活躍WGの方で「2024夏のリコチャレ」副題「大地の宝石箱 ジオードを割ってみよう」の題として、女性技術者と学ぶ地質のお仕事を開催。 ○高校への出前講習【中部地質調査業協会】 小牧工科高校、犬山工科高校へ10~11月間に出前講習会を実施(予定)。 ・地質調査の紹介・地すべりまたは液状化に関する知識とミニ実験 ・防ぐ対策工は?(対策工の検討) ○大学での特別講演講師【関西地質調査業協会】 当協会の若手メンバーにて、地学・地質工学等とまったく関係のない学部での講師を務める、「地球科学のすすめ」の特別講演の講師を行った。 ○高石市高陽小学校で出前事業【関西地質調査業協会】 当協会主催市民防災フォーラムの一環として、小学生に地質・防災の出前授業を実施(①地震と津波②ボーリング見学③液状化④ミニボーリングマシン運転⑤補強土工ゲーム⑥泥だんご作成から2テーマを受講) ○「親子の地学教室」【中国地質調査業協会鳥取県支部】 地域社会貢献の一環として一般の方々を対象に、自然に親しみながら地学を学ぶことを目的。主に小学生を対象に、化石・鉱物・岩石採取やジオパーク見学等を実施。 ○「調べてみよう!地面の下を」【中国地質調査業協会鳥取県支部】 鳥取県主催、山陰海岸ジオパーク推進協議会共催による現地実習・座学に参加。現地実習(ハンドオーガー等による地盤の土の採取体験)と、座学(試料の観察や土・石に関する実験等)を実施。 ○小中学校等への防災学習支援活動【四国地質調査業協会高知支部】 高知県内の小学校・中学校等にて、防災学習への支援活動を実施。フィールドワーク等を通して、土砂災害の種類・メカニズム・避難方法、危険箇所等を判定する重要性等を説明し、防災マップの作成を支援。また、砂防堰堤等の施工現場を見学し、施設の目的や必要性、役割等を一緒に学習した。	平成24年度~現在 平成20年度~現在 平成30年頃~ 平成24年~現在 8月 11月頃 6月、10月 12月 10月、11月12月 8月 9月5日 平成8年度~現在(年1回) 平成26年度~現在(年1回) 平成27年度~令和4年度		○	○						3~5校/年 計200~300名 定時制:10名程度 全日制:30名程度 約20校/半年 50名程度 40名 実施小学校との調整による 30組(60名程度) 30名 30名 20名 各35~40名 150~250名 350名 20~50名/回 10~30名/回 7~120名/年 (2~5校/年)		

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先			
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭						
(一社)全国地質調査業協会連合会	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○リクルート・パンフレットの作成・配布【(一社)北海道地質調査業協会】 北海道地質調査業協会では、地質調査業とは何かということを高専生等にPRするため、北海道内約300校にパンフレットを送付。 ○都立高校への調査関連冊子の寄贈【東京都地質調査業協会】 技術ノートNO. 56「東京のくだもの」を寄贈(東京協会編) ○県立高校・附属中学校及び中等教育学校への調査関連冊子の寄贈【茨城県地質調査業協会】 「日本ってどんな国」シリーズ～地震を知って身を守ろう～(全地連編)、「地質調査業の紹介」(関東協会編)を寄贈。 ○リクルート・動画の作成【関西地質調査業協会】 担い手不足解消のため、動画を作成YouTube配信 第1弾は、「NIKKEI社歌コンテスト2024」で最優秀を受賞し他メディアにも取り上げられた。 第2弾も作成。防災訓練や講習会等に活用中 令和6年は各地区協会と合わせ日経新聞広告を実施。 令和6年は第1弾「夢掘るボーリング」の英語字幕版をYouTubeに配信。 ○大学生、高専生、高校生向けのパンフレット作製、配布【中国地質調査業協会島根県支部】 地質調査・地質エンジニアの仕事の紹介及び中国地質調査業協会島根県支部の紹介のパンフレットを作成し、就職活動をされている学生の皆さんに地質調査業について理解を深めてもらう。	令和2年度～ 10月 6月	○ ○ ○	○ ○ ○						約300校 192校(192部 1部/1校) 113校(226部 2部/1校)	https://www.zenchiren.or.jp/	03-3518-8873			
		資格取得支援														
		合同企業説明会	○高校性向け就職情報誌への掲載【北海道地質調査業協会】 高校生向け北海道限定就職雑誌に、地質調査業とは何かということを中心に先輩のインタビュー記事などを掲載。 ○熊本県建設産業魅力発見ガイドへの参加【熊本県地質調査業協会】 熊本県開催の高校生向けの建設産業ガイドに参加し、地質調査業における仕事の紹介、パンフレットの配布を行い、理解を深めてもらう。	令和2年度～ 平成29年度～	○ ○	○ ○								発行部数約2万部 工業系10校		
			○学生のためのキャリア支援【関西地質調査業協会】 建設技術展2023近畿においてのイベントブースにて、来場いただいた、学生等に業界に興味をもって貰えるような説明と質問に答えて行くコーナーに、関西地質調査業協会として毎年参加。 ○「島根県地質技術者育成コンソーシアム」への参加【中国地質調査業協会島根県支部】 令和3年1月より、島根大学地球科学科、中国地質調査業協会島根県支部、島根県測量設計業協会、島根県土木部の4者は、地質技術者育成に向けた連絡会を開始し、現在は「島根県地質技術者育成コンソーシアム」として活動。コンソーシアムでは、各々の立場から地質技術者の育成や獲得に係る産学官の取組や諸課題、現状報告、活動方針など定期的に情報交換を行い、県土の維持発展に貢献する専門人材育成を目指す。 ○「しまね大交流会2024」の共催、出展【中国地質調査業協会島根県支部】 学生・生徒が、地域の企業・行政・NPO等から社会の在りようを学び、また、学生自身の研究や学びを発信する場を広く提供することにより、自身の生き方・働き方を主体的に考え、地域を支え、地域で活躍する人材の育成を図る。	11月8日(平成21年度より実施) 令和3年1月～現在 11月2日開催	○ ○ ○	○ ○ ○				○	100～200名/年 1校(現在、島根大学のみ。今後、高専、県内高校も対象とするよう進めていく。) 学生・生徒:約900名予定					
		産官学連携の協議会 教諭との意見交換会														
	その他	○「しまねを守る建設コンサルタントエンジニア育成奨学金」【中国地質調査業協会島根県支部等】 この奨学金制度は、島根県測量設計業協会と中国地質調査業協会島根県支部により令和5年4月に共同設立された、「しまねを守る建設コンサルタントエンジニア育成機構」が運営。島根県内の建設コンサルタントへの就職を希望する学部生・大学院生に対して奨学金を給付することで、将来のしまねの県土を守るエンジニアの育成に寄与し、県土の持続的な維持発展に貢献しようとするもの(県内出身・県外出身は問わない)。	令和5年4月～現在						○		2校 (島根大学、松江高専)					
	(一社)建設コンサルタント協会	現場見学会	○工業高校出前講座(座学+現地見学)【北陸支部】											30名	https://www.jcca.or.jp/	03-3239-7992
			○社会資本の体験・見学会【北海道支部】											20名		
			○環境学習会【四国支部】											110名		
			○自然環境学習会【四国支部】											35名		
○自然体験学習会【四国支部】											130名					
インターンシップ(職業体験学習)		○産官三機関合同インターンシップ【中部支部】	9月		○	○					9名					
出前講座・講習会		○防災出前授業【北海道支部】									140名					
		○出前講座(児童会館)【北海道支部】									30名					
		○工業高校への出前講座【関東支部】			○						45名					
		○土木出張PR【北陸支部】	5～1月		○	○	○				1800名					
	○出前講座(尼崎市サマーセミナー)【近畿支部】									10名						
	○出前講座(京都市みんなの学校)【近畿支部】									15名						
	○小・中学生への出前講座(防災教育)【中国支部】						○			460名						
○まちづくり出前講座【中国支部】									280名							
広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○夏休みドローン体験イベント【四国支部】									25名						
	○出前授業【四国支部】									50名						
	○業界広報資料の配布【北海道支部】 ○学生向け広報サイトの整備【東北支部】 ○13歳のハローワーク【近畿支部】 ○学生講座企画・リクルート活動講義用PPT・ポスターの配布【本部】 ○土木落語第三弾の制作・配信【本部】															
資格取得支援																
合同企業説明会	○札幌市内大学でのPR講義【北海道支部】															
	○秋田大学	6月														
	○東北学院大学	7月														
	○日本大学	10月														
	○東北芸術工科大学	11月														
	○出前講演の実施(建設コンサルタントのPR・説明会)【北陸支部】	4～8月			○	○					450名					
	○合同企業セミナー【北陸支部】	未定			○	○					800名					
	○大学・高専への出張説明会【中部支部】	6月～3月			○	○					250名					
	○あいち建設みらいサロン【中部支部】	10月～1月			○	○					20名					
	○JOB café in 名古屋【中部支部】	8月			○	○					20名					
	○関西大学【近畿支部】	7月									105名					
	○明石高専【近畿支部】	6月			○						40名					
	○近畿大学【近畿支部】	11月									45名					
	○舞鶴高専【近畿支部】	11月									25名					
	○大学・高専への出張説明会【中国支部】	7～12月														
○業界理解のための説明会【四国支部】										100名						
○琉球大学キャリアデザイン講座										40名						
○福岡大学出前講座										11名						
イベント開催・参加	○ダ・ヴィンチ祭【北陸支部】	8月									130名					
	○けんせつ×テックフェスタ【北陸支部】	9月		○							200名					
	○土木フェスティバル【北陸支部】	10月		○	○	○	○	○			460名					
	○建設技術フェア2024in中部【学生ひろば】【中部支部】	11月									140名					
	○建設コンサルタントフェア2024in中部【中部支部】	10月		○	○	○	○	○			320名					
	○打ち水大作戦2024in名古屋【中部支部】	8月		○	○	○	○	○			500名					
	○建設技術フォーラムinちゅうごく【中国支部】	10月		○	○											
	○まちあるき(土木施設見学会)【中国支部】	10月														
	○トイドローン体験会【中国支部】	12月									60名					
	○業界紹介・若手技術者の仕事内容紹介【中国支部】			○	○						500名					
	○土木の日ファミリーフェスタ【九州支部】										3,000名					
	○フォトコンテスト【本部】	6～9月		○		○										
産官学連携の協議会 教諭との意見交換会	○建設関連業イメージアップ促進協議会(私立大学)【本部】															
その他	○学生論文の実施【本部】									30名						

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象							参加者参加人数	団体URL	団体連絡先	
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭				
全国管工事業協同組合連合会	現場見学会													
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○能登半島地震における応急復旧活動の記録を配信 ○漫画「命の水物語」の配布 ○高校生向け求人管理システム「Handy進路指導室」特設サイトの開設	6月～ 4月～ 4月～	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	約5,000名の閲覧				
	資格取得支援	○2・3級の配管技能検定受検練習材料の提供 ○図書「Q&A設備配管とバルブの接続」の配布	9月～ 7月	○ ○							230名 230冊			
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会 教諭との意見交換会 その他	○全国設備工業教育研究会への助成、出席									30名			
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会	現場見学会	○大学生対象の現場見学会 大学生対象に会員企業の施工中の現場で、現場見学会を実施し、建設業に対する理解を深め入職促進へ繋げる。	7月			○						名古屋大学工学部 環境土木・建築学科 環境土木工学プログラム 2年生 35名		
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○PC技術家専門家派遣 大学、専門学校にて定期的に講義を実施。	5～7月		○	○						全国、現在20校にて開催。		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会 教諭との意見交換会 その他													
(公社)全国解体工事業団体連合会	現場見学会													
	インターンシップ(職業体験学習)	○就業体験【(一社)岩手県解体工事業協会】 事業所等での就業体験を通して働く意義や社会の厳しさ自立の大切さを知るとともに職業選択できる能力や様々な世代とのコミュニケーション能力を育む。 ○就業体験【(一社)岩手県解体工事業協会】 事業所等での就業体験を通して働く意義や社会の厳しさ自立の大切さを知るとともに職業選択できる能力や様々な世代とのコミュニケーション能力を育む。	10月 12月	○ ○							一関工業高2年生2名 一関修紅高2年生2名 一関学院2年生2名			
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会 教諭との意見交換会 その他													
全国建設関係訓練校等連絡会議【(一社)北陸建設アカデミー】	現場見学会	○建築現場見学会 新発田南高校建築工学科の授業の一環として建築現場の見学に協力。中条小学校を見学した後、当施設を訪問し建設業について学びを深めた。	6月	○								新潟県立新発田南高校建築工学科3年生 38名		
	インターンシップ(職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○学校キャラバン(中条高校) 建設業概論学習、壁塗り実習による左官体験を実施。 ○学校キャラバン(新潟工科専門学校) 建設業概論学習、壁塗り実習による左官体験、ICT重機体験を実施。 ○学校キャラバン(竹俣特別支援学校) 建設業概論学習、壁塗り実習による左官体験。 ○社会インフラ共創講座 ビジネスリーダー研修 新時代に求められるリーダーシップについて、様々な業界のリーダーたちが集い、対話をしながら、自らのリーダーシップの在り方について考え深める(職場でのアクションにつなげる)。 ○社会インフラ共創講座 リフレッシュ研修:大学生と入社2年目から5年未満の若年層がキャリアについて相互理解を深め、働くとは何かについて考え深めていく中で、自らのキャリアをデザインする。	7月 10月 2月 10月 11月	○ ○ ○ ○ ○						新潟県立中条高校地域産業コー工業系2年生 16名 新潟工科専門学校 33名 村上特別支援学校 5名 竹俣特別支援学校 11名 社会人15名、大学生4名 社会人10名、大学生10名				
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○企業訪問 大学生、専門学校生の業界理解の一環として企業訪問を行った際、関連施設として訪問を受け入れた。 ○重機パイロット選手権 建設重機シミュレータ体験、ラジコン重機によるお菓子づくり体験を実施。 ○胎内小学校「ここにこ体験フェスティバル」 建設業PRブースを設けた。	9月 10月 10月		○ ○ ○						新潟大学2年生、3年生 4名 新潟デザイン専門学校2年生 4名 シミュレータ体験 100名、ラジコン重機 300名 小学生3・5年生 11名			
	産官学連携の協議会 教諭との意見交換会 その他													
	全国建設関係訓練校等連絡会議【関西鉄筋工業協同組合】	現場見学会												
		インターンシップ(職業体験学習)												
出前講座・講習会		○工業高校への出前講座 技能検定3級モデルの組立体験と鉄筋工事の役割についての座学。 ○工業高校への出前講座 技能検定3級モデルの組立体験。 ○工業高校への5職種合同出前講座 とび・型枠・左官・圧接・鉄筋。 ○工業高校への5職種合同出前講座 とび・型枠・左官・圧接・鉄筋。 ○工業高校への出前講座 技能検定3級モデルの組立体験。 ○工業高校への出前講座 技能検定3級モデルの組立体験。 ○工業高校への出前講座 技能検定3級モデルの組立体験。 ○工業高校への出前講座 技能検定3級モデルの組立体験。 ○工業高校への出前講座 技能検定3級モデルの組立体験。	10月18日 11月14日 11月22日 11月22日 11月26日 11月26日 11月26日 12月5日	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○						篠山産業高校 12名 宮津天橋高校 25名 修成建設専門学校 40名 西野田工科高校 26名 奈良商工高校 36名 奈良南高校 4名 奈良技専校 16名 都島工業高校 49名				
広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)														
資格取得支援														
合同就職説明会														
イベント開催・参加		○「みらいのたからばこ2024inあべのキューズモール」への出展 簡単な鉄筋作業の体験(職人なりきり体験、結束体験、鉄筋加工体験)。 ○「みらいのたからばこ2024inインテックス大阪」への出展 簡単な鉄筋作業の体験と絵本の配布(職人なりきり体験、結束体験、鉄筋加工体験、重さ当てクイズ、VRで圧接体験)。 ○意見交換会 みらいのたからばこでつながった梅花女子大学の学生との取組みで、意見交換を行い、鉄筋工事を題材にした絵本の作成した。	6月29、30日 11月9、10日 6月14日								大阪府内小学生、来場者700名、ブース来場者400名 大阪府内小学生 来場者17,000名 ブース来場者700名 梅花女子大学 約10名			
産官学連携の協議会 教諭との意見交換会 その他														

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称と取組内容	実施時期	対象						参加者参加人数	団体URL	団体連絡先	
				高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者				教諭
全国建設労働組合総連合	現場見学会												
	インターンシップ(職業体験学習)												
	出前講座・講習会	○学校教育協力運動 国土交通省の建築大工技能者等の担い手確保・育成事業、厚生労働省の建設労働者確保育成助成金、若年技能者人材育成支援等事業を活用し、教育現場で技能者が建設業の啓発・啓蒙、課題指導を実施。		○			○	○			106校 4,288名		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○「建設業界ガイドブック」の配布 建設産業人材確保・育成推進協議会が作成の同冊子を希望する加盟組合に無償で配布。その後、地域での教育現場指導で資料として活用。		○			○	○	○		3,000部		
		○「木の家づくりと大工さん」の作成・配布 関係団体で構成する木造技能者育成検討委員会で作成。木の家の素晴らしさを伝える内容となっている他、職業能力基準、キャリアパス等も記載。希望する加盟組合に無償で配布。その後、地域での教育現場指導で資料として活用。					○	○			6,000部		
	資格取得支援												
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加	○ものづくり体験教室 住宅デーまたは地域の住宅フェア、技能フェア等の催事においてODラックや本立てなどの作成指導し、ものづくりの魅力を伝える。						○	○			木工教室1319か所、住宅デー全体で187,874名	
		○こども震が関見学デーへの協力						○	○			50名	
産官学連携の協議会													
教諭との意見交換会	○学校教育協力運動 授業時間の一環として取り組まれているため、当団体の加盟組合やその支部等の一部で、各学校や教育機関との意見交換が行われている。※集約を行っていないため詳細は不明。								○	不明			
その他													
建設業労働災害防止協会	現場見学会												
	インターンシップ(職業体験学習)												
	出前講座・講習会												
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)												
	資格取得支援												
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加	○全国建設業労働災害防止大会の開催 当大会に学生を招待し、労働安全衛生行政に関する講演、建設企業等における安全衛生活動の発表等を聴講していただき、建設業における職場の安全衛生対策への理解を深める。	10月		○	○				○	職業能力開発短期大学校東京建築カレッジ教諭3名・2年生20名 浅野工学専門学校建築工学科4年生14名	https://www.kensaibou.or.jp/	03-3453-8201
産官学連携の協議会													
教諭との意見交換会													
その他													

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み(資格取得支援)(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	資格取得支援取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数
			高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭	
(一社)北海道建設業協会	○建設関連学科の高校生の資格取得支援 当協会の会員である地方協会が、高校生を対象に建設関連の施工管理技士等資格取得の支援(土木・建築・電気・造園の2級第一次検定受験費用助成等)を実施。	6~11月	○							899名
(一社)岩手県建設業協会	○受験準備講習会の開催 在校中での2級土木施工・建築施工(第一次検定)受験者に対し講師を派遣し、合格者の確保を促す。	10~12月	○	○						200名~
	○検定試験半額助成 2級土木・建築・造園、測量士、測量士補、技能系資格等の検定試験の受験率を高めるため、受験料の半額助成を受験者・PTAの負担を軽減する。	10~12月	○	○						300名~
(一社)宮城県建設業協会	○建設業経理事務士特別研修 専門学校・工業高校の生徒を対象に在学中に勉強する機会がなかった建設業経理事務士特別研修を実施することで、建設業に興味・関心を持ってもらい、生徒の就職する際の選択肢として選んでもらうことを目的に実施する。【予定含】	7~3月	○	○						仙台工科専門学校、仙台・石巻・古川・白石工業高校土木科・建築科合計約240名(予定含)
(一社)秋田県建設業協会	○高校生の資格取得支援【(一社)秋田県建設業協会】 2級土木建築施工管理技士受験対策テキストを配布。	5月	○							桂桜高校(土木 15名、建築 20名)
	○2級施工管理試験対策テキスト配布【(一社)由利建設業協会】 西目高校へは2級土木、由利工業高校へは2級建築施工管理試験対策テキストを贈呈。	5月	○							西目高校土木科3年生 15名 由利工業高校建築科2年生 27名
	○2級土木施工管理技士一次試験対策講座【(一社)雄勝建設業協会】 受験対策専門業者と当協会が契約し、高校3年生にリモートによる講座を受講し、本試験を受験してもらう。	7~10月	○							雄勝校3年生7名
	○2級土木施工管理学科試験対策講座【(一社)平鹿建設業協会】 横手清陵学院高校へテキストの贈呈と講師を派遣し対策講座を実施。	9月	○							16名
(一社)福島県建設業協会	○若年者資格取得に伴うバス借上げ支援 資格試験(2級施工管理技士等)会場までの交通費支援(バス代・高速代支援)の実施。	6月 10月 11月	○							建設関係学科を有する高等学校11校183名
(一社)茨城県建設業協会	○資格取得講習会の実施 (2級土木施工管理技術検定第一次検定 の受験対策講習会)	9~11月	○							工業高校土木科40名
	○資格取得講習会の実施 (2級建築施工管理技術検定第一次検定 の受験対策講習会)	9~11月	○							工業高校建築科40名
(一社)栃木県建設業協会	○建設業経理事務士特別研修【本部】 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	7月、12月	○						○	4校約90名
(一社)埼玉県建設業協会	○小型車両系建設機械運転特別教育支援 建設現場で必要となる小型車両系建設機械運転の資格取得を促進するため、特別教育の受講費用を助成。	11~1月	○							いずみ高校2年生35名、浦和工業高校2年生19名 大宮工業高校2年生61名、春日部工業高校2年生66名、熊谷工業高校2年生63名、秩父農工科学高校2年生34名
(一社)東京建設業協会	○「土木・建築 2級 第一次検定 工業高等学校出前講座」の実施 建設業への就職の動機付けを高めるため、2級施工管理技術検定の受験者を対象に対策講座を実施。	通年	○							・都立総合工科高等学校 2年生6名、3年生49名 ・都立田無工科高等学校 2年生10名、3年生42名 ・都立墨田工科高等学校 2年生23名
(一社)神奈川県建設業協会	○2級土木・建築施工管理技術検定(一次検定)支援 建設業界の将来を担う工業高校生の学習や就労支援を目的とする。	10月	○							(後期一次検定)県内工業高校149名
(一社)山梨県建設業協会	○2級施工管理検定試験会場へのバスの配車 受験会場までの送迎バスの配車等資格取得の援助する。	10月・11月	○							調整中
(一社)長野県建設業協会	○2級土木・建築施工管理技士受験準備講習会 県内建設系高校の生徒を対象に2級土木・建築施工管理技士(学科)受験のための講習会を開催。	8月8~9日 8月19~20日	○							長野工業高校3年生土木科19名 建築科20名 南安曇農業高校環境クリエイト科3年生30名
(一社)岐阜県建設業協会	○「建設業経理事務士3・4級特別研修」及び「小型車両系建設機械運転特別教育」 建設業振興基金、建設業労働災害防止協会岐阜県支部の協力のもと実施。	8~3月	○							岐阜工業高校(8月)、中津川工業高校(3月)、 可児工業高校(3月)
(一社)静岡県建設業協会	○静岡県専門高校生サマー体験学習 工業・農業高校の3年生を対象に小型移動式クレーン資格取得を目的に体験学習を実施。	8月	○							工業・農業高校2~3年生 12名
(一社)三重県建設業協会	○建設業経理事務士特別研修(4級) 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	7月	○							津工業高校 1年生 44名
	○建設業経理事務士特別研修(4級) 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	7月	○							伊勢工業高校 1年生 26名
	○建設業経理事務士特別研修(4級) 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	8月	○							四日市工業高校 1年生 34名
	○建設業経理事務士特別研修(3級) 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	8月	○							津工業高校 1年生 36名
	○建設業経理事務士特別研修(3級) 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	8月	○							四日市工業高校 1年生 31名
(一社)富山県建設業協会	○会員企業への入職予定者を対象とした技能向上研修 就職前の高校生を対象とし、スムーズな入職につなげるための就職直前講習。玉掛け、小型移動式クレーン技能講習を受講。	3月	○							玉掛け40名、小型移動式クレーン40名
(一社)福井県建設業協会	○高校生への資格取得支援 2級土木施工管理技士の一次試験会場(県外)へのバス送迎補助。	10月	○							約50名
(一社)兵庫県建設業協会	○工業高校生資格取得支援講習会事業の実施 県内の工業高校生等(3年生)を対象に、建設業への入職促進につながる2級土木施工管理技士又は2級建築施工管理技士の学科試験に向けた講習会を開催。	9~11月	○							工業高校5校約200名

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み(資格取得支援)(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	資格取得支援取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数
			高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭	
(一社)奈良県建設業協会	○経理特研 高校生を対象に建設業経理士4級、3級の取得を促進する。	12月、3月	○							奈良商工30名予定
(一社)和歌山県建設業協会	○工業高校在校生の施工管理技術検定受検支援 土木・建築施工管理技士2級受検予定高校生向け日建学院参考図書提供。	4月、5月	○							建築土木関連高校4校107名
	○建築施工管理2級受検支援(バスの提供)	6月9日 11月24日	○							和歌山工業高校建築科延べ30名
	○土木施工管理2級受検支援(バスの提供)	10月26日	○							和歌山工業高校土木科40名
(一社)山口県建設業協会	○建設業経理事務士(4級・3級) 高校生に対し、建設企業への就職に有利な建設業経理事務士の資格取得を支援することで入職率のアップを目指す。	7~1月	○							80名
(一社)徳島県建設業協会	○建設業経理事務士特別研修 建設業経理事務士の資格取得支援による建設業への入職促進を目的とし、県内土木コースなどを有する高校の生徒を対象とした「高校生建設業経理事務士特別研修」を実施している。	7月	○							50名
(一社)愛媛県建設業協会	○4級・3級建設業経理事務士特別研修	7月(4級) 12月(3級)	○							松山工業高校建築科1年生40名、2年生1~2名
(一社)長崎県建設業協会	○建設業経理事務士特別研修 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	未定	○							未定
(一社)熊本県建設業協会	○2級技士補受検費用補助(土木・建築) 工業系高校在学者対象に受検費用の内2,000円を補助。	通年	○							県内工業系高校2・3年
(一社)沖縄県建設業協会	○2級土木・建築施工管理技士(一次)基本講座開催 放課後に学校の教室で講座を開き資格取得に向けて取り組んだ。受講料の補助も行う。	6月、11月	○							沖縄工業高校21名、浦添工業高校14名、 名護商工高校15名
	○経理事務士(3・4級)特別研修 夏休み期間に特別研修を開催し、資格取得に向けて取り組んだ。受講料の補助も行う。	7~8月	○							【4級】 沖縄工業高校土木11名、沖縄工業高校建築13名 名護商工高校3名、浦添工業高校4名 美里工業高校3名、南部工業高校3名 【3級】 沖縄工業高校土木10名、沖縄工業高校建築13名 名護商工高校4名、浦添工業高校3名 美里工業高校2名
	○小型車両系特別教育 夏休み期間に特別教育を開催し、資格取得に向けて取り組んだ。受講料の補助も行う。	7~8月	○							沖縄工業高校建築17名、沖縄工業高校土木21名 南部工業高校13名、名護商工高校13名 浦添工業高校2名、美里工業高校6名 美栄工科高校9名、宮古総合実業13人 八重山商工9名

令和6年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み(資格取得支援)(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数
			高校生	専門学校生	大学	中学生	小学生	保護者	教諭	
(一社)日本建設業連合会	○建設スキルアップサポート制度 高校等在学中の技能・技術資格取得に要した受験料・受講料の半額をキャッシュバック(総額10,000円を限度)。	通年	○	○	○	○				未定
(公社)全国鉄筋工業協会	○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	9月4日	○							墨田工科高校1~3年 22名
	○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	9月9日	○							墨田工科高校1~3年 22名
	○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	9月20日	○							墨田工科高校1~3年 22名
	○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	10月7日	○							墨田工科高校1~3年 22名
	○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	11月18日	○							墨田工科高校1~3年 22名
	○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	12月9日	○							墨田工科高校1~3年 22名
	○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	12月16日	○							墨田工科高校1~3年 22名
	○2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習【東京都鉄筋業協同組合】	1月20日	○							墨田工科高校1~3年 22名
	○3級鉄筋組立て実習【東京都鉄筋業協同組合】	12~1月予定	○							葛西工科高校
	○高校への技能検定の実技・座学講習【福井県鉄筋協同組合】 生徒を対象3級技能検定の講習	1月	○							敦賀工業高校
	○建設業新規入職者合同研修【山口県鉄筋工業協同組合】 新入社員向けの合同研修。同時に高所作業の資格講習を行う	4月								45名
○3級技能検定受検者への技術指導【愛媛県鉄筋業協同組合】	11~1月	○							3級受検者40名	
全国管工事業協同組合連合会	○2・3級の配管技能検定受検練習材料の提供	9月~	○						○	230名
	○図書「Q&A設備配管とバルブの接続」の配布	7月	○							230冊

令和6年度 人材協構成団体における担い手確保・育成の取組み状況について

構成団体：「都道府県建設業協会」と「建設産業団体約60団体」

（単位：団体数）

取組内容	取組団体数				
	（対象者）				
	大学 専門学校	高校生	中学生	小学生	教員
現場見学会	17	49	10	14	23
インターンシップ（職業体験学習）	9	35	3	0	3
出前講座・講習会	17	37	19	17	15
広報活動（メディア、DVD、冊子の活用）	35	46	30	34	31
資格取得支援	3	29	1	0	2
合同企業説明会	13	14	1	0	2
イベント開催・参加	25	32	26	37	22
産官学連携の協議会	3	3	2	2	13
教諭との意見交換会	0	0	0	0	24
その他	7	11	1	2	5
合計	129	256	93	106	140

注1）高校生、中学生、小学生対象の取組内容の一部については保護者同伴も含む。

注2）取組団体数の集計は、情報提供を受けた時点における令和6年度に「実施した取組み」「実施予定の取組み」を合計したもの。

建設スキルアップサポート制度

日建連は、建設技能・技術資格を取得し、建設業界を目指す若者を応援します！



支援の対象となる資格

技能士関係

鉄筋施工技能士
とび技能士
機械保全技能士
造園技能士
建築大工技能士
塗装技能士
防水施工技能士
配管技能士
内装仕上げ技能士
左官技能士
かわらぶき技能士
タイル張り技能士
型枠施工技能士
建築板金技能士
コンクリート圧送施工技能士
路面標示施工単一等級

技能講習・特別教育等関係

ガス溶接
玉掛け
小型移動式クレーン運転
酸素欠乏危険作業主任者
特定化学物質等作業主任者
アーク溶接
半自動溶接
小型車輛系建設機械運転
フォークリフト運転
研削砥石特別教育
高所作業車運転
低圧電気取扱業務
締固め用機械
巻上げ機特別教育
振動工具取扱作業者
石綿取扱作業従事者

技術検定

土木施工管理技士補
建築施工管理技士補
管工事施工管理技士補
電気工事施工管理技士補
造園施工管理技士補
建設機械施工管理技士補
電気通信工事施工管理技士補

その他資格

電気工事士(第一種、第二種)
測量士、測量士補
消防設備士(甲種、乙種)
危険物取扱者(甲種、乙種、丙種)
火薬類取扱保安責任者(甲種、乙種)
手動ガス圧接技量資格

※技能士については、2級と3級が対象。ただし、一部単一等級が対象。
※技術検定については、施工管理技士補が対象。
※測量士・測量士補については、在学中に登録した場合が対象。
※上記以外の建設技能・技術系の資格については、個別に審査させていただきます。



確かなものを 地球と未来に

一般社団法人日本建設業連合会

JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

建設スキルアップサポート制度のご案内

(一社)日本建設業連合会(日建連)では、技能・技術資格を有している建設技能者に資格取得費用の一部を支援する制度を創設しました。

【対象者】

この制度は、中学校・高等学校・高等専門学校・専修学校・専門学校・大学・短大等の在学中に技能・技術資格を取得し、かつ、平成21年4月以降に(一社)建設産業専門団体連合会(建専連)の会員企業に入職した者を対象とし、学生時代の建設スキルアップのサポートをするもので、平成24年4月以降は(一社)日本建設業連合会会員企業協力会の加入企業に入職した者も対象として拡大しています。

※職業能力開発総合大学校(職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校)は対象。職業訓練校は対象外。

【申請方法】

対象資格に該当し、支援を希望する者は、建設スキルアップサポート制度申請書および証明書(申請書)によって下記の建専連会員団体・地区建専連に申請します(過去に制度を利用された方は対象外)。

【申請後の流れ】

申請書の審査を経て建専連が申請者の指定口座へ振込みます。

【問い合わせ】

制度に関するお問い合わせは、**地区建専連、建専連会員団体、建専連本部**までお願いします。

地区建専連一覧

地区	所在地	電話・FAX番号
北海道	〒062-0041 札幌市豊平区福住1条1-10-1アーバン館福住302号	TEL 011-803-0559 FAX 011-803-0559
東北	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-7-30 エグゼクティブ上杉2階 (一社)宮城県建設専門工事業団体連合会内	TEL 022-265-0887 FAX 022-265-0840
関東	〒110-0015 台東区東上野5-1-8 上野富士ビル9階 (一社)日本機械土工協会内	TEL 03-3845-2727 FAX 03-3845-6556
北陸	〒950-2027 新潟市西区小新大通1-5-3 (一社)新潟県建設専門工事業団体連合会内	TEL 025-267-6020 FAX 025-267-6019
中部	〒462-0831 名古屋市北区城東町六丁目141 (一社)日本左官業組合連合会 東海ブロック内	TEL 052-911-9696 FAX 052-911-6536
近畿	〒540-0034 大阪市中央区島町2-1-5 (一社)大阪府建団連内	TEL 06-6946-2131 FAX 06-6946-2133
中国	〒730-0847 広島市中区舟入南4-14-15 中東ビル2階 福井建設(株)内	TEL 082-235-1877 FAX 082-235-1878
四国	〒761-0705 香川県木田郡三木町井上3000-45 香川県鉄筋業(協)内	TEL 087-898-3055 FAX 087-898-3400
九州	〒810-0022 福岡市中央区薬院1-6-5 ホワイティ薬院506号	TEL 092-406-6776 FAX 092-406-6701
沖縄	〒900-0012 那覇市泊3-5-6 (株)沖縄建設新聞内	TEL 098-867-1290 FAX 098-867-1295

建専連会員団体

団体名	略称	団体名	略称
(一社)建築開口部協会	J B O A	日本外壁仕上業協同組合連合会	N G S
(一社)消防施設工事協会	消 施 工 協	(一社)日本機械土工協会	日 機 協
全国圧接業協同組合連合会	全 圧 連	(一社)日本基礎建設協会	基 礎 協
(一社)全国圧入協会	J P A	日本金属工事業協同組合	日 金 協
全国管工事業協同組合連合会	全 管 連	日本建設インテリア事業協同組合連合会	ジエイシフ
(一社)全国基礎工事業団体連合会	全 基 連	(一社)日本建設躯体工事業団体連合会	日 本 軀 体
(一社)全国クレーン建設業協会	全 ク 協	(一社)日本型枠工事業協会	日 本 型 枠
(一社)全国建設室内工事業協会	全 室 協	(一社)日本建築板金協会	日 板 協
(一社)全国コンクリート圧送事業団体連合会	全 圧 連	(一社)日本左官業組合連合会	日 左 連
(一社)全国タイル業協会	全 夕 協	日本室内装飾事業協同組合連合会	日 装 連
(公社)全国鉄筋工事業協会	全 鉄 筋	(一社)日本シャッター・ドア協会	J S D A
(一社)全国道路標識・標示業協会	全 標 協	(一社)日本造園組合連合会	造 園 連
(一社)全国防水工事業協会	全 防 協	(一社)日本造園建設業協会	日 造 協
全国マスタック事業協同組合連合会	マスタック協連	(一社)日本タイル煉瓦工事工業会	日 夕 煉
ダイヤモンド工事業協同組合	D C A	(一社)日本塗装工業会	日 塗 装
(一社)日本アンカー協会	アンカー協会	(一社)日本鷹工業連合会	日 鷹 連
(一社)日本ウレタン断熱協会	ウレ断協	(一社)プレストレスト・コンクリート工事業協会	P C 工 協

※詳しくは建専連ホームページをご覧ください。

【建専連とは】専門工事業、設備工事業および建設関連業団体で構成する一般社団法人で、個々の業界団体を越えた横断的共通の課題の解決に向けた活動を展開しています。

【本制度の問い合わせ先】

一般社団法人 **建設産業専門団体連合会**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12

(虎ノ門4丁目MTビル2号館3階)

TEL : 03-5425-6805 FAX : 03-5425-6806

URL : <http://www.kensenren.or.jp>